

建設環境委員会

令和8年第3回定例会

議案

議案第64号 葛飾区自転車駐車場及び自転車置場条例の一部を改正する条例
(交通政策課長)

庶務報告

1 議案関係

[共通]

(1) 令和8年度葛飾区一般会計補正予算(第2号)について
(環境課長・調整課長)

[都市整備部]

(1) 新小岩一丁目公園(仮称)新設及び防災活動拠点整備工事請負契約
締結について (公園課長)

2 一般

[共通]

(1) 中期実施計画等の進捗状況について (調整課長)

[環境部]

(1) 全国みどりと花のフェアかつしかについて
(みどりと花のフェア担当課長)

(2) ごみ減量化に関する共同調査の実施について (リサイクル清掃課長)

(3) 廃棄物処理手数料等の改定について (清掃事務所長)

[都市整備部]

(1) 中川かわまちづくりについて (かわまちづくり担当課長)

(2) 森永乳業株式会社東京工場跡地の整備に関する事業者からの報告内
容等について (都市計画課長)

(3) 堀切地区の街づくりについて (街づくり推進担当課長)

(4) JR金町駅南北自由通路整備について (金町街づくり担当課長)

- (5) 立石駅北口地区市街地再開発事業における掘削土について
(立石駅北街づくり担当課長)
- (6) 義務付け等請求控訴事件の上告受理申立て不受理決定について
(立石駅北街づくり担当課長)
- (7) 立石駅南口の街づくりについて (立石駅南街づくり担当課長)
- (8) 街路灯の更新について (道路補修課長)
- (9) 専決処分(契約変更)の報告について (道路補修課長)
- (10) 専決処分(和解)の報告について (道路補修課長)
- (11) 新宿交通公園の施設改修の進め方について (公園課長)
- (12) 新小岩公園再整備事業について (公園課長)
- (13) 新宿四丁目児童遊園用地の取得について (公園課長)
- (14) 令和8年度主要工事進捗状況について (道路建設課長)

葛飾区自転車駐車場及び自転車置場条例の一部を改正する条例

交通政策課

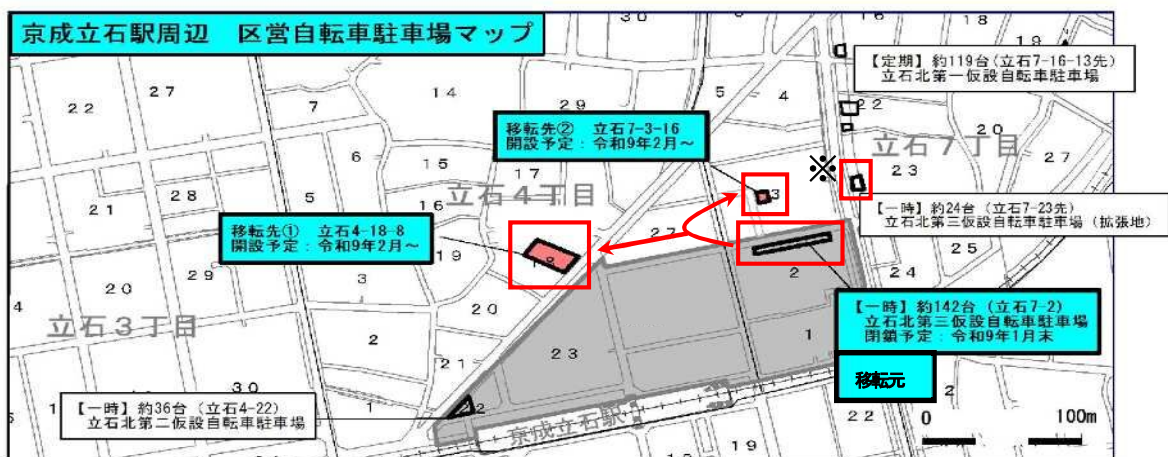
1 改正の概要

立石北第三仮設自転車駐車場は、立石駅北口地区市街地再開発組合の再開発事業用地を活用して設置している。このたび、立石駅北口地区第一種市街地再開発事業の進展を受け、当該用地の明渡しに伴い立石北第三仮設自転車駐車場の位置を改めるもの

2 自転車駐車場概要

	現状	移転後
所在地及び台数	立石七丁目2番（142台）	立石四丁目18番8号（約101台） 立石七丁目3番16号（約41台） 合計：142台
利用形態	一時利用（個別ラック式、キャッシュレス及び現金対応）	
移転費用	1,894千円（令和8年度第二次補正予算案に計上）	

3 位置図



※ 立石北第三仮設自転車駐車場（拡張地）は、今回の条例改正に合わせて位置付けるもの

4 新旧対照表

【資料1】のとおり

5 施行予定期日

葛飾区規則で定める日から施行する。

6 今後の予定

令和8年11月	利用者への周知
令和8年12月 ～	移転先自転車駐車場の整備開始
令和9年1月下旬	既存自転車駐車場 供用中止及びラックの移転作業
令和9年2月 ～	移転先自転車駐車場 供用開始

葛飾区自転車駐車場及び自転車置場条例新旧対照表

現 行	改正案																				
第 1 条から第15条（略）	第 1 条から第15条（略）																				
別表（第 2 条関係）	付 則 この条例は、葛飾区規則で定める日から施行する。																				
（ 1 ） 駐 車 場	別表（第 2 条関係） （ 1 ） 駐 車 場																				
<table> <tr> <th>名 称</th><th>位 置</th></tr> <tr> <td>葛飾区 金町駅北口自転車駐車場</td><td>東京都葛飾区 東金町一丁目 2 2 番 1 号先 東金町一丁目 4 5 番 1 3 号先 東金町三丁目 5 番 9 号先</td></tr> <tr> <td>（略）</td><td>（略）</td></tr> <tr> <td>〃 立石北第三仮設自転車駐車場</td><td>〃 <u>立石七丁目 2 番</u></td></tr> <tr> <td>（略）</td><td>（略）</td></tr> </table>	名 称	位 置	葛飾区 金町駅北口自転車駐車場	東京都葛飾区 東金町一丁目 2 2 番 1 号先 東金町一丁目 4 5 番 1 3 号先 東金町三丁目 5 番 9 号先	（略）	（略）	〃 立石北第三仮設自転車駐車場	〃 <u>立石七丁目 2 番</u>	（略）	（略）	<table> <tr> <th>名 称</th><th>位 置</th></tr> <tr> <td>葛飾区 金町駅北口自転車駐車場</td><td>東京都葛飾区 東金町一丁目 2 2 番 1 号先 東金町一丁目 4 5 番 1 3 号先 東金町三丁目 5 番 9 号先</td></tr> <tr> <td>（略）</td><td>（略）</td></tr> <tr> <td>〃 立石北第三仮設自転車駐車場</td><td>〃 <u>立石四丁目 1 8 番 8 号</u> <u>立石七丁目 3 番 1 6 号</u> <u>立石七丁目 2 3 番先</u></td></tr> <tr> <td>（略）</td><td>（略）</td></tr> </table>	名 称	位 置	葛飾区 金町駅北口自転車駐車場	東京都葛飾区 東金町一丁目 2 2 番 1 号先 東金町一丁目 4 5 番 1 3 号先 東金町三丁目 5 番 9 号先	（略）	（略）	〃 立石北第三仮設自転車駐車場	〃 <u>立石四丁目 1 8 番 8 号</u> <u>立石七丁目 3 番 1 6 号</u> <u>立石七丁目 2 3 番先</u>	（略）	（略）
名 称	位 置																				
葛飾区 金町駅北口自転車駐車場	東京都葛飾区 東金町一丁目 2 2 番 1 号先 東金町一丁目 4 5 番 1 3 号先 東金町三丁目 5 番 9 号先																				
（略）	（略）																				
〃 立石北第三仮設自転車駐車場	〃 <u>立石七丁目 2 番</u>																				
（略）	（略）																				
名 称	位 置																				
葛飾区 金町駅北口自転車駐車場	東京都葛飾区 東金町一丁目 2 2 番 1 号先 東金町一丁目 4 5 番 1 3 号先 東金町三丁目 5 番 9 号先																				
（略）	（略）																				
〃 立石北第三仮設自転車駐車場	〃 <u>立石四丁目 1 8 番 8 号</u> <u>立石七丁目 3 番 1 6 号</u> <u>立石七丁目 2 3 番先</u>																				
（略）	（略）																				
（ 2 ） 置 場 （略）	（ 2 ） 置 場 （略）																				

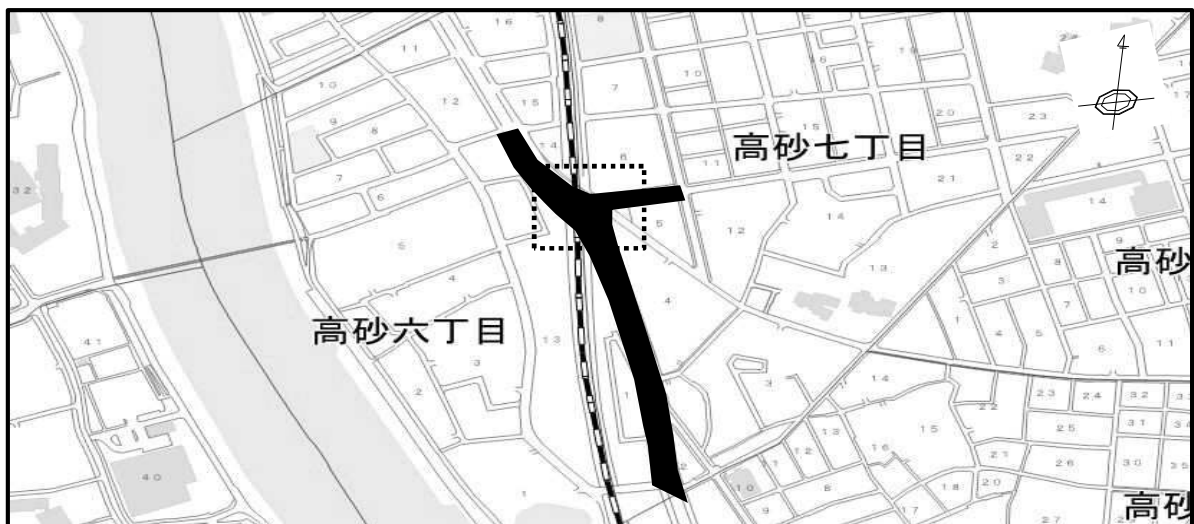
令和8年度葛飾区一般会計補正予算（第2号）について

道路建設課

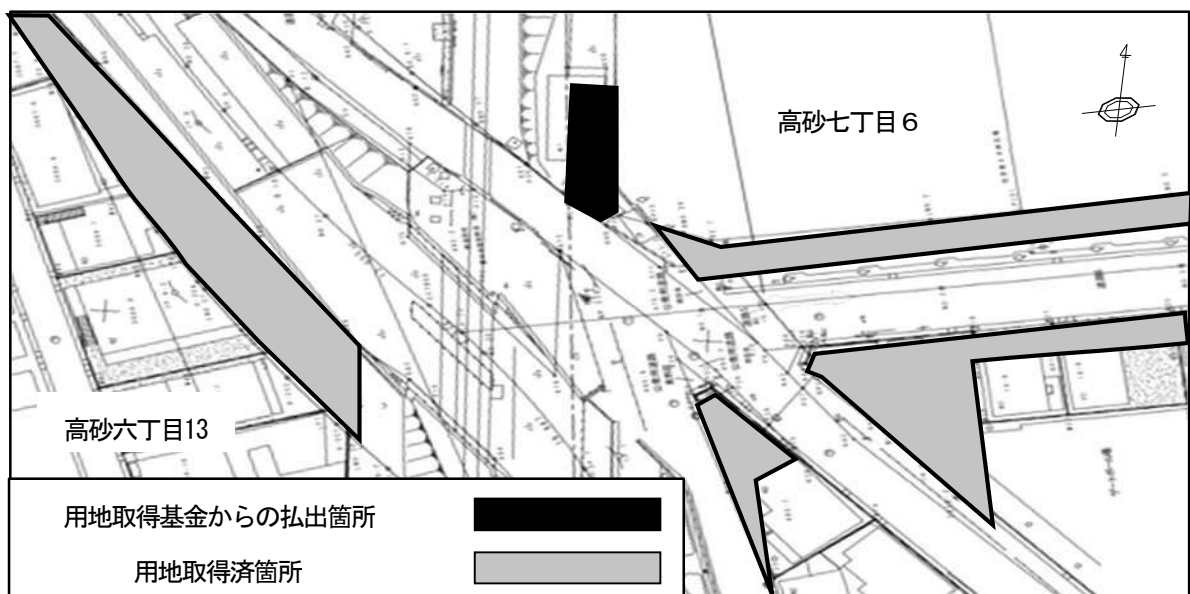
東京都市計画道路事業幹線街路補助線街路第276号線

及び幹線街路補助線街路第279号線（隅田橋）

＜案内図＞

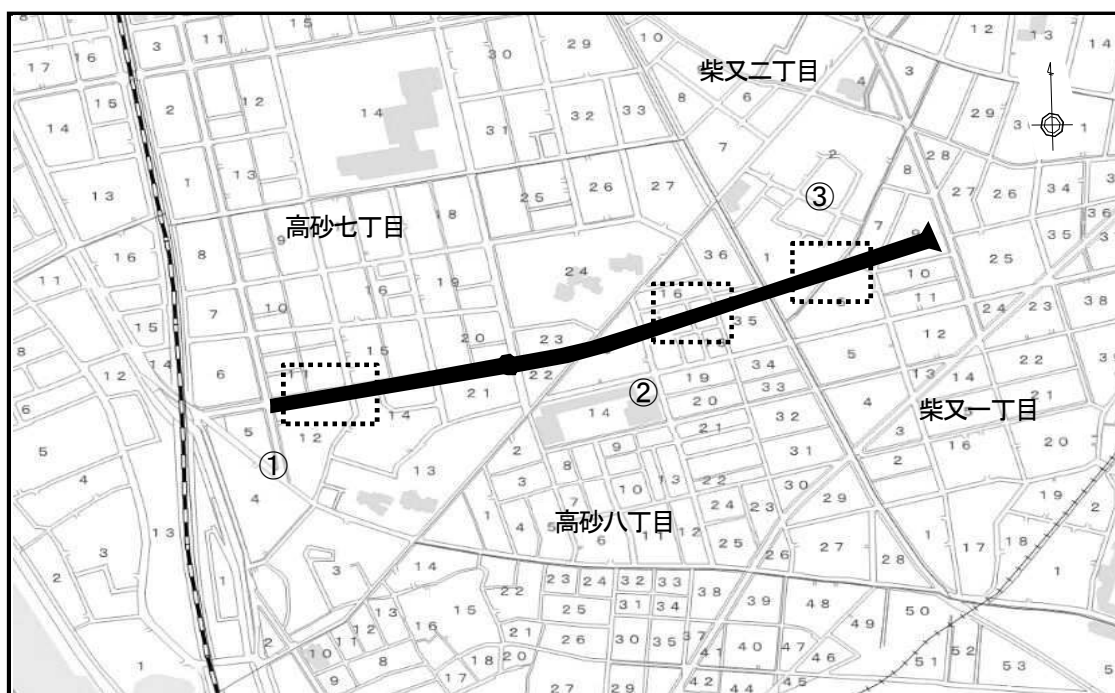


＜平面図＞



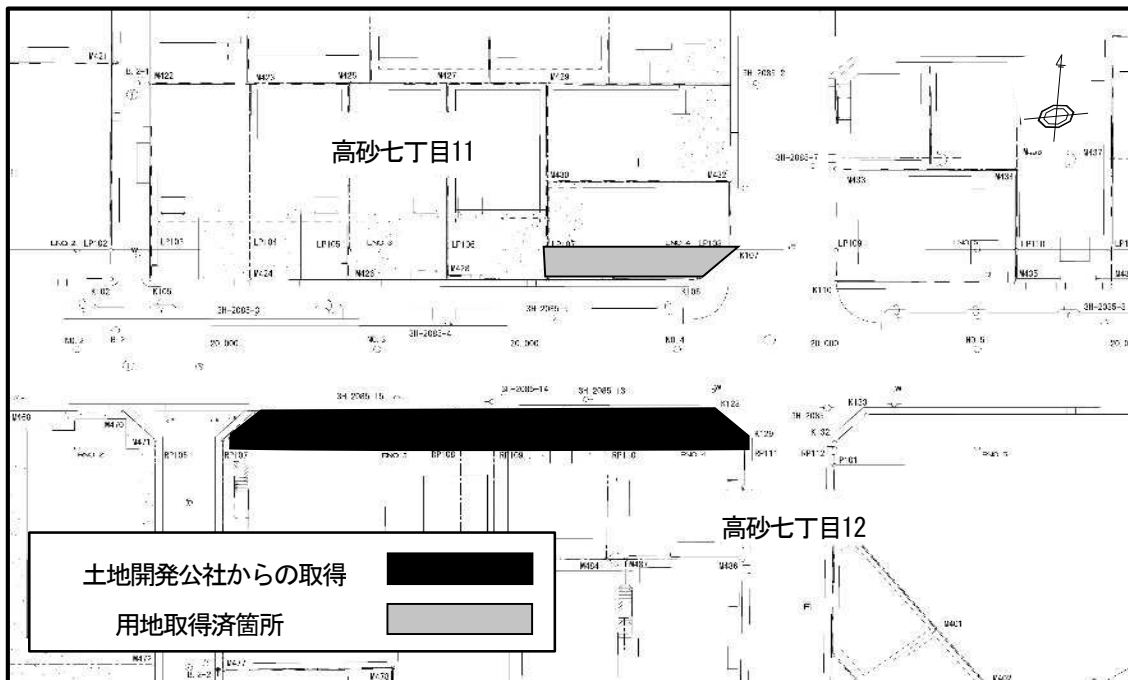
東京都市計画道路事業幹線街路補助線街路第279号線
及び幹線街路補助線街路第282号線（高砂）

<案内図>

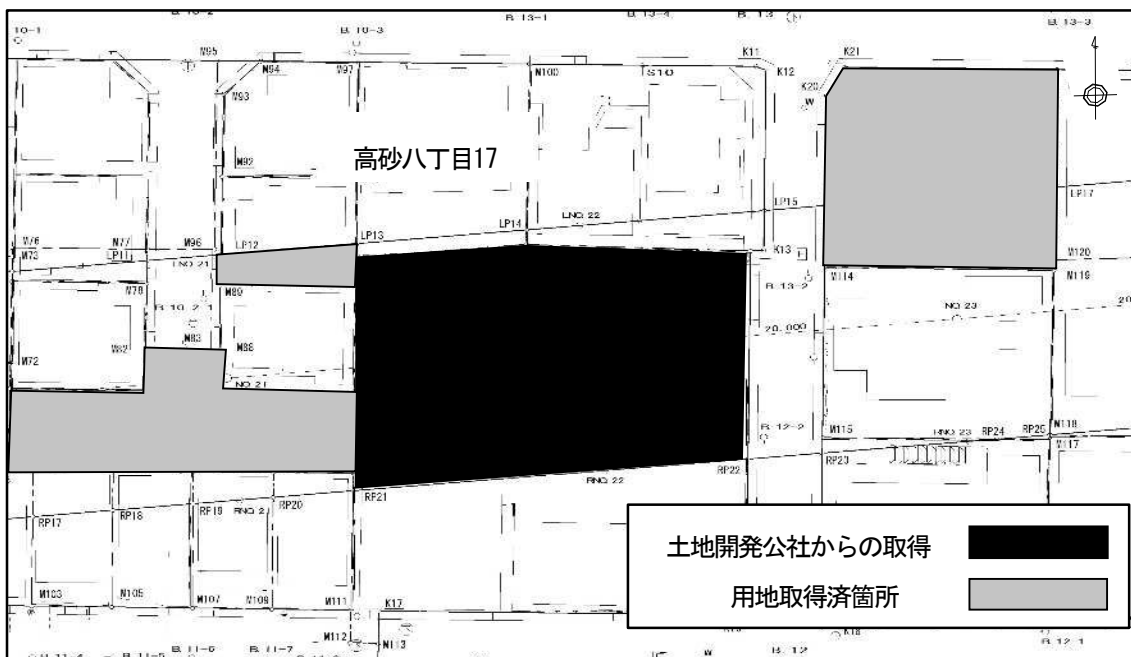


東京都市計画道路事業幹線街路補助線街路第279号線
及び幹線街路補助線街路第282号線（高砂）

<平面図①>

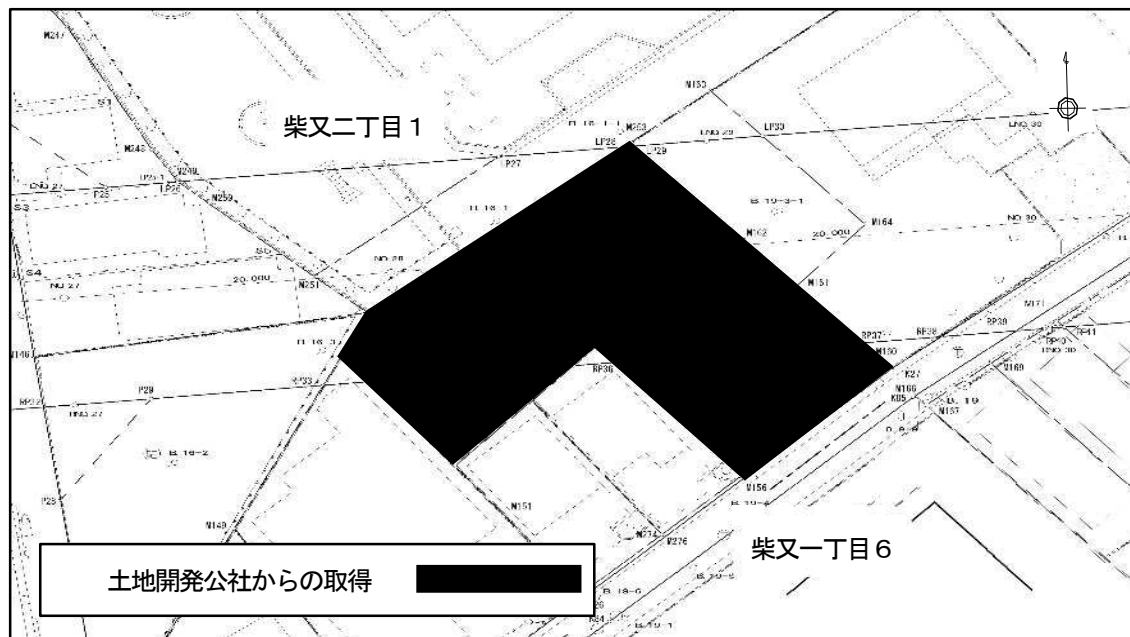


<平面図②>



東京都市計画道路事業幹線街路補助線街路第279号線
及び幹線街路補助線街路第282号線（高砂）

<平面図③>



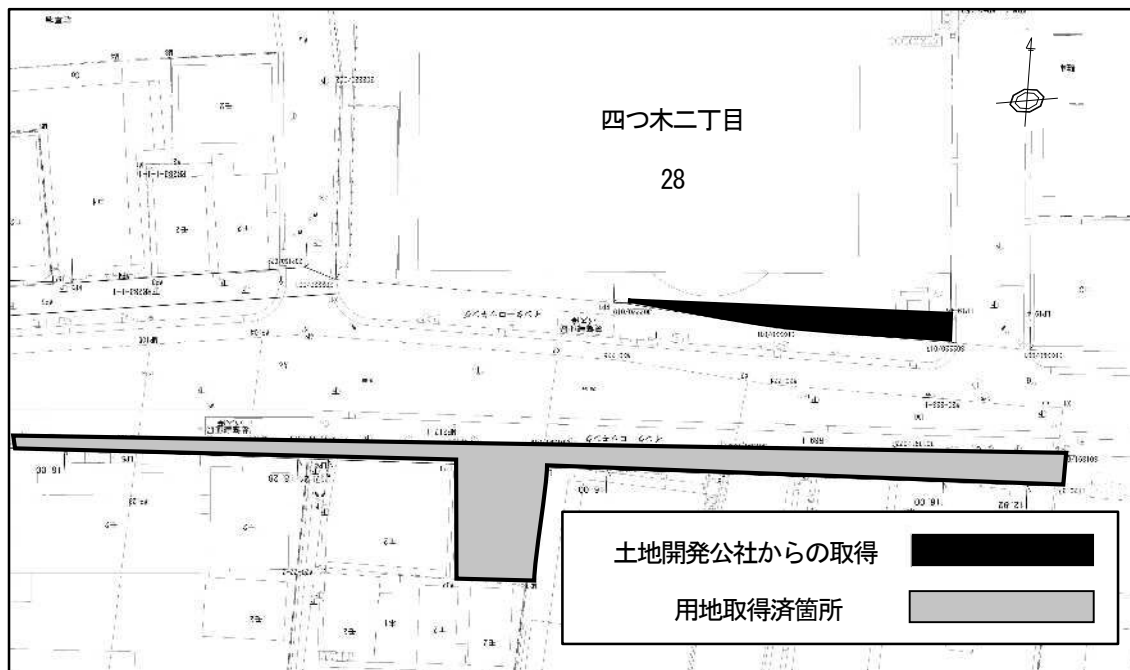
東京都市計画道路事業区画街路葛飾区画街路第4号線（四つ木東）

<案内図>

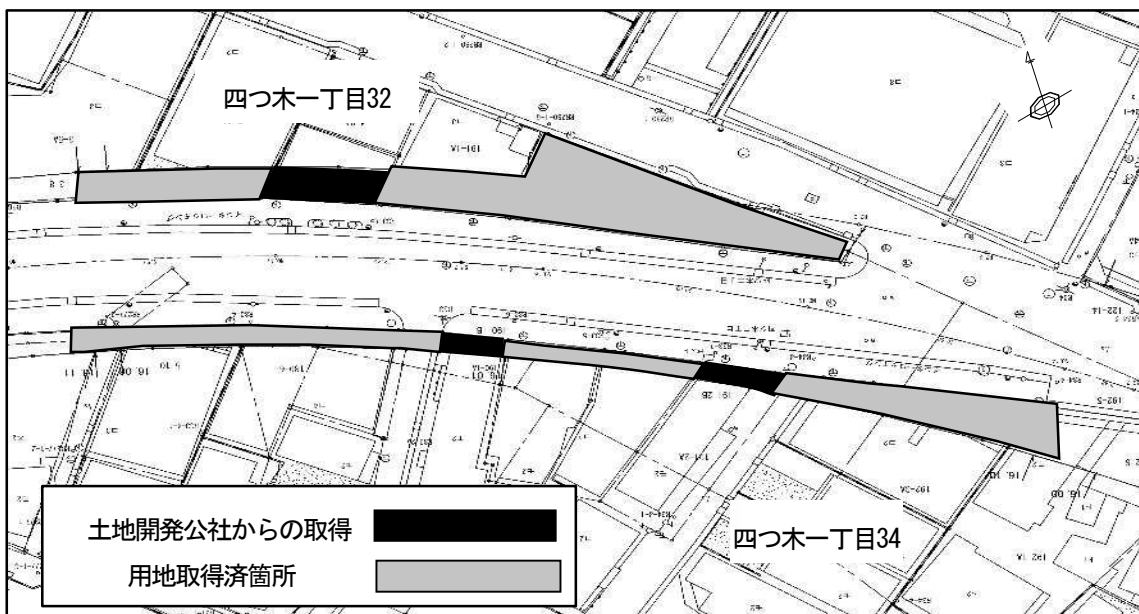


東京都市計画道路事業区画街路葛飾区画街路第4号線（四つ木東）

<平面図①>



<平面図②>



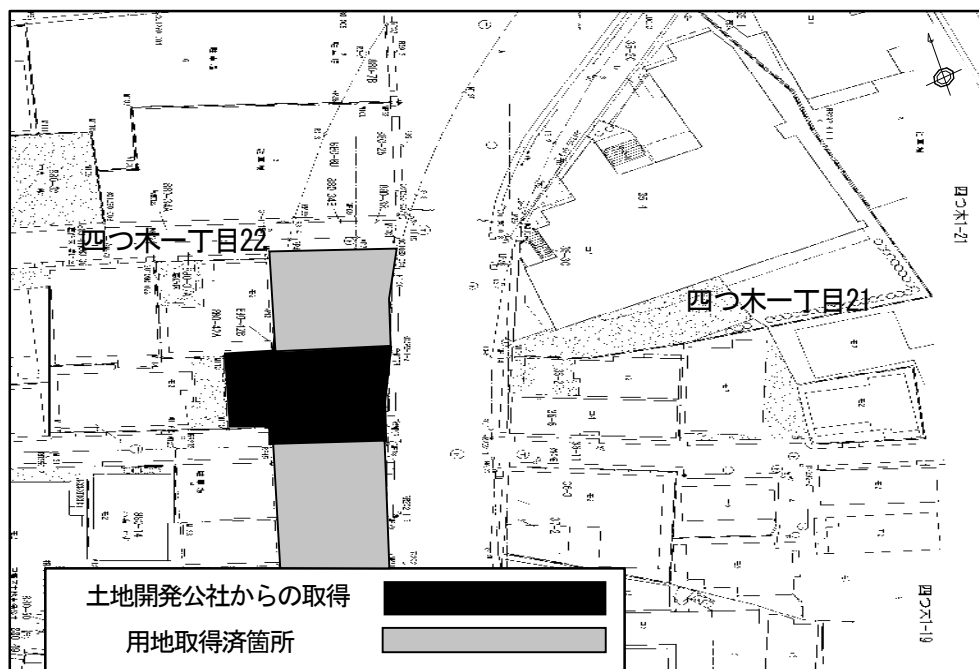
東京都市計画道路事業区画街路葛飾区画街路第4号線（四つ木西）

<案内図>

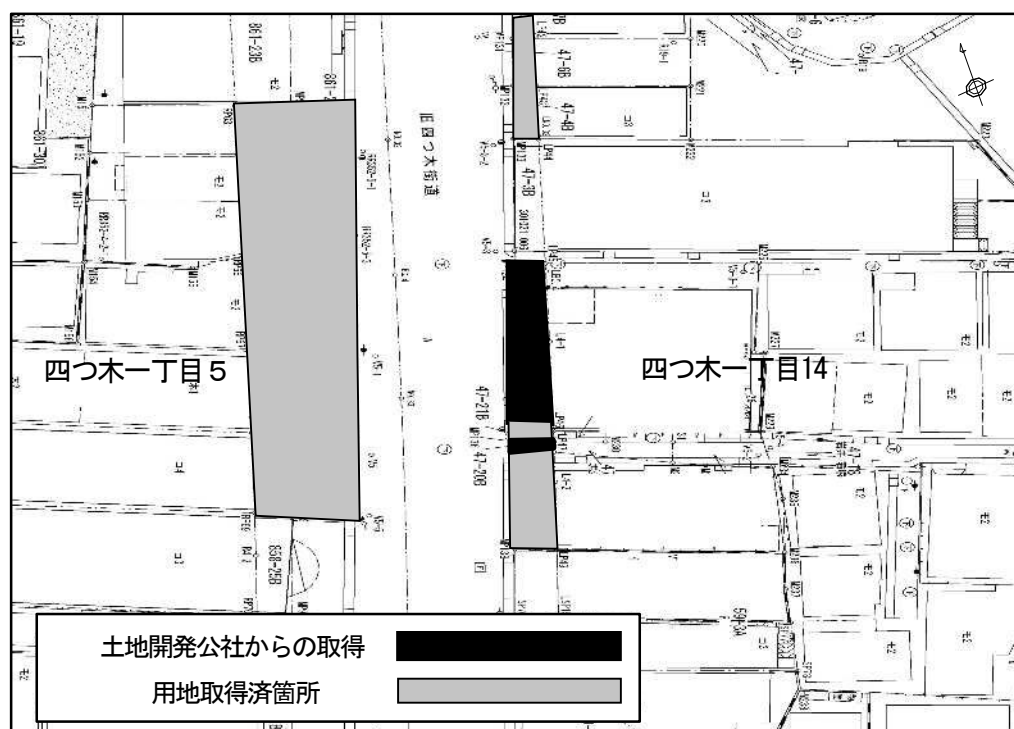


東京都市計画道路事業区画街路葛飾区画街路第4号線（四つ木西）

<平面図①>



<平面図②>



新小岩一丁目公園（仮称）新設及び防災活動拠点整備工事請負契約締結について

公園課

1 工事の目的

新小岩一丁目公園（仮称）について、防災活動拠点となる地域の身近な公園を新設整備するもの

2 契約の概要

(1) 工事件名

新小岩一丁目公園（仮称）新設及び防災活動拠点整備工事

(2) 工事箇所

葛飾区新小岩一丁目 15 番

(3) 契約の方法

施工能力審査型総合評価一般競争入札による契約

(4) 予定価格

1 億 7,109 万 700 円

(5) 契約金額

1 億 7,072 万円

(6) 契約の相手

東京都葛飾区青戸八丁目 5 番16号

株式会社山溪緑地

代表取締役 松 田 太 郎

(7) 工期

契約締結の日の翌日から令和9年8月13日まで

3 工事の概要

面積 945.29平方メートル

【公園整備】

植栽	低木植栽	151 株
園路広場	インターロッキングブロック舗装	面積 584.00 平方メートル
	ゴムチップ舗装	面積 77.00 平方メートル
遊戯施設	すべり台	1 基
	スイング遊具	1 基

	健康遊具	2基
サービス施設	ベンチ	4基
	水飲み	1基
管理施設	門扉	3箇所
	メッシュフェンス	延長 78.10 メートル
	目隠しフェンス	延長 41.10 メートル
電気設備	公園灯	6基
	防犯カメラ	4台
建築	便所	1棟
【防災活動拠点整備】		
防災施設	防災井戸	1基
	マンホールトイレ	2基
	かまどベンチ	2基
	防災洗い場	1基
	防災パーゴラ	1基
	防災分電盤	1基
	防災倉庫	1棟

4 参考資料

(1) 案内図

別紙1のとおり

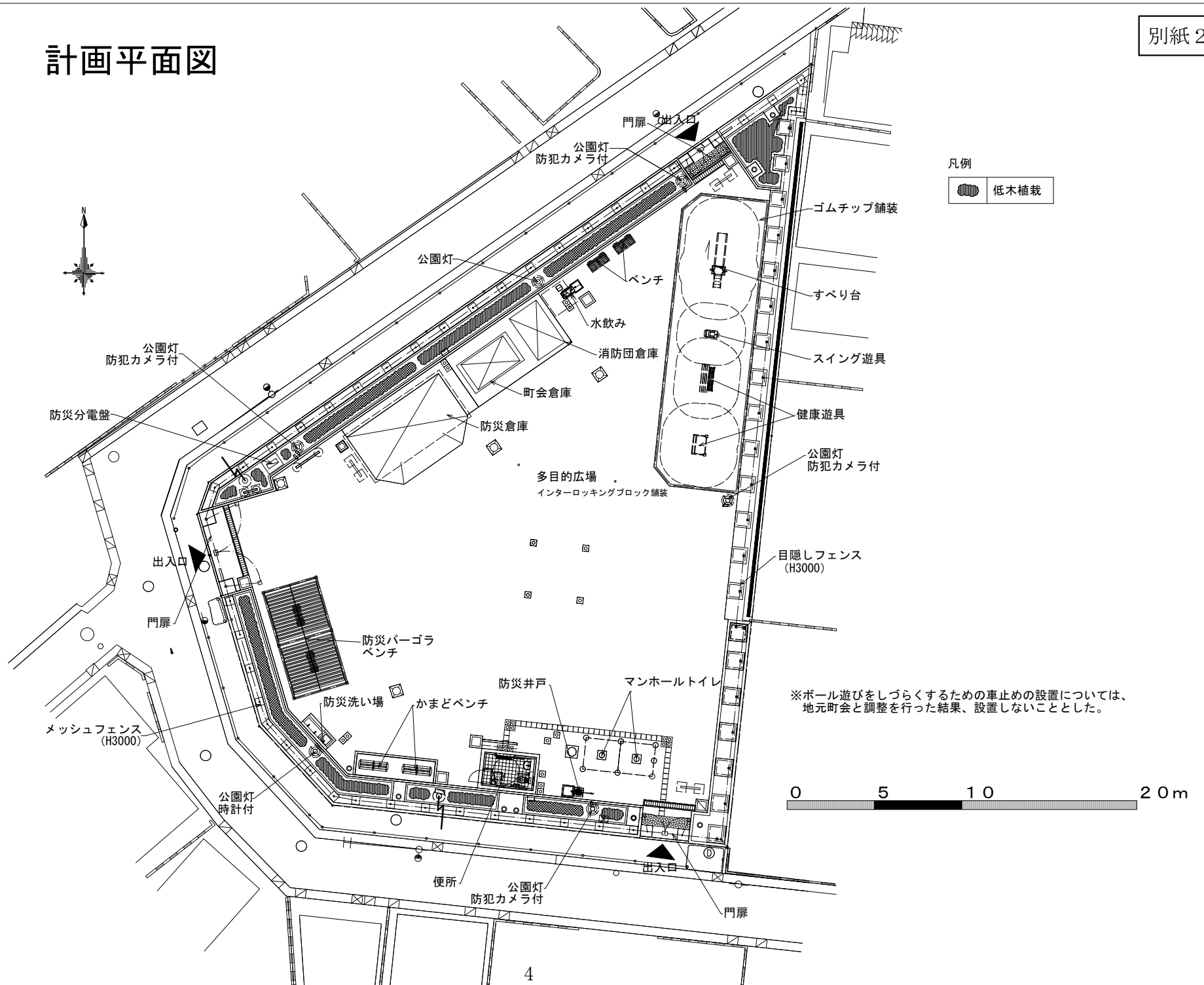
(2) 平面図

別紙2のとおり

案 内 図



計画平面図



一般庶務報告No. 1
共 通
令和8年9月17日

中期実施計画等の進捗状況について

調整課

1 趣旨

後期実施計画（令和9年度～令和12年度）の策定に向け、中期実施計画（令和6年度～令和9年度）の進捗状況を取りまとめたため、その報告を行うもの

あわせてSDGs推進計画（令和5年度～令和12年度）についても進捗状況を取りまとめたため、その報告を行うもの

2 進捗状況

（1）中期実施計画

ア 葛飾・夢と誇りのプロジェクトの進捗状況 別紙1のとおり

イ 施策（指標）の目標値と実績値 別紙2のとおり

ウ 計画事業（活動量・評価指標）の目標値と実績値 別紙3のとおり

（2）SDGs推進計画

ア SDGsかつしか未来プロジェクトの進捗状況 別紙4のとおり

イ 各ゴール（指標）の目標値と実績値 別紙5のとおり

3 進捗状況を踏まえた今後の方針について

（1）後期実施計画

後期実施計画の策定に当たっては、今回取りまとめた進捗状況や政策・施策マーケティング調査等の各種アンケート調査結果を踏まえるとともに、新たな行政課題への対応など計画策定の視点を示した後期実施計画策定方針を基に、区民満足度の更なる向上を目指し、その達成に向けた取組を検討していく。

(2) SDG s 推進計画

後期実施計画において「SDG s かつしか未来プロジェクト」の具体化を図るとともに、関連施策の進捗管理を後期実施計画と一体的に行っていく。

4 後期実施計画策定スケジュール（予定）

令和8年12月	後期実施計画（素案）を区議会報告 パブリック・コメント手続の実施
令和9年2月	後期実施計画（案）を区議会報告
3月	後期実施計画策定

中期実施計画

葛飾・夢と誇りのプロジェクトの進捗状況

6 危機対応力向上プロジェクト ～あらゆる危機に備える～

近年、震度 7 を観測した令和 8 年熊本地震をはじめとする大規模な自然災害が頻発しています。気候変動の影響に伴う大型台風や線状降水帯による水害、富士山噴火による降灰など、災害リスクは複雑・多様化しています。また、依然として自転車盗難が多く、特殊詐欺や闇バイトによる強盗事件等の区民生活の安全・安心を脅かす事件への対応などの取組も求められているところです。

区はこれまで、建築物の耐震化や液状化対策助成、木造住宅密集地域の解消、防災公園や浸水対応型公共施設の整備、消火器購入支援事業の実施、高齢者インフルエンザ予防接種助成、総合防災訓練の実施など、様々な危機対応力の向上に取り組んできました。

災害対応は、区長を先頭に、組織全体の総力戦になります。今後は、デジタル技術を活用した効率的な防災体制を更に推進するほか、災害時要配慮者の避難支援を強化し、災害対策本部をはじめとする組織の災害対応力の更なる向上を図ります。また、個人向けの防犯対策を継続しながら、ターゲットを絞った防犯対策を行います。さらに、葛飾区感染症予防計画を改定し、感染症の発生を想定した訓練など、感染症の発生時における即応体制の確保を進めます。

7 安全・快適な交通環境実現プロジェクト ～区民の生活の「足」を支える～

公共交通は、移動困難者をはじめとする全区民の日常生活を支える重要な役割を担っています。一方で、多様化・複雑化する移動需要やバス運転手不足（2024 年問題）への対応、さらには SDGs の観点から環境負荷の少ない交通手段への転換といった交通を取り巻く環境は急速に変化しています。

区はこれまで、公共交通の利便性向上に向けて、新金線を活用した新たな交通システム整備構想の策定や、地下鉄 8・11 号線の延伸、メトロセブン構想の推進など広域的な交通ネットワークの充実に取り組んできました。また、地域の移動手段を確保するため、循環バスの導入、グリーンスローモビリティや小型車両活用デマンド交通の実証運行を実施してきました。

さらに、自転車活用の推進や駅周辺のバリアフリー化に取り組むとともに、「葛飾区バス交通人材確保・定着支援事業補助金」を創設し、交通事業者への支援を行ってきました。これらの取組を踏まえ、令和 8 年 3 月には「葛飾区地域公共交通計画」を策定し、地域公共交通の方向性を整理しました。

今後も、自動運転や MaaS などの先端技術を注視し、新交通システムの整備やバス交通をはじめとする地域交通の利便性の更なる向上、安全な自転車活用を促進しながら、高齢社会や子育てに対応した、安全・快適に移動できる交通環境を実現します。

8 「ゼロエミッションかつしか」実現プロジェクト ～脱炭素社会の実現を目指して～

昨今の深刻化する気候変動の影響やエネルギー価格の高騰を受け、区民や事業者の省エネルギー・再生可能エネルギーへの関心が一層高まっています。

本区は、「ゼロエミッションかつしか」や「ゼロカーボンシティ特別区」の宣言の下、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すとともに、第3次葛飾区環境基本計画では2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減する目標を掲げています。

区はこれまで、区民や事業所における省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用を促進するため、かつしかエコ助成金により、区民・事業者の脱炭素化に向けた取組を支援してきました。また、製品プラスチックや古布等の資源化を進め、ごみの発生抑制及び資源回収率の向上を図るなど、循環型社会の形成にも取り組んできました。また、区内最大の事業者である区として、再生可能エネルギーの導入や、ZEBの標準化、庁用車のZEV化に積極的に取り組んできたところです。

今後は、区民や事業者の環境行動を一層促進するため、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入・利用を区民生活に浸透させるとともに、技術革新や社会情勢の変化も踏まえながら助成制度の見直しを行います。また、公共施設における再生可能エネルギーの導入やZEBの標準化を着実に進め、区自らが率先して脱炭素化に取り組むことで、区全体の機運醸成を図り、「ゼロエミッションかつしか」の実現に向けた取組を推進してまいります。

9 花いっぱいのもちづくり推進プロジェクト

～花と緑で彩られ、笑顔と活力あふれるまちづくり～

本区では、自治町会、地域団体、商店会等と協働し、街中を花で彩る「花いっぱいのもちづくり」を推進してきました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では競技会場等をフラワーメリーゴーランドで彩り、大会後はレガシーとして有明聖火台周辺に設置しました。令和8年5月から6月にかけては、本区で初めての開催となる新たな緑化イベント「全国みどりと花のフェアかつしか」を開催し、区民や事業者との協働により区内全体を花で装飾し、緑化意識の高揚を図りました。

花いっぱいのもちは、人々に憩いと安らぎを与え、自然を大切にする意識を高めます。また、花を介した人と人との結びつきは、対話や交流を促し、生きがいのある持続可能な地域づくりにつながります。

今後は、手軽にできる園芸の普及や軒先園芸コンクールの実施など、個人や家庭の緑化活動にとどまらず、区民同士が交流できる施策へと転換し、担い手の裾野を広げ、身近に花と親しめる空間を構築し、花いっぱいのもちづくりを進めます。

15 葛飾かわまちづくりプロジェクト ～水辺を舞台としたにぎわいまちづくり～

本区は江戸川、荒川・綾瀬川、大場川に囲まれ、中央部を中川、新中川が流れる豊富な河川資源に恵まれており、河川敷では野球やマラソン大会などのレクリエーションが楽しまれています。

中川では、令和5年8月に高砂橋から新宿六丁目付近までの区間が、国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に登録され、区はこれまで、ハード面では、新宿六丁目における国のテラス整備に合わせて、賑わい拠点整備に向けた設計や照明設備等工事に着手してきました。また、ソフト面では、中川かわまちづくりの機運醸成を図るため、各地区でのイベント実施を通じて、プロジェクトの周知を図ってきました。

今後も、中川での取組を契機に他河川でも河川空間のオープン化を進め、様々な活動を川まで広げることで、葛飾ならではの「かわ」を活かしたまちづくりを推進します。区としても組織横断的に連携し、全庁をあげて地域を支援します。

これらの取組により、区を囲む5つの川が大きな回廊となって全てのまちをつなぎ、河川の利活用を広げ、昔ながらの川との共存を取り戻しながら、「かわ」と「まち」が融合した新たな文化を創造していきます。

16 スタジアム構想実現プロジェクト ～スポーツを核としたにぎわいまちづくり～

区では、多様な世代がスポーツに親しみ、日常的に運動習慣を取り入れられる環境づくりを進めてきました。更なるスポーツ振興と地域活性化の起爆剤として、スタジアム整備を踏まえたまちづくりの検討を進めています。

令和6年3月に区南部にある私学事業団総合運動場の敷地等を取得し、現在は「東新小岩運動場」として活用を図るとともに、将来的にスタジアムを有する都市計画公園としての整備に向けた取組を進めています。

これまで、スタジアム構想に係る建築基準法や都市公園法等の制約の整理のほか、先行事例を基にした公民連携手法やスタジアムの運用、防災・環境といった基礎調査を行うとともに、スタジアムの整備運営にかかわる民間事業者等に対して敷地の利活用や事業手法についてヒアリングを実施しました。また、大学教授等の有識者で構成される葛飾区スタジアム構想事業検討委員会を設置し、同委員会では、スタジアムの将来像や方向性、理念等を示す「スタジアムのあるべき姿」を策定し、これを踏まえた「スタジアム構想」の取りまとめに向けた検討を進めています。

同委員会での検討結果を踏まえ、公募等を含めた事業化に向けた次の段階へ移行し、スタジアム構想の実現に向け着実に進めていきます。

スタジアム整備は、スポーツ振興に加え、区内商業や観光業をはじめとする地域経済の活性化や、大規模避難施設といった防災機能の強化、再生可能エネルギーや省エネによる環境配慮など、多面的な効果が期待されます。また、スポーツをする・みる場としてのスポーツ振興の場に加え、各種イベントや周辺のまちづくりにより、地域のにぎわい創出と持続的成長の核としての機能を果たすことができるものと考えます。

今後は、新金線を活用した新交通システムの整備に向けた検討状況を踏まえるとともに、新小岩駅周辺まちづくりと連動させながら、民間活力を最大限に生かす方策を含め、敷地の更なる活用方法を検討します。

中期実施計画

施策（指標）の目標値と実績値

政策 No.	政策名	施策 No.	施策名	評価指標	単位	中期実施計画 策定時の現状値	実績値				中期実施計画 策定時の目標値	
						令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和12年度	
1	人権・多 様性・平 和	01	人権・多様性 人権や多様性が尊重され、全ての人が自分らしく暮らせるまちをつくります	日常生活の中で差別があると感じていない区民の割合	%	57.2	56.9	54.7	58.5	66.9	68.1	
				男女の共同参画が進んでいると思う区民の割合	%	45.6	47.7	51.9	57.0	48.4	51.2	
		02	ユニバーサルデザイン ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちをつくります	年齢・性別等にかかわらず、全てのの人に配慮した公共施設や生活環境の整備が進んでいると思う区民の割合	%	34.7	34.5	37.2	41.7	38.7	42.7	
		03	多文化共生 互いの国の文化や習慣を理解し、外国人区民、日本人区民が共生する国際性豊かなまちをつくります	最近 1 年間に外国人とあいさつや会話をしたことのある区民の割合	%	48.1	48.1	52.9	58.1	50.0	52.0	
		04	非核平和 世界平和を願い、核兵器廃絶を望むようにします	非核平和に関心のある区民の割合	%	75.3	76.0	71.3	75.0	77.5	79.6	
13	地域街づ くり	01	計画的な土地利用の推進 計画的な土地利用を図り、区民主体のまちづくりを推進します	計画的な土地利用が進み、住みやすくなっていると思う区民の割合	%	42.8	44.3	45.6	44.2	46.0	49.2	
		02	駅周辺拠点の形成 駅周辺を、住み、働き、憩う、にぎわいのある拠点とします	駅周辺が住み、働き、憩うことのできる、便利でにぎわいのある地域になっていると思う区民の割合	%	40.4	41.7	46.4	45.8	45.6	48.0	
		03	地域の街づくり 地域特性や地域の実情を活かした街づくりを進めます	地域特性や地域の実情が活かされた街づくりが進められていると思う区民の割合	%	42.6	43.7	50.7	50.3	43.8	45.0	
		04	良好な住環境づくり 良好な住環境を整え、住生活の安定と向上を図ります	住環境が良好だと思う区民の割合	%	61.9	60.8	63.4	64.6	65.0	67.0	
				細街路拡幅整備率	%	42.5	43.3	44.0	44.7	46.3	49.9	

政策 No.	政策名	施策 No.	施策名	評価指標	単位	中期実施計画 策定時の現状値	実績値				中期実施計画 策定時の目標値
						令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
14	防災・生活安全	01	防災街づくり 災害に強く、安全で、安心して生活できる街をつくれます	災害に強い街になっていると思う区民の割合	%	24.6	22.9	24.2	30.6	29.0	31.6
				不燃化特区（四つ木・東四つ木・東立石・堀切）の不燃領域率	%	60.8	61.5	62.0	未確定	64.1	－
				西新小岩五丁目地区の不燃領域率	%	45.9	47.2	47.6	未確定	48.3	53.1
				住宅の耐震化率	%	94.8	94.8 （令和4年度現状値）	94.8 （令和4年度現状値）	未確定	－	－
		02	災害対策 災害に対しの確な対応と迅速な復旧ができる体制をつくれます	区の災害対策が進んできていると思う区民の割合	%	35.7	34.0	34.3	39.5	46.0	50.0
		03	防災活動 災害発生時に地域で救援・応急活動を迅速に行えるようにします	災害に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合	%	56.4	58.5	57.9	57.6	56.8	57.2
				防災に関わる訓練や講座等に参加している区民の割合	%	17.0	19.9	19.3	20.0	17.4	17.8
		04	地域安全 犯罪や事故から身を守り、安全で、安心して暮らせるまちにします	犯罪発生件数	件	2,316	2,853	3,037	3,309	2,181	2,000
				自転車盗難件数	件	760	1,150	1,291	1,400	733	700
		05	消費生活 賢い消費者として正しい知識を身につけ、安心して生活できるようにします	最近1年間で消費者被害にあったことのない区民の割合	%	96.0	94.8	94.3	93.0	96.4	96.8

政策 No.	政策名	施策 No.	施策名	評価指標	単位	中期実施計画 策定時の現状値	実績値				中期実施計画 策定時の目標値	
						令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和12年度	
15	交通	01	道路交通網の充実 誰もが安全かつ快適に通行できるよう、道路 交通網の充実を図ります	都市計画道路（区施行路線）整備率	%	65.8	65.9	66.6	66.6	68.8	70.0	
				区内の交通の便が良いと思う区民の割合	%	54.1	53.0	54.9	51.9	56.1	58.1	
		02	自転車活用の推進 自転車の安全かつ快適な活用を図るととも に、歩行者・自転車の安全を確保し、交通事 故を減らします	自転車放置率	%	4.0	4.1	3.9	3.4	2.6	1.8	
				自転車を利用しやすい環境が整備されている と思う区民の割合	%	33.9	35.5	35.1	35.4	36.0	40.0	
				区内の交通事故発生件数 （暦年集計）	件	834	835	743	950	511	511	
		03	公共交通の充実 区内を移動するあらゆる人にとって、分かりや すく・利用しやすい公共交通を実現します	区内の交通の便が良いと思う区民の割合	%	54.1	53.0	54.9	51.9	56.1	58.1	
16	公園・水 辺	01	公園整備 多くの区民が集い、憩い、活動できる公園を 整備します	区民１人当たりの公園面積	㎡	4.39	4.36	4.33	4.31	4.39	4.41	
				公園に満足している区民の割合	%	66.7	67.1	68.4	68.9	69.3	71.9	
		02	水辺整備 河川を活かした快適な空間を整備し、多くの 区民が水辺に親しめるようにします	水辺が親しめる空間となっていると思う区民の 割合	%	59.9	58.3	61.0	58.0	61.9	63.9	

政策 No.	政策名	施策 No.	施策名	評価指標	単位	中期実施計画 策定時の現状値	実績値				中期実施計画 策定時の目標値
						令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
17	環境	01	気候変動対策 省エネ行動や再生可能エネルギー利用を促進し、気候変動対策を進めます	省エネを心がけている区民の割合	%	85.9	83.5	81.8	84.2	89.9	93.9
				区全域の温室効果ガスの基準年（平成25年）総排出量比	%	-16.6 （令和2年度実績）	-15.7 （令和3年度実績）	-18.9 （令和4年度実績）	-26.1 （令和5年度実績）	-31.0	-50.0
				区の事務事業による温室効果ガスの基準年（平成25年）総排出量比	%	-25.7	-25.4	-25.7	-27.0	-41.0	-51.0
		02	緑と花のまちづくり 緑と花でいっぱいの美しい都市環境をつくりま す	緑と花の豊かさを感じる区民の割合	%	66.9	68.7	70.9	68.7	68.9	70.9
				花いっぱい活動に取り組む活動箇所数	箇所	152	159	166	168	176	200
		03	自然保護 豊かな自然を守り、生物多様性の保全に努 めます	自然を大切にする行動をしている区民の割合	%	71.1	72.7	72.4	73.0	75.1	79.1
				自然環境学習に参加する区民の数	人	1,045	1,455	1,935	1,869	1,085	1,125
		04	生活環境保全 良好な生活環境が保たれ、快適に住み続け られるようにします	生活環境に関する苦情件数	件	315	276	298	292	248	180
		05	資源循環の促進 持続可能な資源循環型地域社会の形成を 促進し、環境への負荷を低減させます	区民1人1日当たりの区収集ごみ量	g	472	449	440	432	447	425
				事業系ごみ年間総排出量	t	23,270	22,781	22,615	21,262	23,822	23,805
				資源回収率	%	23.5	23.6	23.7	23.4	25.4	27.0
		06	まちの美化推進 ごみのない、きれいで清潔なまちにします	区内がごみのない、きれいで清潔なまちになっ ていると思う区民の割合	%	53.5	53.6	56.8	55.2	57.5	61.5

中期実施計画

計画事業（活動量・評価指標）の目標値と実績値

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度		
							目標値	実績値	目標値	実績値	
1	1	2	バリアフリー事業	調整課、道路建設課	活動量	1	移動等円滑化促進方針策定	策定	策定	推進	推進
						2	バリアフリー基本構想策定	-	-	検討	検討
						3	補助274号線(立石地区)	予備設計	予備設計	予備設計	予備設計
						4	ホームドア整備経費助成	助成(JR新小岩駅)	助成(JR新小岩駅)	検討	検討
					評価指標	1	バリアフリー事業達成率(%)	87.0	87.0	87.0	87.0
2	1	2	歩道勾配改善事業	道路補修課	活動量	1	工事整備延長(計画延長 20km)(km)	0.3 西亀有・お花茶屋	0 入札不調	0.3 西亀有・お花茶屋	0.3 西亀有・お花茶屋
					評価指標	1	歩道勾配の改善率(%)	84.1	82.7	85.7	85.7
3	13	1	区民との協働による街づくりの推進	都市計画課	活動量	1	葛飾区都市計画マスタープランの周知	周知	周知	-	周知
						2	震災復興まちづくり模擬訓練の実施	実施	実施	実施	実施
						3	庁内復興事前準備(都市・住宅分野)	検討	検討	検討	検討
						4	団体等への活動支援	支援	支援	支援	支援
						5	区民等が主体の取組の支援に向けた仕組みづくり	制度検討	制度検討	制度改正	制度検討
						6	(仮称)葛飾区水と緑の基本方針・実施プランの策定	検討	検討	検討・策定	検討・策定
					評価指標	1	震災復興まちづくり模擬訓練実施率(%)	57.8	57.8	63.1	68.4

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
4	13	2	新小岩駅周辺開発事業	新小岩街づくり担当課	活動量	1 北口地区の街づくり	街づくり検討	街づくり検討	街づくり検討	街づくり検討
						南口地区の街づくり				
						2 ①市街地再開発事業	施設建築物等工事	施設建築物等工事	施設建築物等工事	施設建築物等工事
						②南口地区全体の街づくり	街づくり検討	街づくり検討	街づくり検討	街づくり検討
						3 駅周辺の基盤施設整備検討	基盤施設検討	基盤施設検討	基盤施設検討	基盤施設検討
						4 まちづくり組織への支援(エリアマネジメント含む)	まちづくり協議会への活動支援 エリアマネジメント推進支援・社会実験	まちづくり協議会への活動支援 エリアマネジメント推進支援・社会実験	まちづくり協議会への活動支援 エリアマネジメント推進支援	まちづくり協議会への活動支援 エリアマネジメント推進支援
5	13	2	金町駅周辺の街づくり	金町街づくり担当課	活動量	1 まちづくり組織への支援(エリアマネジメント含む)	エリアマネジメント推進支援	エリアマネジメント推進支援	エリアマネジメント推進支援	エリアマネジメント推進支援
						金町駅北口地区				
						①駅前広場、生活幹線道路の拡幅整備	計画検討 関係機関協議	関係機関協議	都市計画決定	計画検討 関係機関協議
						2 ②JR金町駅改良及び西側架道橋拡充の検討	計画検討 関係機関協議	計画検討 関係機関協議	計画検討 関係機関協議	計画検討 関係機関協議
						③東金町一丁目西地区市街地再開発事業の推進	I 期工事	I 期工事	I 期工事竣工 既存建物解体 工事着手	I 期工事竣工 既存建物解体 工事着手
6	13	2	金町駅周辺の街づくりと連動した公共公益施設の整備	施設管理課、地域振興課、戸籍住民課、金町街づくり担当課	活動量	1 金町駅北口地区公共公益施設の整備	実施設計	実施設計	解体工事	解体工事
						2 バンケットホール整備	実施設計	実施設計	解体工事	解体工事
7	13	2	立石駅周辺地区再開発事業	立石駅北街づくり担当課、立石駅南街づくり担当課	活動量	1 北口地区	工事	工事	工事	工事
						2 南口東地区	権利変換計画作成	組合設立認可	権利変換計画認可	権利変換計画作成の検討
						3 南口西地区	組合設立に向けた協議等	組合設立に向けた協議等	本組合設立認可	組合設立に向けた協議等
						4 エリアマネジメント	組織化・地元調整	組織化検討・地元調整	組織化・地元調整	まちづくり組織設立・地元調整

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
8	13	2	立石駅周辺地区再開発事業と連動した公共公益施設の整備	施設管理課、総合庁舎推進担当課、総合庁舎技術担当課、地域振興課、政策企画課	活動量	1	新庁舎整備	検討	検討	基本レイアウト作成
						2	バンケットホール整備	検討	検討	検討
						3	現庁舎敷地の活用	検討	検討	検討
						4	立石駅周辺の公共施設のあり方見直し	検討	検討	検討
						5	高架下用地の有効活用	検討	検討	検討
9	13	2	高砂駅周辺の街づくり	高砂・鉄道立体担当課	活動量	1	まちづくり組織への支援	勉強会等	勉強会等	勉強会等
						2	駅周辺のまちづくりへの支援	準備会等	準備会等	準備会等
						3	駅前広場、アクセス道路などの都市基盤整備	都市計画決定に向けた協議、調整及び手続	都市計画決定に向けた協議、調整及び手続	都市計画決定に向けた協議、調整及び手続
						4	車庫移転等による大規模な土地利用転換	協議、検討	協議、検討	協議、検討
						5	まちづくりガイドプランの更新	検討	検討	検討
10	13	3	青戸六・七丁目地区の街づくり	街づくり推進担当課	活動量	1	都市計画・地区計画に基づく街づくりの推進	関係機関との協議調整	関係機関との協議調整	関係機関との協議調整
						2	基盤整備の推進	-	-	都市計画手続
					評価指標	1	地域特性や地域の実情が活かされた街づくりが進められていると思う区民の割合(青戸)(%)	49.6	50.7	49.9
						2	地区計画等の公共用地整備率(%)	91.8	91.8	91.8

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目			令和6年度		令和7年度	
								目標値	実績値	目標値	実績値
11	13	4	良質な住宅の確保	住環境整備課	活動量	1	マンションアドバイザー派遣制度利用件数(件)	3	1	4	1
						2	マンション維持管理等セミナー・個別相談会等(回)	2	2	3	2
						3	既存ストック再生型優良建築物等整備事業(件)	-	0	1	0
						4	マンション外観調査・管理状況調査(件)	10	13	20	20
						5	マンション管理士派遣(プラン作成・訪問合計件数)(件)	検討	0	実施	0
						6	優良集合住宅認定相談件数(件)	6	6	6	10
						7	高優賃からSN専用住宅への移行戸数(戸)	0	0	140	134
						8	SN専用住宅の確保戸数(戸)	2	1	3	2
					評価指標	1	管理計画認定を受けたマンション件数(棟)	10	14	10	26
						2	優良集合住宅申請件数(件)	1	2	1	0
12	13	4	空家等対策	住環境整備課	活動量	1	空家等の情報提供等を受け付け、解決に向けた対応を行う件数(件)	100	77	100	95
						2	管理状況確認通知書発送数(件)	50	63	50	105
						3	空き家適正管理助成事業(件)	10	0	10	1
						4	行政代執行または財産管理人選任申立(件)	2	4	2	7
						5	空き家等相談窓口 受付件数(件)	180	275	180	204
						6	相談会 開催回数(回)	7	7	7	7
					評価指標	1	空家等の相談等を解決した割合(%)	85.0	77.0	85.0	79.0

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目			令和6年度		令和7年度	
								目標値	実績値	目標値	実績値
13	14	1	東立石地区の街づくり	密集地域整備担当課	活動量	1	道路等用地取得(㎡)	-	0	273	297
						2	道路等整備	工事 571㎡	工事 624㎡	工事 237㎡	工事 301㎡
						3	不燃化助成(建替え)(件)	1	0	4	1
						4	不燃化助成(除却)(件)	4	3	7	6
					評価指標	1	不燃領域率(%)	62.3	61.1	63.5	未確定
14	14	1	堀切地区の街づくり	街づくり推進担当課、 密集地域整備担当課、 道路管理課	活動量	1	道路等用地取得(㎡)	230	173	135	28
						2	道路等整備	工事	工事 65㎡	工事	工事 19㎡
						3	不燃化助成(建替え)(件)	9	5	9	8
						4	不燃化助成(除却)(件)	26	17	30	15
						5	橋梁架替事業を契機とした街づくりの検討	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議
						6	まちづくり組織への支援	支援	支援	支援	支援
						7	東京都と連携した歩行環境改善の検討	関係者調整・ 協議	関係者調整・ 協議	関係者調整・ 協議 基本設計	関係者調整・ 協議
					評価指標	1	不燃領域率(%)	61.9	59.8	63.5	未確定
15	14	1	西新小岩五丁目地区の街づくり	街づくり推進担当課、 密集地域整備担当課	活動量	1	防災生活道路の拡幅整備	事業着手	事業着手	用地取得	用地取得
						2	防災街区整備地区計画の都市計画決定	都市計画決定	都市計画決定	-	-
					評価指標	1	不燃領域率(%)	46.0	47.6	47.1	未確定

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度		
							目標値	実績値	目標値	実績値	
16	14	1	民間建築物耐震診断・改修事業	建築課	活動量	1	耐震診断(件)	320	294	400	279
						2	耐震設計(件)	3	0	5	1
						3	耐震改修(件)	5	0	5	0
						4	建替え(件)	130	49	150	35
						5	除却(件)	150	177	190	155
						6	補強設計・耐震改修(件)	10	18	15	11
						7	耐震シェルター等設置(件)	0	0	3	0
						8	耐震診断《新耐震》(件)	17	20	30	5
						9	補強設計・耐震改修《新耐震》(件)	5	7	20	5
					評価指標	1	助成件数【耐震設計・補強設計・耐震改修、耐震改修、建替え、除却、耐震シェルター等】(累計)(件)	4,190	4,071	4,558	4,273
2	助成件数【補強設計・耐震改修】(累計)《新耐震》(件)	5	7	25		12					
17	14	1	地盤の液状化対策	建築課	活動量	1	窓口相談の実施	実施	実施	実施	実施
						2	液状化対策等の説明会実施(回)	10	10	10	20
						3	地盤調査費助成(件)	11	3	15	3
						4	液状化対策費助成(件)	2	1	10	2
						5	地盤の液状化判定調査業務委託(件)	5	2	15	8
					評価指標	1	地盤調査費助成・地盤の液状化判定調査業務委託(累計)(件)	97	79	127	90
						2	液状化対策費助成(累計)(件)	17	16	27	18

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度		
							目標値	実績値	目標値	実績値	
18	14	2	水害対策の強化	危機管理課、調整課、都市計画課	活動量	1	出前講座や地域ごとの説明会、地域別地域防災会議等の実施	実施	実施	実施	実施
						2	浸水対応型市街地構想の実現方策の検討、実施	実施	実施	実施	実施
						3	荒川橋梁部水害対策	実施	実施	実施	実施
					評価指標	1	区の災害対策が進んでいると思う区民の割合(%)	44.0	34.3	45.0	39.5
						2	災害に備えて家庭内での対策を行っていると思う区民の割合(%)	56.6	57.6	56.7	57.6
19	15	1	都市計画道路の整備	道路建設課	活動量	1	区画街路4号線(四つ木地区)(四つ木東地区)(四つ木西地区)	用地取得・予備設計	用地取得・予備設計	用地取得・予備設計	用地取得・予備設計
						2	区画街路6号線	用地取得	用地取得	用地取得	用地取得
						3	補助138・261号線(南水元西地区)	用地取得・事業認可取得準備	用地取得・事業認可取得準備	用地取得・予備設計・事業認可取得	用地取得・事業認可取得準備
						4	補助261号線(南水元地区)	工事	工事	詳細設計・工事	詳細設計
						5	補助264号線(細田西地区)(環状7号線付近地区)	用地取得・詳細設計・工事	用地取得・詳細設計・工事	用地取得・詳細設計・工事	用地取得・詳細設計・工事
						6	補助274号線(立石地区)	予備設計	予備設計	予備設計	予備設計
						7	補助276・279号線(隅田橋地区)	詳細設計・工事	詳細設計・工事	工事	工事
						8	補助276号線(一口橋南地区)(細田北地区)	用地取得・詳細設計・工事	用地取得・詳細設計・工事	用地取得・詳細設計・工事	用地取得・詳細設計・工事
						9	補助279号線(高砂地区)	用地取得	用地取得	用地取得	用地取得
						10	補助284号線(東新小岩南地区)(東新小岩北地区)	工事	工事	工事	工事
					評価指標	1	都市計画道路(区施行路線)整備率(%)	66.5	66.6	67.4	66.6
20	15	1	無電柱化の推進	道路建設課	活動量	1	葛・新19・20号線(亀有四丁目、道上小付近)計画延長228m、幅員6m	工事	工事	工事	工事
						2	区道172号線(堀切一丁目、綾南小付近)計画延長210m、幅員11m	工事	工事	工事	詳細設計・工事
						3	葛104号ほか(京成金町線柴又駅付近)計画延長115m、幅員3.6～7.2m	関係機関協議	関係機関協議	工事	工事

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
21	15	1	新中川橋梁架替事業	道路補修課	活動量	1	八剱橋 設計・工事	設計・工事	設計・工事	設計・工事
						2	細田橋 調査・設計	調査	調査	設計
					評価指標	1	進捗率(%) (上段:八剱橋 下段:細田橋)	76.5 2.5	71.4 2.0	90.8 3.6
22	15	1	京成押上線(四ツ木駅～青砥駅間)連続立体交差事業	立石駅北街づくり担当課、政策企画課、施設管理課	活動量	1	高架化工事 事業延長2.2km	高架化工事	高架化工事	高架化工事
						2	高架下用地の有効活用	検討	検討	検討
23	15	1	京成高砂駅～江戸川駅付近鉄道立体化事業の推進	高砂・鉄道立体担当課	活動量	1	京成本線(高砂駅～江戸川駅付近)の鉄道立体化に向けた合同勉強会等の開催	合同勉強会等の開催	合同勉強会等の開催	合同勉強会等の開催
						2	連続立体交差事業の実現に向けた関係機関との協議、調整及び都市計画手続き	協議、調整及び手続	協議、調整及び手続	協議、調整及び手続
						3	交通ネットワークの検討	検討、関係機関協議	検討、関係機関協議	検討、関係機関協議
24	15	2	自転車利用環境の整備推進事業	交通政策課、道路補修課	活動量	1	自転車通行空間の確保整備延長(km)	2	3	2
						2	シェアサイクルの普及	社会実験	社会実験	社会実験
						3	自転車保険の加入促進	普及啓発	普及啓発	普及啓発
						4	葛飾区交通安全計画の改定	-	-	改定
					評価指標	1	区内の交通事故発生件数(件)	511	743	511

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
25	15	2	自転車駐車場整備事業	交通政策課	活動量	新小岩駅周辺				
						①西井堀第一自転車駐車場	検討	検討	設計	検討
						②新小岩駅北口自転車駐車場	検討	検討	-	検討
						金町駅周辺				
						①東金町一丁目西地区(再開発事業関連)	整備工事	整備工事	整備工事供用開始	整備工事供用開始
						②金町駅北口(東側)自転車駐車場	-	-	改修工事	検討
						③金町駅北口(東金町側)自転車駐車場	-	-	-	-
						④金町駅北口(西側)自転車駐車場	-	-	-	-
					評価指標	1 自転車駐車場収容台数(台)	27,300	27,325	27,518	25,721
						2 自転車放置率(%)	3.0	3.9	2.8	3.4
26	15	3	新金線の旅客化	新交通推進担当課	活動量	1 旅客化に向けた調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討
						2 旅客化に向けた関係機関との協議、調整	関係機関協議	関係機関協議	関係機関協議	関係機関協議
						3 検討委員会・幹事会の開催	検討委員会・幹事会	検討委員会・幹事会	検討委員会・幹事会	方針検討会
						4 設計・工事	-	-	先行整備区間基本設計	概略設計
27	15	3	地下鉄8・11号線及び環七高速鉄道(メトロセブン)建設促進事業	交通政策課	活動量	1 調査研究、関係機関協議	調査研究 関係機関協議	調査研究 関係機関協議	調査研究 関係機関協議	調査研究 関係機関協議
						2 関係自治体等との連携強化	連携強化	連携強化	連携強化	連携強化

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
28	15	3	バス交通の充実	交通政策課	活動量	循環バス等の導入				
						①細田循環バス	補助・運行検証	補助・運行検証	補助・運行検証	補助・運行検証
						②その他新規路線 既存路線の再編	協議・検討	協議・検討	協議・検討	協議・検討
						2 地域主体交通の導入	地域主体交通 実証運行	地域主体交通 実証運行	地域主体交通 運行	地域主体交通 運行
						3 サイクル&バスライドの整備(か所)	2	2	2	2
						4 利便施設整備の支援(か所)	15	1	15	3
						5 交通の新技术活用の検討	MaaS等導入 検討	MaaS等導入 検討	MaaS等導入 検討	MaaS等導入 検討
					評価指標	1 区内の交通の便が良いと思う区民の割合(%)	55.1	54.9	55.6	51.9
29	16	1	特色のある公園の整備	公園課	活動量	1 柴又公園(拡張)	実施設計・工事	実施設計・工事	実施設計工事・ 完成	実施設計・工事
						2 新小岩公園(再整備)	基本修正設計	土壌汚染調査	実施設計	土壌汚染調査
						3 葛飾あらかわ水辺公園(再整備)	調査検討	検討	基本計画	実施設計 工事
						4 曳舟川親水公園(改修)	実施設計 工事	実施設計 工事	調査・基本設 計・工事	工事
						5 新宿交通公園(再整備)	基本設計	実施計画	基本設計	実施計画

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
30	16	1	地域の身近な公園の整備	公園課	活動量	1 (仮称)東金町七丁目公園(新設)(防災活動拠点)	工事・完成	工事・完成	-	-
						2 白鳥四丁目公園(改修)(防災活動拠点)	工事・完成	工事	-	工事・完成
						3 南綾瀬中央公園(拡張)(防災活動拠点)	工事・完成	工事・完成	-	-
						4 白鳥北公園(改修)(防災活動拠点)	実施設計	-	実施設計	-
						5 (仮称)新小岩一丁目公園(新設)(防災活動拠点)	基本設計	基本設計	用地取得 実施設計	用地取得 実施設計
						6 高砂南児童遊園(拡張)(防災活動拠点)	-	-	基本設計	基本設計
						7 宝町公園(拡張)(防災活動拠点)	-	-	-	-
						8 住区基幹公園(1園)	-	-	-	-
31	16	2	河川環境改善事業	公園課	活動量	1 水質浄化施設等の改修	調査・実施設計 電気設備工事	調査・実施設計 電気設備工事	調査・実施設計 撤去・更新工事	調査・実施設計 撤去・更新工事
						2 水生植物(ヒシ類等)の刈取り	刈取り・処分	刈取り・処分	刈取り・処分	刈取り・処分
						3 特定外来生物等の防除	防除	防除	防除	防除
						4 水環境モニタリング調査	調査	調査	調査	調査

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
32	16	2	川を活かした街づくり	かわまちづくり担当課、公園課	活動量	中川親水テラス整備				
						①照明設備設置	工事	工事	実施設計・工事	実施設計・工事
						②緑道公園改修	関係機関との調整	関係機関との調整	関係機関との調整	関係機関との調整
						2 新中川通水記念公園(再整備)	関係機関調整	関係機関調整	関係機関協議	関係機関調整
						3 中川かわまちづくり事業	計画設計	計画設計	設計工事	設計工事
						4 柴又公園(拡張)	実施設計工事	実施設計工事	実施設計工事・完成	実施設計工事
						5 新小岩公園(再整備)	基本修正設計	土壌汚染調査	実施設計	土壌汚染調査
33	17	1	区民の環境行動推進	環境課	活動量	6 葛飾あらかわ水辺公園(再整備)	調査検討	検討	基本計画	実施設計工事
						かつしかエコ助成金制度による推進				
						①電気自動車等(件)	120	230	120	278
						②V2H(件)	15	16	20	8
						③高断熱住宅(件)	40	132	60	169
						④太陽光発電設置義務化を踏まえた検討、対応	検討	検討	対応	検討
						2 地域脱炭素に向けた再生可能エネルギー利用拡大の取組	検討・調整	検討	実施	検討
						3 環境学習教室やイベントの開催	実施	実施	実施	実施
						4 水素エネルギー利活用の推進(水素ステーションなど)	検討	検討	検討	検討
						5 森林を軸とした地域間交流(自然体験ツアーなど)	検討・試行	検討	実施	実施
					評価指標	1 区内の家庭におけるCO2排出量(1,000トン-CO2)	475	469.5(見込値)	454	445(見込値)

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度		
							目標値	実績値	目標値	実績値	
34	17	1	事業者の環境行動推進	環境課	活動量		エコ助成金制度による推進				
						1	①電気自動車等(件)	10	35	10	55
						②V2H(件)	10	0	10	0	
						③環境経営クラウドサービス(件)	10	2	10	1	
						2	金融機関との連携による脱炭素経営支援	実施	実施	実施	実施
						3	電力リバーサオークション「エネオク」による再生可能エネルギー電力の普及	実施	実施	実施	実施
						4	環境マネジメントシステム認証取得の支援	実施	実施	実施	実施
						5	地域脱炭素に向けた再生可能エネルギー利用拡大の取組	検討・調整	検討	実施	検討
						6	工場等における脱炭素型施設整備への支援	調整・制度設計	検討	実施	検討
					7	普及啓発セミナー等の実施	実施	実施	実施	実施	
8	葛飾清掃工場のCO2の貯留(CCS)・有効利用(CCUS)に向けた研究	研究	研究	研究	研究						
	評価指標	1	区内事業所におけるCO2排出量(1,000トン-CO2)	632	581 (見込値)	606	555 (見込値)				
35	17	1	区の環境行動推進	環境課	活動量	1	公共施設における省エネ改修の実施	実施	実施	実施	実施
						2	公共施設の新築・改築時におけるZEB標準化	実施	実施	実施	実施
						3	公共施設への太陽光発電設置の推進	実施	実施	実施	実施
						4	電力調達に係る再生可能エネルギー利用割合拡大に向けた取組	拡大実施	実施	拡大	実施
						5	庁用車のZEV化 EV車、FCVへの転換(台)	22	22	7	1
						6	地域脱炭素に向けた再生可能エネルギー利用拡大の取組	検討・調整	検討	実施	検討
						7	地域間連携による森林整備事業	実施	実施	実施	実施
					評価指標	1	区有施設における温室効果ガス排出量(トン-CO2)	20,640	23,584	19,687	23,189
						2	区有施設におけるエネルギー消費量(原油換算値:kl)	12,418	12,307	12,034	12,664

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
36	17	2	緑と花のまちづくり事業	みどりと花のフェア担当課	活動量	1	花いっぱい協議会活動の推進	活動継続	活動継続	活動継続
						2	活動団体への補助(件)	68	66	71
						3	緑花生活用花材の配付	実施	実施	実施
						4	緑花生活講習会の開催	実施	実施	実施
						5	花情報の発信(花いっぱいホームページ・情報紙)	ホームページ実施	実施	ホームページ実施
						6	花いっぱいレポーターの育成・取材活動支援	実施	実施	実施
						7	花壇コンクール・ガーデニングコンクール等の開催	一部実施 その他検討	一部実施 その他検討	一部実施 その他検討
						8	花いっぱいアドバイザーの導入	検討	検討	検討
						9	フラワーイベントの開催	実施	実施	実施
						10	区民との新たな協働の仕組みの導入	検討	検討	検討
						11	まちかどマイガーデンの開催	一部実施	一部実施	一部実施
					評価指標	1	緑と花のまちづくり推進事業に係る植栽面積合計(m ²)	3,118	3,070	3,192
						2	緑と花の豊かさを感じる区民の割合(%)	67.9	70.9	68.4
37	17	2	「(仮称)全国みどりと花のフェアかつしか」の開催	みどりと花のフェア担当課	活動量	1	(仮称)全国みどりと花のフェアかつしか	基本計画・実施計画策定	基本計画策定・実施計画検討	プレイベント開催
						2	(仮称)全国みどりと花のフェアかつしか実行委員会設置・開催	委員会設置・開催	-	委員会開催
						3	全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会設置・開催	-	-	委員会設置・開催
						4	核となる会場(公園等)整備	設計	設計	整備工事
					評価指標	1	来場者数(千人)	-	-	-

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
38	17	3	生物多様性の保全	環境課	活動量	1 第2次生物多様性かつしか戦略及び実行計画	実施・推進	実施・推進	実施・推進	実施・推進
						2 環境保全団体への支援(団体)	2	2	2	2
						水辺のふれあいルーム				
						3 ①来館者数(人)	32,000	24,203	32,000	22,875
						②自然学習講座実施回数(回)	24	24	24	24
						4 自然環境学習の実施	実施	実施	実施	実施
						自然環境レポーター				
						5 ①登録者数(人)	44	35	47	35
						②自然環境レポーター通信の発行(回)	4	4	4	4
						6 自然環境調査(モニタリング調査)の実施	実施	実施	実施	実施
						7 アライグマ・ハクビシン箱ワナ設置件数(件)	144	105	149	135
					評価指標	1 自然を大切にしている区民の割合(%)	73.1	72.4	74.1	73.0
						2 外来種の捕獲件数(件)	64	39	69	37

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
39	17	5	資源循環による環境負荷の低減促進	リサイクル清掃課、清掃事務所	活動量	プラスチックごみの削減				
						①テイクアウト用容器包装等プラスチックごみ削減の推進	検討	検討	モデル実施 本格実施に向け検討	検討
						②事業者との協働による使用量削減の推進	検討	検討	モデル実施 本格実施に向け検討	検討
						2 ボトルtoボトルによる水平リサイクルの推進	実施	実施	実施	実施
						3 プラスチックの代替素材の利用拡大に向けた普及啓発	実施	実施	実施	実施
						4 プラスチックに関する環境学習の実施	実施	実施	実施	実施
						5 燃やさないごみの資源化	品目拡大	品目拡大	実施	品目拡大
						6 粗大ごみの資源化	実施	実施	実施	実施
						7 布団類による水平リサイクルの推進	実施	実施	実施	実施
						8 製品プラスチックの資源化	一部先行実施	一部先行実施	実施	実施
						9 「繊維to繊維」の推進	実施	実施	実施	実施
					10	葛飾清掃工場のCO2の貯留(CCS)・有効利用(CCUS)に向けた研究	研究	研究	研究	研究
					評価指標	1 資源回収率(%)	24.1	23.7	25.2	23.4

No.	政策No.	施策No.	計画事業名	所管課	項目		令和6年度		令和7年度	
							目標値	実績値	目標値	実績値
40	17	5	かつしかルール推進事業	リサイクル清掃課	活動量	1	かつしかルール(生ごみ減量)の発信、食べきりレシピ本の作成、メニューコンテストの実施	レシピ本作成・配布 コンテスト実施	レシピ本作成・配布 コンテスト実施	レシピ本配布 コンテスト実施
						2	かつしかルール(雑紙の分別)の発信			
							①事業者向け環境学習	実施	実施	実施
							②雑紙回収チャレンジ	実施	実施	実施
							食品ロスの削減			
						3	①かつしか食べきり協力店登録数(店舗)(累計)	55	44	60
							②フードドライブ運動の推進(地域団体主催含む実施数)(回)	20	22	20
							③フードドライブ窓口の常設	実施	実施	実施
							④食品ロス削減啓発ツール制作・活用	ツール制作・活用	ツール制作・活用	活用
						4	かつしかルール追加(古布の分別)による資源循環の促進	実施	実施	実施
					評価指標	1	区民1人1日当たりの区収集ごみ量(g/日)	461	440	452

SDG s 推進計画

SDG s かつしか未来プロジェクトの進捗状況

1 未来創出「地元」イノベーションプロジェクト

先進技術の進展や社会課題の多様化が進む中、区内企業の持続的な成長と地域経済の発展を図るため、産学公金の協働による新事業創出や持続可能な経営の仕組みづくりが必要です。

区はこれまで、東京理科大学等との連携を強化し、先進技術の共有や試作品開発（知的な筋力トレーニング装置等）に取り組んできました。また、事業者の経営安定や継続に向けて、ビジネスマッチングや専門家によるワンストップ相談の実施、省エネ対策や再生可能エネルギーの導入支援などを通じ、事業承継や環境経営への移行を進めてきました。

今後は、DXを活用した業務効率化や生産性向上に向けた支援を更に充実させるとともに、産学公金連携による創業・スタートアップ支援を進めます。また、区内産業の販路拡大を図るとともに、リスキリングや人材確保・定着支援、働きやすい就労環境の整備を進めます。

こうして、区内事業者が新たなイノベーションを創出し、持続可能な経営を実現できる環境を整備していきます。

4 活き生き人生 100 年プロジェクト

人口減少や高齢化が進む中、デジタル技術やデータを活用し、誰もが取り残されることなく健康寿命を延伸できる仕組みの構築が必要です。

区はこれまで、「かつしか健康チャレンジ事業」や健康アプリ「モンチャレ」の提供を通じ、区民の運動習慣定着や「かつしか PAY」連携による地域経済活性化を図ってきました。また、事業者向けの「葛飾区健康経営優良事業者認証制度」の活用や、男性の介護予防を促す「葛飾男塾」などの各種介護予防事業を展開し、感染症対応のデータベース化など保健分野の取組も進めてきました。

今後は、「モンチャレ」と地域活動・介護予防・スポーツ等を連携させ、医療・健診・国保データ等の分析及び事業効果の可視化と見直しを行い、エビデンス重視の施策立案につなげます。また、健康無関心層や働く世代（ミドル世代）への運動機会の提供や事業者の健康経営の促進などを推し進めるとともに、断熱住宅の普及促進など、住環境の向上も含めた総合的な健康基盤を構築していきます。

5 「ゼロエミッションかつしか」加速プロジェクト

令和 12 年のカーボンハーフや令和 32 年のカーボンニュートラル達成に向け、省エネ技術の導入推進やカーボンオフセット等の活用による持続可能な仕組みの構築が必要です。

区はこれまで区民や事業所における省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用を促進するため、かつしかエコ助成金により、区民・事業者の脱炭素化に向けた取組を支援してきました。また、公共施設への再生可能エネルギー由来の電力切替を実施したほか、連携協定自治体との交流、ごみの減量、製品プラスチック・古布等の資源回収強化を進めてきました。

今後は、区民や事業者の環境行動をより一層促進するため、技術革新や社会情勢の変化も踏まえながら助成制度を見直しつつ、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入・利用を区民生活に浸透させます。また、公共施設における再生可能エネルギーの導入や ZEB の標準化を着実に進め、区自らが率先して脱炭素化に取り組むことで区全体の機運醸成を図ります。さらに、CO₂ の削減を推進するため、他自治体との連携による森林整備や間伐などの取組を通じて、森林が有する CO₂ 吸収機能の維持・向上に貢献するとともに、都市と森林をつなぐ環境交流を推進します。ごみの発生抑制や資源回収の促進についても継続して取り組み、「ゼロエミッションかつしか」の実現に向けた取組を進めていきます。

6 スマートムーブプロジェクト

移動需要の多様化やバス運転手不足（2024 年問題）への対応、脱炭素化の推進など交通環境が変化する中、環境負荷が少なく誰もが便利に移動できる仕組みの構築が必要です。

区はこれまで、地下鉄 8・11 号線延伸やメトロセブン構想の推進をはじめ、細田循環バスの導入、乗合ワゴン「さくら」の運行、グリーンスローモビリティや小型車両活用デマンド交通の実証運行などを進めてきました。また、バス事業者への人材確保支援や、シェアサイクルの社会実験、交通安全啓発、令和 8 年 3 月の「葛飾区地域公共交通計画」策定に取り組んできました。

今後は、新交通システムの整備やバス交通をはじめとする地域交通の利便性の更なる向上を図るとともに、自動運転や MaaS などの先端技術の動向を注視しながら、多様な移動ニーズに対応した交通環境の充実を図ります。あわせて、安全な自転車活用を促進しながら、高齢社会や子育てに対応した、安全で快適に移動できるスマートな交通環境を整備していきます。

7 区民を守る防災未来プロジェクト

近年の大規模自然災害において、情報の錯綜により適切な支援が迅速に行き届かなかった教訓を踏まえ、デジタル技術等を活用して、災害情報を迅速かつ的確に把握・共有し、強靱な防災の仕組みの構築が必要です。

区はこれまで、災害情報を一元管理・共有する「葛飾区総合防災情報システム」の導入や、防災ポータルサイト「かつらッパ」、河川カメラ画像の公開による迅速な情報提供を行ってきました。また、「浸水対応型市街地構想」に基づく学校避難所の停電・水害対策や民間建築物の整備促進、広域避難や在宅避難の周知に取り組んできました。

今後は、「葛飾区総合防災情報システム」を活用しながら、多様な主体が参加できる訓練機会の確保や備蓄品管理等の効率化を図ります。また、関係機関と連携しながら、個別避難計画の策定と災害時要配慮者支援の充実を図ります。さらに、地域の不燃化の推進、耐震改修、公共施設への太陽光・蓄電池や EV による電源確保、衛生的な災害用トイレ環境の管理など、総合的な防災対策を推し進めます。

これらの取組を通じて、デジタル技術を最大限に活用し、災害時においても命と暮らしを守り抜く強靱な防災都市葛飾を推進していきます。

SDGs推進計画

各ゴール（指標）の目標値と実績値

ゴール	指標	単位	計画策定時の現状値	実績値				計画策定時の目標値
			令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度	
7	区内のエネルギー消費量	TJ	14,971 (12.6%) (令和元年度)	14,557 (15.0%) (令和2年度)	14,402 (15.9%) (令和3年度)	14,037 (18.0%) (令和4年度)	11,993 (30.0%)	
	区内の再生可能エネルギー導入量	k W	27,386	28,931	31,301	35,053	41,475	
	省エネを心がけている区民の割合	%	83.3	83.5	81.8	84.2	94.2	
11	住環境が良好だと思ふ区民の割合	%	61.3	60.8	63.4	64.6	67.0	
	駅周辺が住み、働き、憩うことのできる、便利でにぎわいのある地域になっていると思ふ区民の割合	%	41.9	41.7	46.4	45.8	48.0	
	区内の交通の便が良いと思ふ区民の割合	%	56.7	53.0	54.9	51.9	61.3	
12	区民1人1日当たりの区収集ごみ量	g	492	449	440	432	425	
	事業系ごみ年間総排出量	t	22,286	22,781	22,615	21,262	23,805	
	資源回収率	%	23.4	23.6	23.7	23.4	27.0	

ゴール	指標	単位	計画策定時の現状値	実績値				計画策定時の目標値
			令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度	
13	区全域の温室効果ガスの基準年（平成25年）総排出量比	%	-15.0 (令和元年度)	-15.7 (令和3年度)	-18.9 (令和4年度)	-26.1 (令和5年度)	-50.0	
	区の事務事業による温室効果ガスの基準年（平成25年）総排出量比	%	-24.9	-25.4	-25.7	-27.0	-50.0以上	
	区の災害対策が進んできていると思う区民の割合	%	36.0	34.0	34.3	39.5	50.0	
14	環境基準（河川BOD）未達の水域数	か所	1	1	1	1 (見込み値)	0	
15	区民1人当たりの公園面積	m ²	4.39 (令和4年度)	4.36	4.33	4.31	4.46	
	自然を大切にしている行動をしている区民の割合	%	71.4	72.7	72.4	73.0	85.0	
	緑と花の豊かさを感じている区民の割合	%	65.5	68.7	70.9	68.7	69.8	

一般庶務報告No. 1		
環	境	部
令和8年9月17日		

全国みどりと花のフェアかつしかについて

みどりと花のフェア担当課

1 概要

令和8年7月23日の建設環境委員会において報告した「全国みどりと花のフェアかつしか」（以下「フェア」という。）の開催実績（速報）について、その後、来場者数等の集計及び事業効果等の分析を継続して実施した。

この度、来場者数の確定値をはじめとする開催実績やフェアに係る経費の見通しについて取りまとめた。

2 フェア開催実績

【資料1】のとおり

3 フェア全体経費見通し（令和8年7月末時点）

【資料2】のとおり

I 開催結果概要

1 開催期間

令和8年5月16日（土）～6月14日（日）【30日間】

- ・6月2日（火）～4日（木）までの3日間は、台風接近のため会場運営を中止
- ・6月12日（金）は、雷雲接近のため午後から会場運営を中止

2 エリア

メインエリア	新宿・金町・水元を中心とするエリア
こち亀エリア	亀有・お花茶屋を中心とするエリア
翼エリア	四つ木・立石を中心とするエリア
寅さんエリア	柴又を中心とするエリア
モンチッチエリア	新小岩を中心とするエリア

3 会場

メイン会場	葛飾にいじゅくみらい公園（メインエリア）
サテライト会場	曳舟川親水公園広場ゾーン（こち亀エリア） 新小岩駅周辺（モンチッチエリア）
フラワースポット （※）	金町駅周辺（メインエリア） 亀有駅周辺・曳舟川親水公園（こち亀エリア） 渋江公園・四つ木つばさ公園等（翼エリア） 柴又公園・柴又帝釈天等（寅さんエリア） 新小岩駅周辺（モンチッチエリア）
まちなか花いっぱい プレイス	区民の花壇 （地域活動団体が手入れしている区内全域に点在する 160 か所以上の花壇） 区内の花の名所 （奥戸ローズガーデン及び小菅西公園の花時計等）
連携会場	堀切菖蒲園・都立水元公園

（※）フラワースポットとは、銅像や駅周辺における花装飾及び展示等を行う場所

4 来場者数

合計 708,790 人（内訳・詳細は資料 38～41 頁のとおり）

5 協賛・協力金

合計 82,913,374 円（内訳・詳細は資料 2～5 頁のとおり）

6 迷子

1 件

7 遺失・拾得物

遺失物 8 件、拾得物 115 件

8 救護

救護 23 件、救急搬送 3 件（※）、保険適用事案 0 件
（※）転倒による打撲、眩暈等

Ⅱ 事業別実績

1 特別協力・協賛結果

(1) 特別協力

区と関係の深い企業や、本フェアのエリア構成、会場等に深く関与する企業に対し連携・協力を依頼し、以下の5社と協定を締結した。

■ 企業一覧

企業名	内容	金額換算
株式会社セキグチ	エリア名へのキャラクター名称使用、キャラクター銅像への花装飾、ノベルティへのキャラクターイラスト使用権の無償提供、商品の無償提供	3,250,000 円
株式会社 TSUBASA	エリア名へのキャラクター名称使用、キャラクター銅像への花装飾、着ぐるみキャラクターの無償出演	1,166,000 円
松竹株式会社	エリア名へのキャラクター名称使用、ノベルティへのキャラクターイラスト使用権の無償提供	10,000,000 円
東京理科大学	大学内施設の無償貸与、大学内花装飾の実施、ポスターの掲出	13,558,667 円
三菱ガス化学株式会社	専用駐車場として所有地の一部を無償貸与	2,158,000 円

合計額：30,132,667 円

(2) 協賛

葛飾区に関係のある企業・団体に加え、区内外の企業・団体に広く協賛を依頼した結果、リサイクル業界、金融業界、鉄道業界、印刷業界をはじめとする幅広い分野の企業・団体から協賛を受けた。

- ・アプローチ数：128 社（団体）
- ・申込件数：63 件 48,780,707 円

(3) その他（寄附・助成金）

- ・寄附 1 件 2,000,000 円
- ・助成金 1 件 2,000,000 円

※協賛、その他（寄附・助成金）の詳細は次ページのとおり

フェア協賛企業・団体一覧

企業・団体等	協賛金額 (金額換算)	協賛内容
(1)資金協賛		
ゴールドパートナー		
東京ガス(株)東京東支店	1,000,000円	資金提供
計	1,000,000円	1件
シルバーパートナー		
(株)エナーバンク	300,000円	資金提供
カインズ(株)	300,000円	資金提供
葛飾資源リサイクル事業協同組合	300,000円	資金提供
ガラスリソーシング(株)	300,000円	資金提供
(株)共和興業	300,000円	資金提供
京成バス東京(株)	300,000円	資金提供
公式アンバサダーを応援する有志一同	300,000円	資金提供
大和ハウス工業(株)	300,000円	資金提供
(株)ワンズ	300,000円	資金提供
計	2,700,000円	9件
ブロンズパートナー		
亀有信用金庫	100,000円	資金提供
(株)木内印刷	100,000円	資金提供
イーアス沖縄豊崎	100,000円	資金提供
(有)光永ビルサービス	100,000円	資金提供
タイヨー(株)	100,000円	資金提供
東栄信用金庫	100,000円	資金提供
東京聖栄大学	100,000円	資金提供
パナソニックエレクトリックワークス(株)	100,000円	資金提供
(株)みずほ銀行	100,000円	資金提供
(有)ユー・キカク	100,000円	資金提供
早稲田大学校友会葛飾稲門会	100,000円	資金提供
(株)キョードーファクトリー	100,000円	資金提供
(株)システムリバース	100,000円	資金提供
明治安田生命保険相互会社 千住支社	100,000円	資金提供
(株)三井住友銀行	100,000円	資金提供
計	1,500,000円	15件

企業・団体等	協賛金額 (金額換算)	協賛内容
サポーター		
個人①	10,000円	資金提供
個人②	10,000円	資金提供
個人③	10,000円	資金提供
個人④	10,000円	資金提供
計	40,000円	4件
資金協賛計	5,240,000円	29件
(2)物品等協賛		
スペシャルサプライヤー		
ZeMA / ジーマ	3,521,100円	水素自動車・外部給電機の貸出、水素給電に係るコンテンツ提供
NTT東日本(株)	2,024,000円	来場者のデータ収集・人流データ分析作業
三菱地所プロパティマネジメント(株)	1,792,000円	「MARK IS 葛飾かなまち」でのカウントダウンクロックの設置、商品券1万円分の提供
(一社)テキスタイルサーキュラーネットワーク	1,408,000円	スタッフ用ベスト(繊維由来の再生ポリエステル38%混)の提供
(株)ハクサン	1,207,800円	花苗(PWラグランジア)の提供、ステージイベントの実施
東金町一丁目西地区市街地再開発組合	1,174,800円	工事現場仮囲いへの「サカセみらい」メッセージアートの掲出
TOPPAN(株)	1,155,000円	フェア公式リーフレットの印刷
(株)ダイオーズジャパン	1,114,744円	ウォーターサーバーの貸出、給水ボトルの提供
(一社)地球環境情報フォーラム	1,030,000円	地球環境情報展・サイエンスショーの実施
計	14,427,444円	9件
サプライヤー		
(同)メカリンク	832,601円	冷風ベストの提供
(株)ハマネツ	451,000円	屋外授乳室の貸出
三協エアテック(株)	440,000円	冷風分散ダクト一体型スポットクーラーの貸出
(株)ハルディン	220,000円	花苗(ダイアンサス)の提供
TSP太陽(株)	220,000円	フェア公式リーフレットのデザイン
日本たばこ産業(株)	200,000円	臨時喫煙所資材一式の貸出
木下印刷(株)	187,000円	フェア協賛ポスターのデザイン、印刷
自然応用科学(株)	140,800円	壁面緑化用製品(カノバック)の提供
トヨタモビリティ東京(株)	132,000円	燃料電池自動車からの給電
京成バラ園芸(株)	128,502円	花苗(つるバラ)の提供
葛飾ヤクルト販売(株)	121,380円	乾麺(インスタントラーメン)の提供
(株)ジェイコム千葉	110,000円	J:COMキャラクター(ZAQ)グッズの提供
(有)シン・ネットワーク	108,900円	熱中症対策キット・マルチホルダーキャップの提供
and now(同)	100,000円	フェアで使用された花を回収し、アップサイクルにより紙へ再生する循環型資源活用
計	3,392,183円	14件
物品等協賛計	17,819,627円	23件

企業・団体等	協賛金額 (金額換算)	協賛内容
(3) 広告協賛		
プレミアムメディアパートナー		
京成電鉄(株)	17,301,900円	駅貼り・サイネージ広告、中刷り広告
計	17,301,900円	1件
スペシャルメディアパートナー		
(株)TUSダイニング	1,800,000円	東京理科大学葛飾キャンパス内食堂1階でのサイネージ広告
東京ビジネスサービス(株)	1,800,000円	東京理科大学葛飾キャンパス内食堂2階でのサイネージ広告
北総鉄道(株)	1,702,000円	駅貼り広告、チラシ配布
京成バス東京(株)	1,196,800円	バス車内へのポスター掲出
東武バスセントラル(株)	1,068,100円	バス車内へのポスター掲出、窓口・車内ラックへのチラシ設置
計	7,566,900円	5件
メディアパートナー		
ヤマト運輸(株)城東主管支店	302,280円	直営店へのポスター掲示・車両へのステッカー貼付
三菱地所プロパティマネジメント(株)	220,000円	「MARK IS 葛飾かなまち」でのポスターの掲出、ホームページ掲載
(株)グリーン情報	110,000円	「グリーン情報」(情報誌)への広告掲載
(株)ジェイコム千葉	110,000円	J:COMチャンネル内のニュース番組に静止画にて告知
(株)パークフル	110,000円	イベント情報の掲載、フェア開催前や開催中に取材記事の公開、SNS等で情報発信
計	852,280円	5件
広告協賛計	25,721,080円	11件
協賛総計	48,780,707円	63件
(4) その他(寄附・助成金)		
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	2,000,000円	全国みどりと花のフェアかつしかの資金として、「夢と誇りあるふるさと葛飾基金」に寄附をいただき、「ゴールドランク」の協賛特典を提供している。
特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金	2,000,000円	京都府内(京都亀岡市)との連携による助成金

2 ノベルティ・公式グッズ製作・配布結果

(1) ノベルティの製作・配布

本フェアの周知啓発、来場促進及び各種参加促進を目的として、アンケート回答者、フォトコンテスト参加者、軒先園芸コンクール投票者、集客イベント参加者等に対し、各種ノベルティを配布した。

また、デジタルスタンプラリーの景品として、フェアのPRにつながる葛飾区ゆかりのキャラクターを使用したオリジナルグッズや環境に配慮した物品を活用した。

特に、クリアファイルには再生率 40%以上の再生 PP（グリーン購入法適合素材）を使用し、付箋には再生クラフト素材を使用したほか、アップサイクルコースターには衣類をリサイクルして作られた素材を使用するなど、環境配慮型のノベルティを製作した。

■ ノベルティ製作・配布実績

品名	製作数	使用数
ニンジンの種、コスモスの種	4,000	1,564
公式ロゴマークステッカー	3,000	2,547
クリアファイル	1,200	1,110
付箋	1,000	1,000
飲み物（りんごジュース、ぶどうジュース）	2,016	2,016
飲み物（お茶）	2,016	2,016
アップサイクルコースター	1,000	1,000

ニンジンの種・コスモスの種	ステッカー	クリアファイル
		
付箋	アップサイクルコースター	
		

■ スタンプラリー景品の製作・配布実績

品名	製作数	使用数
ECO ポット（4種：なでしこ・アスター・ヘリクリサム・カモミール）	2,000	257
エコバッグ（3色：ネイビー・オリーブ・ベージュ）	2,000	495
モンチッチステッカー	2,000	969
寅チッチステッカー	2,000	1,247
寅さんステッカー	500	383
アニメ「新こちら葛飾区亀有公園前派出所」ステッカー	2,000	936
モンチッチ缶バッジ	1,100	397
寅チッチ缶バッジ	1,100	397

※ステッカー及び缶バッジは、集客イベント参加者やボランティアへの配布分を含む。

ECO ポット	エコバッグ	缶バッジ（各種）
		
ステッカー（各種）		
		
©Sekiguchi	©松竹 ©Sekiguchi	©松竹
		
©秋本治・アトリエピーだま／集英社・ADK		

■ その他

葛飾区郷土と天文の博物館に来館した18歳以下を対象として、葛飾区郷土と天文の博物館のキャラクター「ギョギョシくん」とのコラボノートを500個製作し配布した。

また、フェア公式ロゴマークを使用したピンバッジを400個製作し、オープニングイベント参加者に配布した。

さらに、葛飾菖蒲まつりと連携し、ロゴマークを使用したハンドタオルを製作するとともに、堀切菖蒲園において販売した。

在庫については、今後、「日比谷公園ガーデニングショー」や「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」への出展時に活用するほか、「かつしか環境・緑化フェア」をはじめとする環境部主催事業において有効活用していく。

(2) 公式グッズの製作・販売

本フェアの開催を記念し、フェアの魅力発信及びPRを目的として、公式グッズを製作・販売した。

デザインには本フェアの公式ロゴマークに加え、葛飾区ゆかりのキャラクターであるモンチッチを採用し、本フェアオリジナルグッズとして展開した。

さらに、開催期間終盤における販売促進を図るため、最終週の6月13日（土）・14日（日）には、公式グッズの販売価格の見直し及びセット販売を実施した。

■ 公式グッズ製作数及び販売価格

品名		製作数	販売価格 5/16～6/12	販売価格 6/13・6/14	販売個数
レジャーシート		300	1,800 円	1,100 円	142
コットントートバッグ		800	1,500 円	1,100 円	537
アクリルキーホルダー		800	900 円	600 円	385
クリアボトル	黒	475	1,200 円	800 円	177
	青	345	1,200 円	800 円	263
	ピンク	470	1,200 円	800 円	248
クッキー	1 枚	600	300 円	200 円	553
	5 枚セット		1,200 円	800 円	
ハンドタオル		800	1,500 円	800 円	256

セット販売 ※6月13日（土）・14（日）のみ

セット名		販売価格 5/16～6/12	販売価格 6/13・6/14
①	お出かけセット (レジャーシート・クリアボトル・ハンドタオル)	4,500 円	2,000 円
②	おみやげセット (アクリルキーホルダー・クッキー2枚・ハンドタオル)	3,000 円	1,800 円
③	タオル3枚セット (ハンドタオル3枚)	4,500 円	2,000 円
④	クリアボトル3本セット (クリアボトル3本※各色1つずつ)	3,600 円	2,000 円

レジャーシート	コットントートバッグ	アクリルキーホルダー
 ©Sekiguchi	 ©Sekiguchi	 ©Sekiguchi
クリアボトル	クッキー	ハンドタオル
 ©Sekiguchi	 ©Sekiguchi	 ©Sekiguchi

■ 会場別販売結果

会場	売上金額	販売期間	備考
葛飾にいじゅくみらい公園	1,242,200 円	5/16～6/14	奥戸ローズガーデン出張販売分含む
新小岩駅周辺	711,000 円	5/16～5/31	
曳舟川親水公園広場ゾーン	431,500 円	5/16～6/14	
【合計】	2,384,700 円		

■ その他

在庫については、「日比谷公園ガーデニングショー」や「全国都市緑化フェア in 京都丹波」などの関連イベントで販売する予定。今回のフェアに来場できなかった方にも購入の機会を提供するとともに、より多くの方に手に取っていただけるよう有効活用していく。

3 デジタルスタンプラリー・シャトルバス及びシェアサイクル実施結果

(1) デジタルスタンプラリー

フェア期間中、会場内、花装飾、まちなか花いっぱいプレイスや花いっぱいのまちづくり活動団体の花壇などをスポットとして設定し、区内を周遊させる目的でスタンプラリーを実施した。

■ 実績

区分	参加者総数	期間	スポット数
フェアデジタルスタンプラリー	1,679 人	30 日間	51 か所
(参考) 他自治体スタンプラリーA	約 1,300 人	5 か月	100 か所
(参考) 他自治体スタンプラリーB	約 240 人	約 1 か月	47 か所

- ・特典利用率 92.2% (累計獲得数 1,428 件)
- ・その他の項目については 12 ページ以降のとおり

(2) シャトルバス

フェア期間中、会場間をつなぐ無料シャトルバスを運行した。利用が多かった大きな要因として、葛飾菖蒲まつり会場である堀切菖蒲園や都立水元公園での乗降が特に多かったことがあげられる。

例年有料で運行していた菖蒲めぐりバスを無料化するとともに運行間隔を 30 分に 1 本から 15 分に 1 本に増便した。その結果、昨年度の菖蒲めぐりバス乗車数と比べて 13,099 人増加し、来場者の移動利便性向上に寄与した。



シャトルバスの様子

(ア) 新小岩ルート (往復型)

期 間：5 月 16 日～5 月 31 日の土日のみ

停 留 所：新宿六丁目南（葛飾にいじゅくみらい公園）⇄奥戸ローズガーデン⇄
新小岩駅東北広場

合計乗車数：3,386 人

(イ) お花茶屋・菖蒲まつりルート (循環型)

期 間：5 月 30 日～6 月 14 日の土日のみ

停 留 所：金町駅南口→柴又帝釈天→亀有駅南口→お花茶屋駅（曳舟川親水公園広場ゾーン）→堀切菖蒲園→新宿六丁目南（葛飾にいじゅくみらい公園）→し
ばられ地蔵（都立水元公園）→金町駅南口

合計乗車数：16,555 人（参考：令和 7 年度菖蒲めぐりバス乗車数 3,456 人）

(3) シェアサイクル

フェア期間中、来場者等の移動利便性の向上を図るため、メイン会場及びサテライト会場付近に臨時のシェアサイクルポートを設置した。

期 間：5月16日～6月14日

設置場所及びラック数：葛飾にいじゅくみらい公園前 27 ラック

新小岩駅東北広場 20 ラック

曳舟川親水公園広場ゾーン前 16 ラック

利用回数：2,815 回

利用者数：1,642 人

行動範囲：板橋区から会場に来場する方や、会場から区外方面（埼玉県三郷市等）へ移動する方も見受けられた。

シェアサイクルポートの様子



〈葛飾にいじゅくみらい公園〉

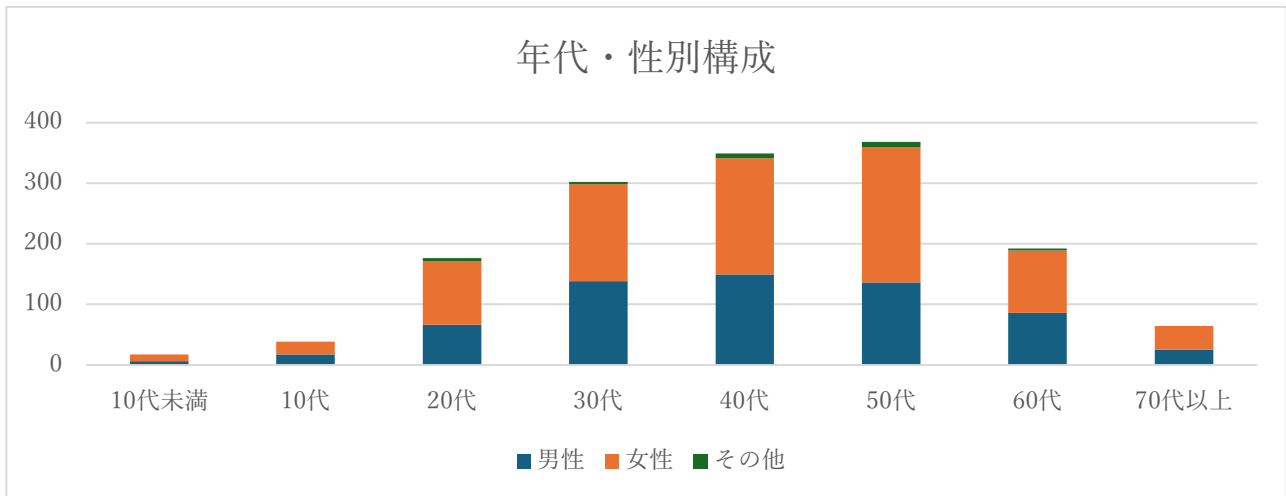


〈曳舟川親水公園広場ゾーン〉

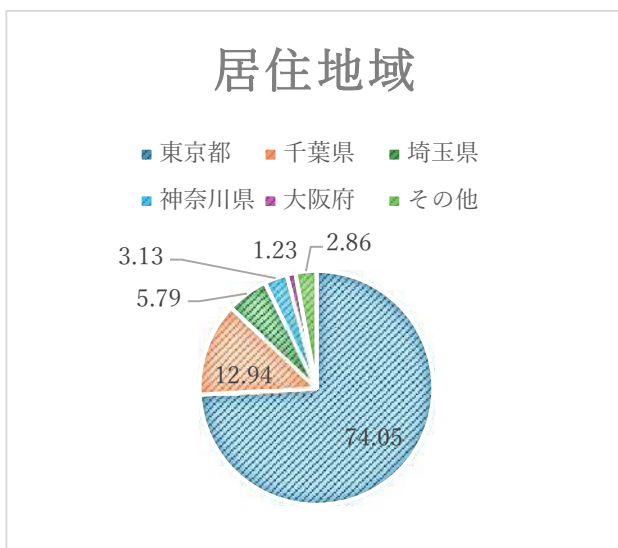
4 デジタルスタンプラリーレポート

(1) 参加者属性

総参加者数：1,679 人



40～50 代がピークゾーン。全体的に女性の割合が多いことが分かる。



居住地域については過半数が東京都であった。また、全体の 9 割が関東圏であった。

(2) 特典

特典及び利用数は以下のとおりである。

種類	内容	利用数
S 賞…お花、みどりスタンプそれぞれ 10 個	商品券・旅行券	応募 316 名
A 賞…お花、みどりスタンプそれぞれ 8 個	キャラクターグッズ	応募 393 名
B 賞…お花、みどりスタンプそれぞれ 5 個	ノベルティ等	680 名

※お花スタンプ：お花のスポットで取得するスタンプ

みどりスタンプ：みどりのスポットで取得するスタンプ

S 賞・A 賞は抽選のため応募数を表示

(3) スタンプ取得数

累計スタンプ取得数は 17,892 個であった。また、各会場などの結果は以下のとおりである。

(ア) にいじゅくみらい公園（メイン会場）

スポット数：7 個

平均スタンプ取得数：625 個

スタンプ最多取得スポット：にいじゅくみらい公園 総合案内所 902 個

(イ) サテライト会場（曳舟川親水公園広場ゾーン・新小岩駅周辺）

スポット数：7 個

平均スタンプ取得数：473 個

スタンプ最多取得スポット：曳舟川親水公園広場ゾーン ふれあい花壇 594 個

(ウ) 連携会場（都立水元公園・堀切菖蒲園）

都立水元公園：275 個

堀切菖蒲園：325 個

(エ) まちなか花いっぱいプレイス他

スポット数：35 個

平均スタンプ取得数：274 個

スタンプ最多取得スポット：両津勘吉祭り姿像 519 個

(4) アンケート結果

S 賞、A 賞に応募する際にアンケートを取った。結果はそれぞれ以下のとおりである。

(ア) S 賞アンケート

- ・スタンプラリーの満足度について

満足：71%

やや満足：26.6%

やや不満：1.8%

不満：0.6%

-
- ・景品のラインナップにおける満足度について

満足：68.4%

やや満足：25.9%

やや不満：5.1%

不満：0.6%

(イ) A 賞アンケート

- ・スタンプラリーの満足度について

満足：69%

やや満足：28%

やや不満：3%

不満：0.6%

- ・景品のラインナップにおける満足度について

満足：63%

やや満足：31%

やや不満：5.8%

不満：0.2%

(ウ) ご意見、ご感想

- ・花に癒やされました。知らなかった葛飾の魅力もおしえてもらえました。
- ・フェアに参加して、とても楽しい時間を過ごすことができました。毎週、子どもと一緒に参加する楽しみができ、親子の良い思い出になりました。また、花や自然と触れ合う中で、今まで知らなかったことを知ることができ、子どもの知育にもつながったと感じています。会場を回ることによって自然と体を動かす機会も増え、親子で健康的に楽しむことができました。さらに、開催場所ごとに雰囲気が異なり、それぞれに魅力があって毎回新鮮な気持ちで参加できたのも良かったです。これからもこのようなイベントが開催されることを楽しみにしています。
- ・アプリが使いやすかったため、参加しやすかったです。
- ・スタンプの取得時間の制限を9時～19時くらいにするなど、もう少し緩和していただけると1日を有効に使えるので、次回以降検討してください。
- ・常磐中学校と東金町中学校の花壇が綺麗でした。
- ・いくつかスタンプは取得できたが、ポイントとなっている花壇がどこにあるのかわかりづらかったのが残念だった。
- ・日時指定があるものはもっと分かりやすく表示して欲しかった。
- ・周遊バスは良かったが、バスが行かないラリーポイントが多くまわりにくい。

5 行催事・集客イベント実施結果

(1) 開会式

令和8年5月16日（土）、葛飾にいじゅくみらい公園（メイン会場）特設ステージにおいて、全国みどりと花のフェアかつしかの開会式を挙行了。来賓・関係者多数の出席のもと、主催者挨拶、来賓祝辞、公式アンバサダー齋藤飛鳥氏の登壇、テープカット等を行い、フェア開幕を宣言した。また、オープニングイベントでは、共栄学園高等学校及び東京都立農産高等学校による花いけパフォーマンスを実施し、（一社）花いけジャパンプロジェクト代表理事の日向雄一郎氏による実況解説のもと、フェア開幕にふさわしい演出を行った。



©Sekiguchi



©Sekiguchi ©松竹



■ 主な実施内容

- ・公式アンバサダー齋藤飛鳥氏が登壇
- ・テープカット・フォトセッション
- ・地元高校生による花いけパフォーマンスを実施し、若い世代による花とみどりの魅力を発信した。

(2) 主催者ステージイベント

フェア期間中、メイン会場である葛飾にいじゅくみらい公園の特設ステージをはじめ、モンチッチエリア（新小岩駅前広場）及びこち亀エリア（曳舟川親水公園広場ゾーン）において、著名人によるトークショー・実演イベント・お笑いライブ・公募ステージ等、多彩なステージイベントを実施した。公募出演者はメインエリア 27 団体、モンチッチエリア 19 団体、こち亀エリア 10 団体の計 56 団体となった。

(ア) メインエリア（葛飾にいじゅくみらい公園）

ステージイベントを計7日間実施し、このうち6日間については主催者イベントを実施した。著名人によるトークショーや実演イベント、お笑いライブを開催したほか、公募出演者によるステージを展開した。

項目	実績
ステージイベント実施日数	7日間（5/16・17・30・31、6/7・13・14）
└主催者ステージイベント	6日間（6/7以外）
└地域連携イベント	花・楽・Café（1日〔6/7〕）
公募出演団体	27団体



■ 主な実施内容

実施日	内容
5/17（日）	三上真史氏によるトークショー・本フェアPR動画を制作いただき、同氏のYouTubeチャンネルにて公開
5/30（土）	大友花恋氏によるトークショー、ゼロングショー
5/31（日）	藤原雅志氏によるトークショー、内倉真裕美氏によるトークショー
6/13（土）	森日菜美氏によるトークショー
6/14（日）	team solo 近江淳氏によるトークショー、しずる・ぼよんぼよんによるお笑いライブ、花壇コンクール及び軒先園芸コンクール表彰式

■ 主な実績

- ・園芸分野の専門家や著名人を活用したステージを実施した。
- ・実演を取り入れたステージ構成により来場促進を図った。
- ・公募出演者27団体による音楽、ダンス、演奏等のステージを実施した。

(イ) モンチッチエリア（新小岩駅前広場）

新小岩駅南口駅前広場に特設ステージを設置し、お笑いライブや園芸トークショーを開催した。また、地域団体との連携により、同エリア内で連携イベントを実施した。

項目	実績
主催者ステージイベント	4日間（5/16・17・23・24）
地域連携イベント	新小岩こどもフェスタ 2026
公募出演団体	19 団体



©Sekiguchi



■ 主な実施内容

実施日	内容
5/16（土）	バンビーノによるお笑いライブ
5/17（日）	ゆるふわ園芸やっちゃんねるによるトークショー
5/23（土）	マテンロウ・キャベツ確認中によるお笑いライブ
5/24（日）	Cozy Garden ともよの庭しごとによるトークショー
5/30（土）	ストリートライブ
5/31（日）	ストリートライブ

■ 主な実績

- ・バンビーノとモンチッチによるコラボ動画が Instagram リールで 22.3 万回再生を記録した。
- ・新小岩こどもフェスタ 2026 との連携により地域の賑わい創出を図った。
- ・モンチッチ銅像前においてストリートライブを実施した。
また、30 日、31 日には、南口ステージにおいても、ストリートライブを実施した。
- ・公募出演者 19 団体によるバンド演奏、ダンス、歌唱等のステージを実施した。

（ウ）こち亀エリア（曳舟川親水公園広場ゾーン）

既存ステージを活用し、行政連携イベントや主催者ステージイベントを実施した。お笑いライブや園芸トークショー等を開催したほか、公募出演者によるステージを展開した。

項目	実績
主催者ステージイベント	2 日間（6/6・7）
行政連携（葛飾区生涯スポーツ課）	かつしかシティロゲイニング（5/30）
公募出演団体	10 団体



■ 主な実績内容

実施日	内容
6/6（土）	やまかなふぁーむによるトークショー
6/7（日）	スカチャンによるお笑いライブ

■ 主な実績

- ・公募出演者 10 団体による演奏、ダンス、ゴスペル、居合道演武等の多様なプログラムを実施した。
- ・葛飾区生涯スポーツ課との連携によりかつしかシティロゲイニングを開催し、チャレンジ RUN 部門 38 チーム 74 人、ファミリー RUN 部門 11 チーム 37 人、合計 49 チーム 111 人が参加した。天候にも恵まれ、参加者からも好評を得るなど、スポーツとまち歩きを通じた地域の魅力発信及び回遊促進につながった。

（3）集客イベント実績

フェア期間中、各会場において体験型コンテンツを中心とした集客イベントを実施し、幅広い世代に向けた交流機会を提供した。台風及び雷雨時には安全を最優先とした運営を行い、事故なく事業を実施した。

（ア）メインエリア（葛飾にいじゅくみらい公園）

パターゴルフ、ストラックアウト、トンネルシュート等を実施したほか、多目的広場ではバブルサッカーを開催した。併せて、協賛企業である明治安田生命保険相互会社の協力により、Jリーグ OB 選手によるサッカー教室を実施した。



実施期間	コンテンツ	実績
5/26（火）～29（金）	木と触れ合う遊び	モルック 253 名、コーンホール 218 名
5/30（土）・31（日）	ミニスカイライナー	212 回運行、1,028 名乗車
6/1（月）・5（金）	スポーツコンテンツ	194 名参加
6/6（土）	バブルサッカー	142 名参加
6/6（土）午後	スポーツコンテンツ	302 名
6/7（日）～14（日）	ふわふわ遊具	4,953 名利用

■ 協賛企業連携

実施日	内容	実績
6/6（土）10:00～12:00	明治安田生命協力 JリーグOB選手（福西 崇史 他3名）によるサッカー教室	58 名参加（定員:80 名）

■ 主な実績

- ・ミニスカイライナーは親子連れを中心に人気を集めた。
- ・バブルサッカーには 142 名が参加し、多目的広場を活用した体験型コンテンツとして好評を得た。
- ・明治安田生命保険相互会社の協力により、JリーグOB選手によるサッカー教室を開催し、58 名が参加した。
- ・子どもを中心にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、来場者の滞在時間延長につながった。
- ・ふわふわ遊具は期間中 4,953 名が利用し、フェア期間中最大規模の集客コンテンツとなった。

（イ）モンチッチエリア（新小岩駅前広場）

モンチッチとのふれあいイベントや写真撮影会を通じ、来場者の記念となるコンテンツを実施したほか、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の協力により、環境パフォーマーらんま先生による「ecoサイエンスショー」を開催し、環境問題や科学への関心を高める機会を提供した。



©Sekiguchi



■ 協賛企業連携

実施日	内容	実績
5/23（土）13:30～15:00	あいおいニッセイ同和損保協力 らんま先生のecoサイエンス ショー	51名参加 (定員:50名程度)

■ 主な実績

- ・モンチッチとの写真撮影会を実施し、多くの来場者に親しまれるコンテンツとして販
わい創出を図った。
- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の協力により、環境パフォーマーらんま先生
による「eco サイエンスショー」を開催し、環境問題や科学への関心を高める機会を
提供した。
- ・新小岩こどもフェスタ 2026 との連携による相乗効果を創出した。

(ウ) こち亀エリア（曳舟川親水公園広場ゾーン）

コーンホールや輪投げ、アスレチックコンテンツ、リラックスコンテンツ（Yogibo）、
こち亀記念館移動派出所による漫画『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の閲覧や昔遊び体
験など、幅広い年齢層が楽しめるコンテンツを展開した。



©秋本治・アトリエビーだま／集英社

■ 実施実績

実施日	コンテンツ	実績
6/6（土）・7（日） 13（土）・14（日）	コーンホール	1,395名参加
	リラックスコンテンツ（Yogibo）	10個設置
6/6（土）・7（日）	こち亀記念館移動派出所	漫画閲覧・昔遊び体験
6/13（土）・14（日）	輪投げ	693名参加
5/30（土）～6/14（日） ※6/2・3・4を除く	アスレチックコンテンツ （ブランコ、ジャングルジム&すべ り台、シーソー、飛び石、トランポ リン）	設置

■ 主な実績

- ・コーンホールには延べ1,395名、輪投げには693名が参加し、幅広い世代が気軽に楽
しめる体験機会を提供した。
- ・アスレチックコンテンツやYogiboを活用したリラックスコンテンツを設置し、親子
をはじめとする来場者の滞在促進と販わいの創出を図った。

(エ) 奥戸ローズガーデン

奥戸ローズガーデンにおいて、来場者を対象としたお菓子の詰め合わせの配布を実施した。ローズガーデンの魅力発信と併せて来場促進を図り、多くの来園者で賑わった。

■ 実施実績

実施日	配布人数
5/23 (土)	100 名
5/24 (日)	180 名 (前日の実績により追加)
5/30 (土)	200 名 (前週の実績により追加)
5/31 (日)	200 名 (前週の実績により追加)
合計	680 名

(オ) 連携会場 (都立水元公園)

東京都及び東京都公園協会は、連携会場である都立水元公園において、水元公園のハナショウブの見どころや葛飾区とハナショウブの歴史、東京グリーンビズの取組等を紹介するパネル展示を行ったほか、水元公園の歴史や見どころ、ハナショウブをはじめとする同公園の特色ある植物、小合溜等の豊かな水と緑の魅力等を紹介する「水元公園ガイドツアー」を実施した。6月6日(土)及び7日(日)には、メインプログラムとして、季節の花やリサイクルフラワーを活用した花手水鉢の展示、東京グリーンビズブース及び東京都立農産高等学校ブース等を設置するとともに、子ども向けの花掬い体験等を実施した。



■ 実施実績

実施日	コンテンツ	実績
5/16 (土) ~ 6/14 (日) (荒天時を除く)	パネル展示ブース出展	設置
5/31 (日)	水元公園ガイドツアー	10 名参加 (定員:20 名)
6/14 (日)		7 名参加 (定員:20 名)
6/6 (土) ・ 6/7 (日)	花手水鉢、東京グリーンビズブース、東京都立農産高等学校ブース、水元公園の生き物展示コーナー、キッチンカー	設置
6/6 (土)	子ども向け花掬い体験	142 名参加
6/7 (日)		143 名参加

(4) みどりと花の掘り取りフェア実績

フェア会場を彩った花苗等を来場者へ還元し、フェアのレガシー継承及び資源循環の取組を実施した。フェア会期末及びフェア閉会后に、葛飾にいじゅくみらい公園及び曳舟川親水公園広場ゾーンの2会場において掘り取りフェアを開催し、多くの来場者が参加した。



■ 実施実績

会場	実施期間	参加者数
葛飾にいじゅくみらい公園	6/13～17	1,484 人 ※6/13 はボランティア限定
曳舟川親水公園広場ゾーン	6/13～14	1,152 人
合計	－	2,636 人

■ 主な実績

- ・ 2会場合計で2,636 人が参加した。フェアを彩った花苗を来場者や学校などへ引き渡すことで、処分する花苗を減らすとともに、参加者の環境意識の向上につなげた。また、フェア終了後も花と緑に親しむ機会を提供し、花いっぱいのまちづくりの推進につなげた。

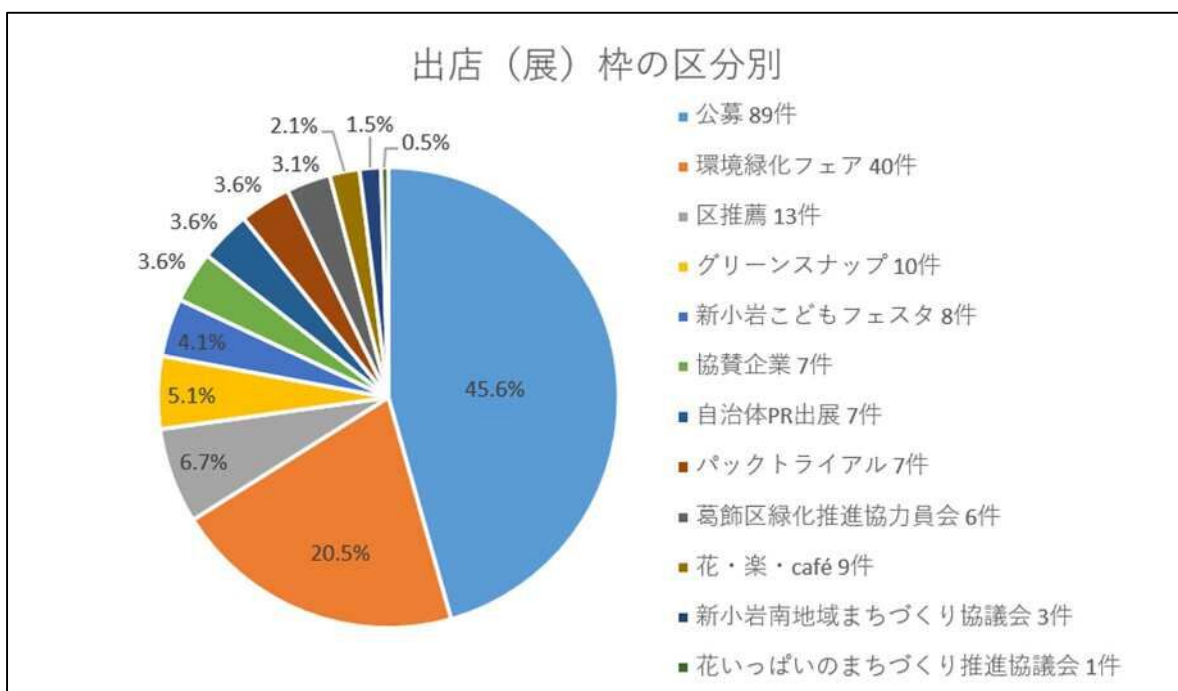
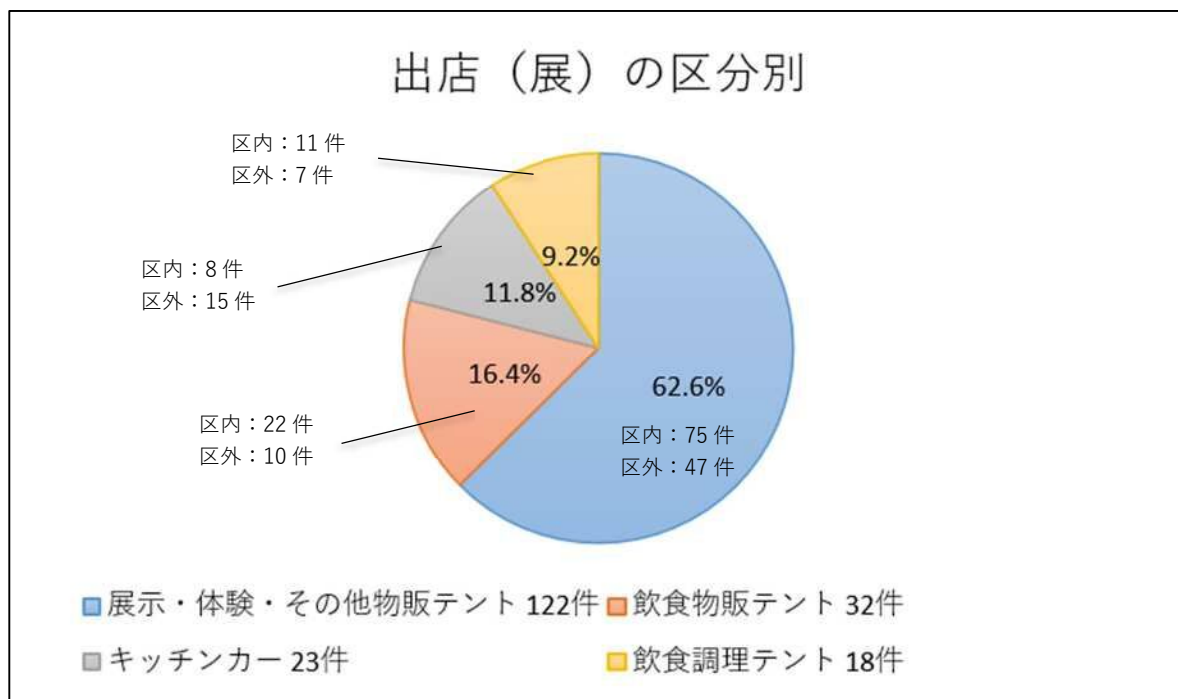
6 出店（展）実施結果

（１）実施概要

項目	実績
出店（展）者数	195 件
└区内事業者	116 件(59.5%)
└区外事業者	79 件(40.5%)
総出店日数	633 日
売上額合計（140 店舗）	21,519,348 円
└区内事業者（74 店舗）	10,881,285 円
└区外事業者（66 店舗）	10,638,063 円
出店料合計（52 店舗）	1,284,889 円

(2) 出店（展）者の構成

区分別では、展示・体験・その他物販テントが最も多く、次いで飲食テント、キッチンカー、物販テントとなった。出店（展）枠別では、公募を中心に、環境緑化フェア、区推薦、協賛企業、自治体PR出展等の多様な枠により構成した。



※花・楽・café と公募の重複があるため、合計は 200 件となっている。

(3) 会場別実績

会場別の出店者数、総出店日数及び売上額合計である。メイン会場の葛飾にいじゅくみらい公園では、1会場当たりの出店枠数がサテライト会場に比べて多かったことにより以下の実績となった。

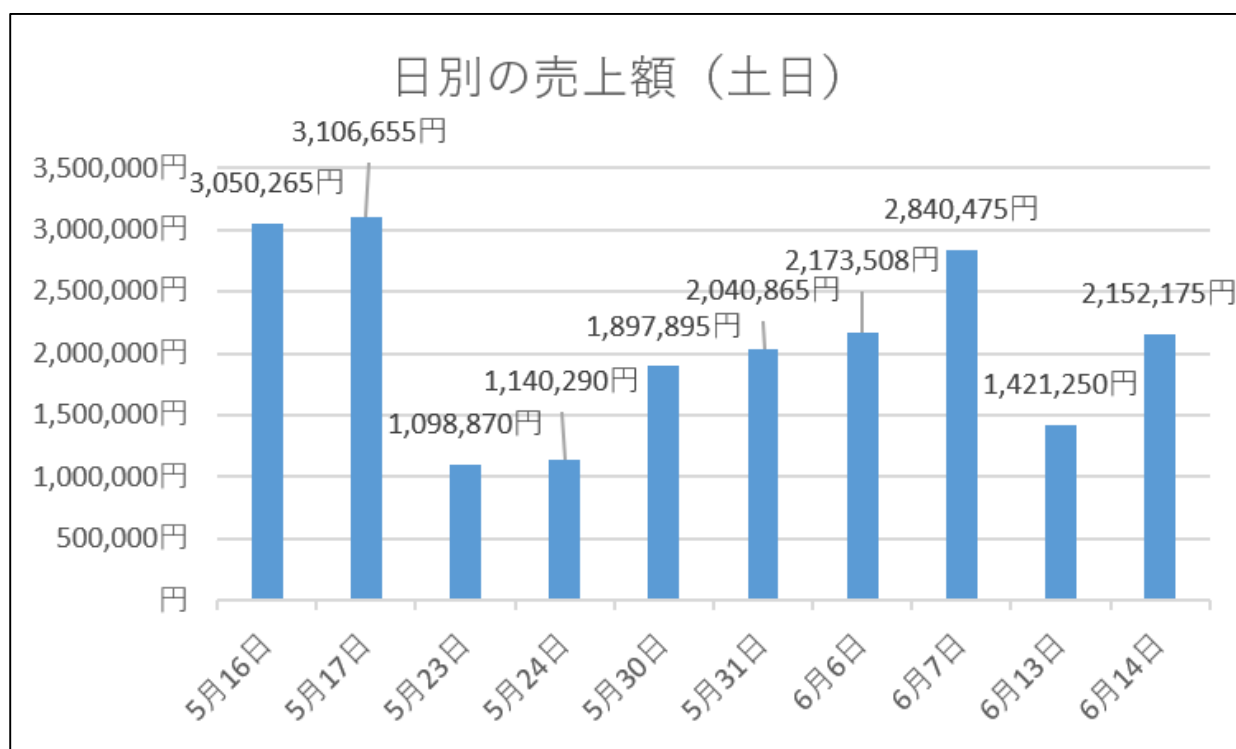
会場	出店者数	総出店日数	売上額合計
葛飾にいじゅくみらい公園	146 件	492 日	12,928,295 円
曳舟川親水公園広場ゾーン	34 件	71 日	4,743,823 円
新小岩駅北口・南口駅前広場 えきにこわ	20 件	70 日	3,847,230 円

※複数会場での出店（展）者がいたため、出店者数の合計は200件となっている。

(4) 売上額実績

日別の売上額（土日）は以下のとおりで、開幕直後や会期終盤を中心に高い実績だった。

また、「全国「みどりの愛護」のつどい」の開催に伴い、5月19日から24日までの期間は、メイン会場の一部が規制されたことから出店枠数が大幅に減少しており、これが売上減少の要因の一つと考えられる。6月13日は他の日に比べ出店が少なく出店料が減少した。



(5) ショーケース展示 実績

5月24日（日）から31日（日）まで東京理科大学葛飾キャンパス図書館3階ホワイエにて、ショーケース展示を開催した。特別協力・協賛企業をはじめ、区内事業者、国や都、葛飾区の各部署等、計31団体が参加し、ミライにつながる最新の取組等を展示した。初日は「全国「みどりの愛護」のつどい」の列席者にも御覧いただくなど、8日間の開催で計1,394人が訪れた。

テーマ	出展者数	出展者
ミライまちづくり	8件	東京理科大学（工学部建築学科、工学部電気工学科）、三菱ガス化学、東京ガス、あいおいニッセイ同和損害保険、NTT東日本、ジーマモビリティ、トライポッドデザイン
「みどりと花」やそれを支える環境の取組	8件	東京理科大学（先進工学部生命システム工学科、創域理工学部生命生物科学科、薬学部薬学科）、地球環境情報フォーラム、久保田絢子、水元ネイチャープロジェクト、国土交通省、東京都建設局公園緑地部
葛飾区の未来に向けた取組	15件	葛飾区（政策企画課、総務課、産業経済課、環境課、リサイクル清掃課、福祉管理課、くらしのまると相談課、児童相談課、かわまちづくり担当課、交通政策課、都市計画課、公園課）、かつしか省エネ再エネ健康住宅普及促進連絡会（葛飾区建築課）、葛飾区地球温暖化対策地域協議会、葛飾区生物多様性推進協議会



7 ボランティア実施結果

(1) 募集・実施概要等

区分	主な活動内容	活動期間・時間	待遇等
運営補助ボランティア	会場案内、来場者対応、PR・チラシ配布等	5月16日～6月14日 (土・日) 9:30～12:00/12:30～15:00	・スタッフウェア支給 ・1回につき、500円相当金券 ・保険加入
植物管理ボランティア	花がら摘み、除草等の植物維持管理	5月16日～6月14日 (主に、火・木・土・日) 9:30～12:00/12:30～15:00	同上

(2) 従事実績

従事者数は合計105名、従事回数は合計417回。
従事実績について、募集時と比較すると、人数比42%、回数比61%である。

項目	募集	申込	従事実績	募集との比較
運営：従事人数	100名	52名	50名	50%
運営：従事回数	330回	324回	227回	69%
植物：従事人数	150名	56名	55名	37%
植物：従事回数	350回	334回	190回	54%
合計：従事人数	250名	108名	105名	42%
合計：従事回数	680回	658回	417回	61%

※申込から従事実績が減少したことについては、天候不良等による中止や申込後取消によるもの

※雨による中止は4日間(20名×4日間=80名)

※ボランティア保険の適用実績はなし。

(3) ボランティアの活動内容

(ア) 運営補助ボランティア

主に会場案内、来場者対応、チラシ配布等によるPRを行った。

※当初予定していた、総合案内やノベルティ配付については、配付物管理・在庫確認等の運営管理上の対応を踏まえ、委託スタッフが担う業務として整理した。



(イ) 植物管理ボランティア

主に花がら摘み、除草等の植物の維持管理を行った。フェア期間中 14 日間の実施を予定していたが、天候不良等により 10 日間の実施となった。



(4) 成果

- ・来場者対応や会場内 PR、植物管理を補完し、フェア運営を支える体制を確保できた。
- ・「かつしか花いっぱいのまちづくり」団体や、区のイベントに協力いただいているボランティア等（※）との連携により、フェア運営を円滑に実施するとともに、今後の地域活動につながるネットワークの強化を図ることができた。

（※）葛飾区スポーツボランティア等の協力による連携体制の強化

- ・ボランティア活動を通じて、多くの区民がフェア運営に参画する機会を創出し、区民協働によるイベント運営の実践につながった。

(5) 課題・対応

課題	今後の対応案
募集人数・従事回数とも当初想定を下回った。	早期周知、活動内容別の魅力発信、団体向け案内の検討
運営補助ボランティアの活動内容について、安全管理や運営管理上の観点から従事範囲が限定的となった。	ボランティアがより主体的に参画できる活動内容を検討・設定する必要がある。

8 花装飾、軒先園芸コンクール、協働推進事業の実施結果

(1) 花装飾実施結果

フェアの開催に向け、各会場等に花装飾を行った。

フェア会場全体の使用花苗品種は延べ 398 品種、93,779 株であった。（補植分除く）

(ア) 葛飾にいじゅくみらい公園（メイン会場）



■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
葛飾にいじゅくみらい公園	ペチュニア、アナベル、ユーフォルビア、ハナショウブ、カキツバタ、アンゲロニアなど 計 183 品種	74,461

(イ) 曳舟川親水公園広場ゾーン(サテライト会場)



■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
曳舟川親水公園広場ゾーン	ペチュニア、ジギタリス、ガウラ、スティパ、アキレア、ネペタ など 計 34 品種	11,435

(ウ) 新小岩駅周辺(サテライト会場)



©Sekiguchi



©Sekiguchi



■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
モンチッチ像 スカイデッキたつみ	インパチェンス、ゼラニウム、ニチニチソウ、ペチュニア など 計 19 品種	712

(エ) 金町駅周辺(フラワースポット)



■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
金町駅周辺	ゼラニウム、ニチニチソウ、ペチュニア、マリーゴールド など 計 39 品種	1,786

(オ) 亀有駅周辺、十三橋交差点、曳舟川親水公園B・Cゾーン(フラワースポット)



©秋本治・アトリエビーだま/集英社



©秋本治・アトリエビーだま/集英社



■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
亀有駅周辺、 十三橋交差点、 曳舟川親水公園B・Cゾーン	アンゲロニア、ジニア、ゼラニウム、ペチュニア、 フォーチュンベゴニア、バーベナ など 計 49 品種	3,111

(カ) 渋谷公園、四つ木つばさ公園、
都立南葛飾高等学校大空翼銅像前(フラワースポット)



©高橋陽一



©高橋陽一



©高橋陽一

■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
渋谷公園、 四つ木つばさ公園、 都立南葛飾高等学校大空翼銅像前	ガウラ、ペチュニア、ステイパ、アガパンサス、アリウム、イベリス、ダリア、ダイアンサスなど 計 70 品種	1,914

(キ) 柴又帝釈天周辺(フラワースポット)



■ 主な実績

会場等	花苗の品種	株数
柴又帝釈天周辺	アジサイ 計4品種	360

(2) 軒先園芸コンクールの開催

フェア期間中、メイン会場にて会場装飾部門の出展作品計 11 作品及び軒先装飾部門の出展作品写真パネル計 14 作品を展示し、5 月 16 日から 5 月 31 日まで来場者を対象としたインターネット投票を実施した。フェア最終日の 6 月 14 日にメイン会場ステージにて表彰式を行った。来場者投票数は 179 票であった。

(ア) 会場装飾部門

受賞者は以下のとおり

受賞項目	受賞団体
自宅の軒先で再現したいで賞	尚志園（茨城県）
創造性あふれる軒先で賞	東京都立農産高等学校 定時制園芸部（葛飾区）
環境にやさしい軒先で賞	アトリエ green note 空垣内真弓（葛飾区）



自宅の軒先で再現したいで賞



創造性あふれる軒先で賞



環境にやさしい軒先で賞

(イ) 軒先装飾部門

受賞者は以下のとおり

受賞項目	受賞団体
自宅の軒先で再現したいで賞	三庭（葛飾区）
創造性あふれる軒先で賞	カフェ aona（葛飾区）
環境にやさしい軒先で賞	魔法使い bibi（葛飾区）



自宅の軒先で再現したいで賞



創造性あふれる軒先で賞



環境にやさしい軒先で賞

(3) 協働推進事業の実績

フェア開催までの機運醸成として、区内学校や地域住民、緑化推進協力員会等との協働で、花壇やフラワーメリーゴーランドの植え付け等を実施した。延べ3,021人、延べ56校・13団体の参加を得て、協働による開催機運の醸成を図ることができた。

(ア) みんなでつくるフラワーメリーゴーランドの森

葛飾にいじゅくみらい公園に50基設置するフラワーメリーゴーランドのデザインと植え付けを行ったもの

参加学校・団体は以下のとおり

参加学校・団体	参加人数	備考
区内計11校 柴原小、花の木小、原田小、水元小、南奥戸小、 青葉中、一之台中、金町中、上平井中、常盤中、 都立農産高	486人	「デザインのみ」 の学校も含む
地域住民等計4団体 シティタワー金町コミュニティクラブ シティテラス金町自治会 プラウドシティ金町自治会 特別養護老人ホームエトワール	110人	「植え付けのみ」 の団体も含む
緑化推進協力員会	60人	



(イ) みんなでつくる植栽花壇

葛飾にいじゅくみらい公園や曳舟川親水公園広場ゾーンなどにおいて、お花の植え付けを行ったもの

実施場所、参加学校・団体は以下のとおり

① 葛飾にいじゅくみらい公園

参加学校・団体	参加人数
区内計3校 北野小、花の木小、金町中	228人
緑化推進協力員会	20人



②曳舟川親水公園広場ゾーン

参加学校・団体	参加人数
区内計2校 白鳥小、大道中	55人
緑化推進協力員会	10人



③亀有駅南口リリオパーク前花壇

参加団体	参加人数
亀有西三自治会	11人



④亀有駅南口ロータリー銅像ベンチ裏花壇

参加団体	参加人数
亀有花風船の会	6人



©秋本治・アトリエビーだま／集英社

⑤金町駅北口駅前広場花壇

参加団体	参加人数
金町みらい協議会	8人



(ウ) みんなでつくるたねダンゴ®

葛飾にいじゅくみらい公園のサカセみらいトンネル横に植栽するたねダンゴ®の作成及び植え付けを行ったもの

参加学校・団体、人数は以下のとおり

参加学校	参加人数
区内計 2 校 柴原小、常盤中	130 人



①-1:柴原小作成時



①-2:柴原小植え付け時



②-1:常盤中作成時



②-2:常盤中植え付け時

(エ) みんなでつくる「サカセ みらい」メッセージ短冊

風鈴の短冊部分に、自身の将来の夢や希望、目標など、未来のメッセージを記入し、設置するもの

設置場所、参加学校数・枚数は以下のとおり

①葛飾にいじゅくみらい公園（サカセみらいトンネル・休憩用テント）

参加学校	参加人数/枚数
区内計 12 校 青戸小、飯塚小、梅田小、金町小、北野小、柴原小、清和小、 中之台小、新宿小、水元小、金町中、常盤中	939 人/枚
教育支援施設 ふれあいスクール明石	27 人/枚

②新小岩駅構内

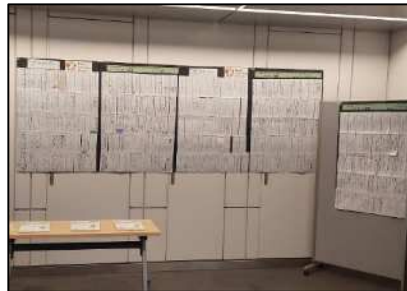
参加学校	参加人数/枚数
区内計 5 校 奥戸小、上小松小、南奥戸小、上平井中、小松中	253 人/枚



①-1:サカセみらいトンネル



①-2:休憩用テント



②新小岩駅構内

(オ) みんなでつくる「サカセ みらい」メッセージアート

専用用紙に「サカセ みらい」をテーマとした絵や未来へのメッセージを記入・描画し、設置するもの

設置場所、参加学校数・枚数は以下のとおり

①理科大通り仮囲い

参加学校	参加人数/枚数
区内計 13 校 青戸小、梅田小、金町小、川端小、柴原小、中之台小、原田小、水元小、道上小、一之台中、金町中、大道中、常盤中	533 人/枚

②新小岩駅南北自由通路

参加学校	参加人数/枚数
区内計 5 校 小松南小、二上小、南奥戸小、上平井中、小松中	112 人/枚



①理科大通り仮囲い



②新小岩駅南北自由通路

(カ) その他、仮設物への植え付けなど

花装飾実施場所における仮設物へのお花の植え付けを行った。

実施場所、参加団体・人数は以下のとおり

①金町駅前通り商店会・理科大通り商店会プランター50 基植え付け

参加団体	参加人数
緑化推進協力員会	6 人



②スカイデッキたつみプランター10 基植え付け

参加学校・団体	参加人数
東京聖栄大学	10 人
緑化推進協力員会	7 人



③都立南葛飾高校前フラワーキャンバス植え付け

参加学校	参加人数
都立南葛飾高校	4 人



©高橋陽一

④曳舟川親水公園広場ゾーンフラワードレス 2 基植え付け

参加団体	参加人数
都立農産高校	6 人



9 来場者数の算定結果

(1) 来場者数の算定方針

(ア) 基本的な考え方

複数の会場にわたる本フェアの来場者数は、①スマートフォンの位置情報による3会場の来場者数の実測値、②3会場からの回遊状況、③スマートフォン非保有者数の補正值、④連携会場の来場者数（公式発表値）を組み合わせ、「延べ来場者数」として算出する。

(イ) 算定の全体構成

位置情報	位置情報及び比率による推計	推計による補正	主催者による公式発表
①スマートフォンの位置情報による3会場の来場者数（実測値）	②3会場からの回遊状況	③スマートフォン非保有者の補正值 ア ファミリー層 イ 高齢者層 ウ 未就学児	④連携会場の来場者数 ・堀切会場 ・水元会場
実測・純人数	推計・延べ人数	推計値	公式発表値

【最終的な延べ来場者数】＝ ① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④

(2) 来場者数の算定結果

事業者の分析結果、来場者アンケート、来訪者年代分析、総務省の通信利用動向調査及び連携会場の報告値を踏まえると、延べ来場者数は以下のとおりとなる。

区分	算定内容	人数	備考
①	スマートフォンの位置情報による3会場の来場者数（実測値）	209,865 人	
②	3会場からの回遊状況（事業者の併用率分析に基づく）	35,302 人	
③	スマートフォン非保有者の補正（ア ファミリー層＋イ 高齢者層＋ウ 未就学児）	76,323 人	子ども等の未把握分を補正
④	連携会場の来場者数（堀切会場・水元会場）	387,300 人	主催者公式発表
合計	延べ来場者数	708,790 人	

(3) 算定項目別の根拠

(ア) ①スマートフォンの位置情報による3会場の来場者数（実測値）

葛飾にいじゅくみらい公園、曳舟川親水公園広場ゾーン及び新小岩駅周辺について、スマートフォン位置情報により把握した来場者数は次のとおりである。

分析地点	来場者数
葛飾にいじゅくみらい公園	66,309 人
新小岩駅周辺	112,970 人
曳舟川親水公園広場ゾーン	30,586 人
合計	209,865 人

(イ) ②3会場からの回遊状況

事業者の併用率※分析により、3会場の来場者が他の対象スポットへ移動・滞在した状況を把握する。

起点会場	来場者数	併用率合計の平均	回遊分
葛飾にいじゅくみらい公園	66,309 人	27.0%	17,903 人
新小岩駅周辺	112,970 人	3.92%	4,428 人
曳舟川親水公園広場ゾーン	30,586 人	42.41%	12,971 人

※併用率：起点会場の来場者のうち、同日に他の対象スポットにも来訪した人の割合をいう。

(ウ) ③スマートフォン非保有者の補正

スマートフォン位置情報では把握できない層について、「a ファミリー層」、「b 高齢者層」及び「c 未就学児」に分けて補正する。

a ファミリー層

来場者アンケートにおけるファミリー層の割合及び総務省調査における6～12歳のスマートフォン非保有率を用いて推計する。

項目	数値	根拠・考え方
基礎人数	245,167 人	①3会場の来場者数 209,865 人 +②回遊分 35,302 人
ファミリー層割合	29.1%	「家族と来場（20歳未満の子ども含む）」 （来場者アンケート） 935 件／3,215 件
6～12歳 スマホ非保有率	68.4%	6～12歳スマホ保有率 31.6%（総務省調査） 100%－31.6%で算出
a 補正值	約 48,800 人	$245,167 \text{ 人} \times 29.1\% \times 68.4\%$

※同伴人数や子どもの人数を直接把握する設問がないため、ファミリー層割合を用いた推計値として整理する。

b 高齢者層（60代・70代）

事業者の来訪者年代分析から算出した会場別・年代別構成比と、総務省「令和7年通信利用動向調査」の年齢階層別スマートフォン非保有率を用いて推計する。総務省調査におけるスマートフォン保有率は、60～69歳が88.6%、70～79歳が68.1%であるため、非保有率はそれぞれ11.4%、31.9%とした。

会場	来場者数	年代	年代構成比	スマホ保有率	スマホ非保有率	補正值
葛飾にいじゅくみらい公園	66,309人	60代	14.69%	88.6%	11.4%	1,253人
		70代	20.82%	68.1%	31.9%	6,467人
新小岩駅周辺	112,970人	60代	18.02%	88.6%	11.4%	2,619人
		70代	20.19%	68.1%	31.9%	10,684人
曳舟川親水公園 広場ゾーン	30,586人	60代	26.43%	88.6%	11.4%	1,040人
		70代	17.73%	68.1%	31.9%	2,540人
b 補正值	—	—	—	—	—	24,603人

c 未就学児（3歳～5歳）

期間中の平日には、多くの未就学児が葛飾にいじゅくみらい公園に来場していたことから、近隣保育園の園外活動（散歩）による未就学児（3歳～5歳）の来場人数を以下のとおり算出した。

会場	人数 ※1	回数 ※2	c 補正值
葛飾にいじゅくみらい公園	365人	8回	2,920人

※1 葛飾にいじゅくみらい公園を園外活動場所に指定している、または当該公園まで徒歩5分以内の近隣保育園6園の3歳～5歳の定員数の合計

※2 フェア期間中、週に2回の利用があったものとする。

③スマートフォン非保有者補正 合計：a 48,800人 + b 24,603人 + c 2,920人
= 76,323人

(エ) ④連携会場の来場者数

連携会場の来場者数は、主催者から報告のあった 2026 葛飾菖蒲まつりの来園者数を公式発表値として計上する。

会場	来場者数	備考
堀切会場	72,000 人	主催者報告値
水元会場	315,300 人	主催者報告値
合計	387,300 人	連携会場分として計上

(4) 目標値との比較

当初の来場者目標は、フェア本体側 42 万人、連携会場 38 万人を合わせた 80 万人として設定している。目標値と比較すると、以下のとおりである。

区分	目標値	来場者数（実績）	差引
フェア本体側（①＋②＋③）	420,000 人	321,490 人	約▲98,510 人
連携会場（④）	380,000 人	387,300 人	約＋7,300 人
合計	800,000 人	708,790 人	約▲91,210 人
達成率	100.0%	約 88.6%	－

全国みどりと花のフェアかつしか 来場者分析結果サマリ

分析期間：令和8年5月16日～6月14日

分析項目	葛飾にいじゅくみらい公園	新小岩駅周辺	曳舟川親水公園広場ゾーン
来訪者数・滞在者数	・土日の来訪者数が多い ・イベント開始に合わせて来訪者・滞在者が増加 ・来訪者のピークは11時帯	・5月16日～31日は土日の来訪者数が多い ・イベント開始に合わせて来訪者・滞在者が増加 ・来訪者のピークは13時帯	・5月30日～6月14日は土日の来訪者数が多い ・イベント開始に合わせて来訪者・滞在者が増加 ・来訪者のピークは14時帯
性別	・平日は女性がやや多い ・土日は男女がおおむね同程度	・平日・土日とも女性がやや多い	・平日は男性が約6割 ・土日は男女がおおむね同程度
年代	・午前中は30～70代が多い ・午後は10代、30～50代、70代が多い	・午前中は40～70代が多い ・午後は20代、40～70代が多い	・午前中は50～60代が多い ・午後は40～70代が多い
居住地 (都道府県)	・平日は約8割、土日は約9割が東京都内 ・残りは千葉県、埼玉県等の近隣県	・平日・土日とも約8割が東京都内 ・残りは千葉県、神奈川県、埼玉県等の近隣県	・平日は約8割、土日は約9割が東京都内 ・残りは埼玉県、千葉県等の近隣県
居住地 (市区町村)	・平日は約6割、土日は約7割が葛飾区	・平日・土日とも約7割が葛飾区・江戸川区	・平日は約5割、土日は約8割が葛飾区
回遊状況 (併用率)	・都立水元公園、亀有駅周辺との併用率が高い	・亀有駅周辺、葛飾にいじゅくみらい公園との併用率が高い	・亀有駅周辺、堀切菖蒲園との併用率が高い

分析結果のポイント

葛飾にいじゅくみらい公園 中高年層を中心に幅広い年代が来訪し、葛飾区からの来訪が多い。	新小岩駅周辺 中高年層を中心に来訪し、葛飾区・江戸川区からの来訪が多い。	曳舟川親水公園広場ゾーン 中高年層の来訪が多く、葛飾区を中心に埼玉県内からの来訪も確認された。
---	--	---

来場者分析結果の総括

・来場者は40代以上の中高年層を中心であった。 ・来場者の多くは、葛飾区をはじめとする区内及び近隣地域の居住者であった。 ・土日を中心に来場者数が多く、各会場ともイベント開始後に来訪者が増加する傾向が見られた。

※併用率は、起点会場の来訪者のうち、同日に他の対象スポットにも来訪した人の割合をいう。

※本資料は、事業者によるスマートフォン位置情報データの分析結果を基に作成。

10 アンケート調査・分析

(1) 来場者へのアンケート調査結果

(ア) アンケート実施場所

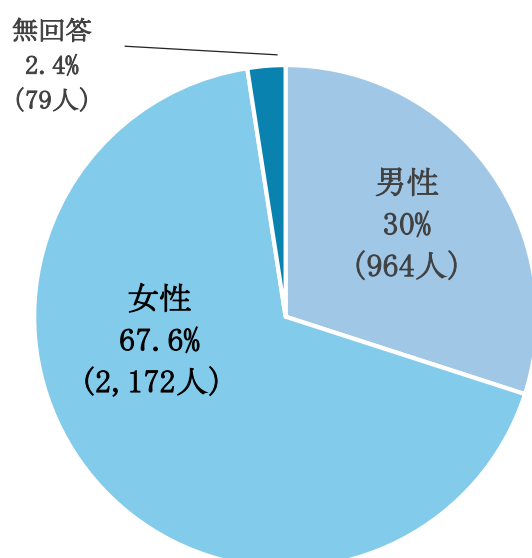
「全国みどりと花のフェアかつしか」(以下「フェア」という。)のメイン会場及びサテライト会場の合計3か所。

(イ) アンケート取得数

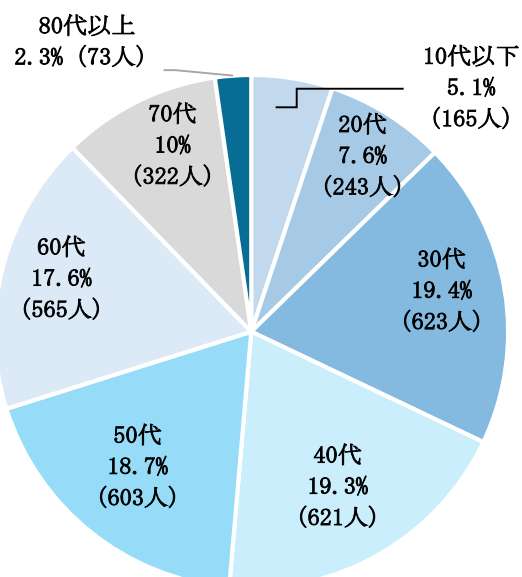
3,215件(フェア全期間、3会場合計)

(ウ) アンケート結果

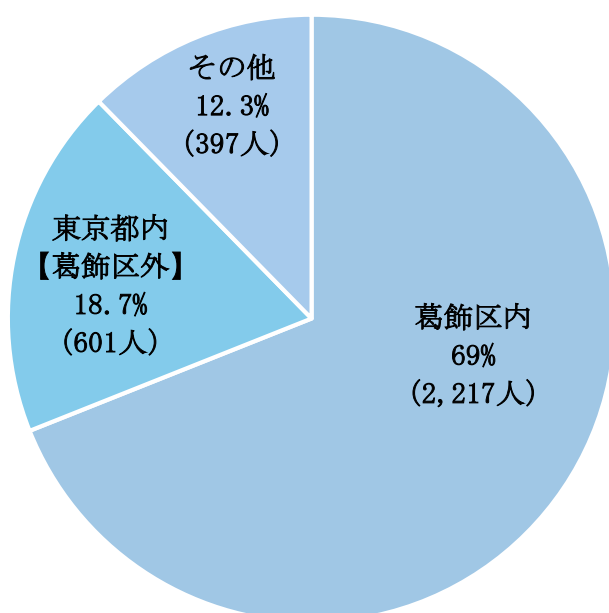
ア 性別



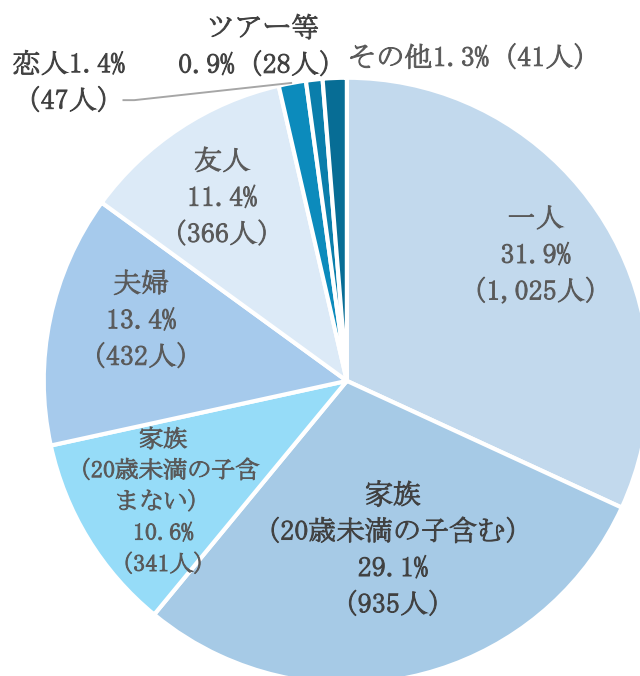
イ 年齢



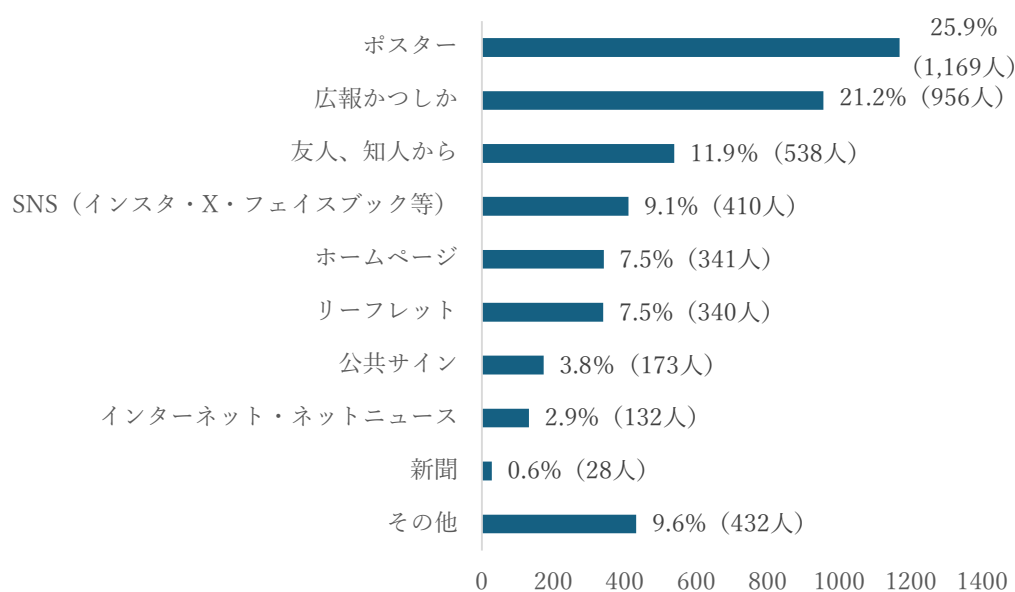
ウ 来場者の居住地



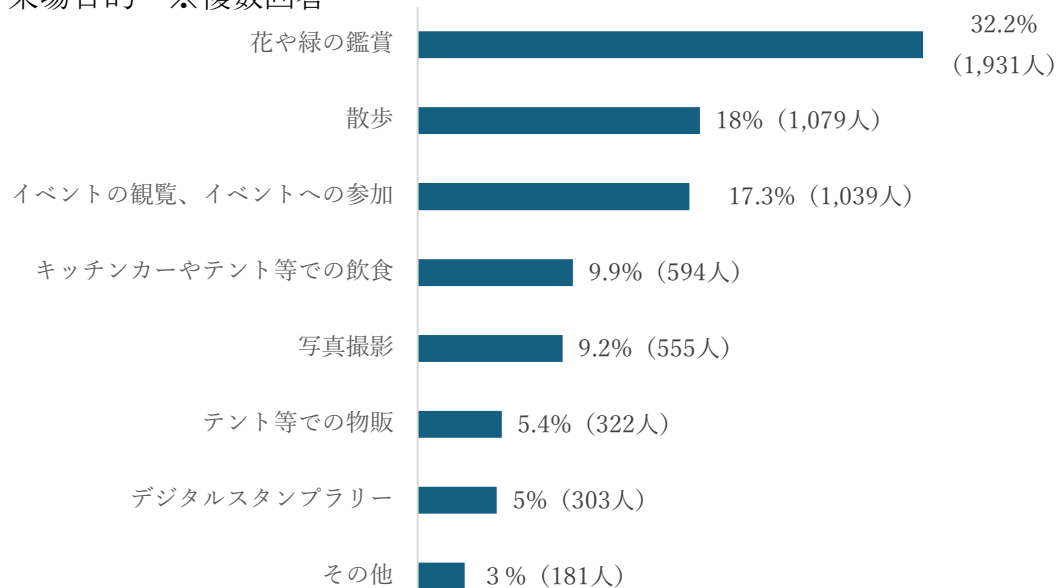
エ 同伴者



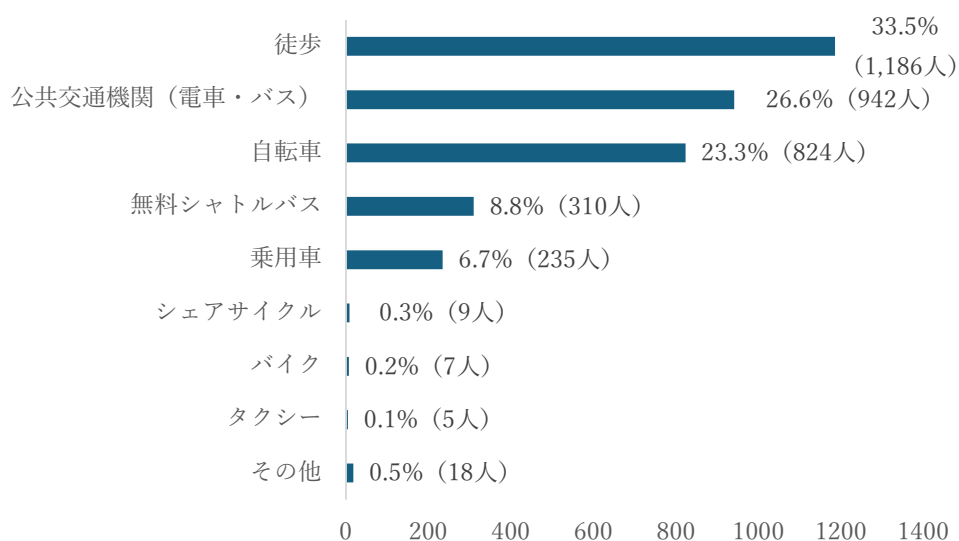
オ フェアを知ったきっかけ ※複数回答可



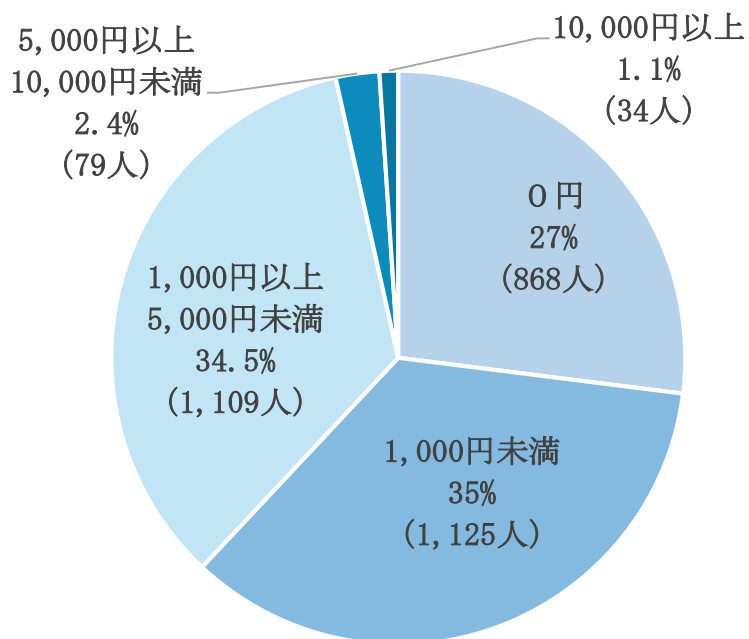
カ 来場目的 ※複数回答



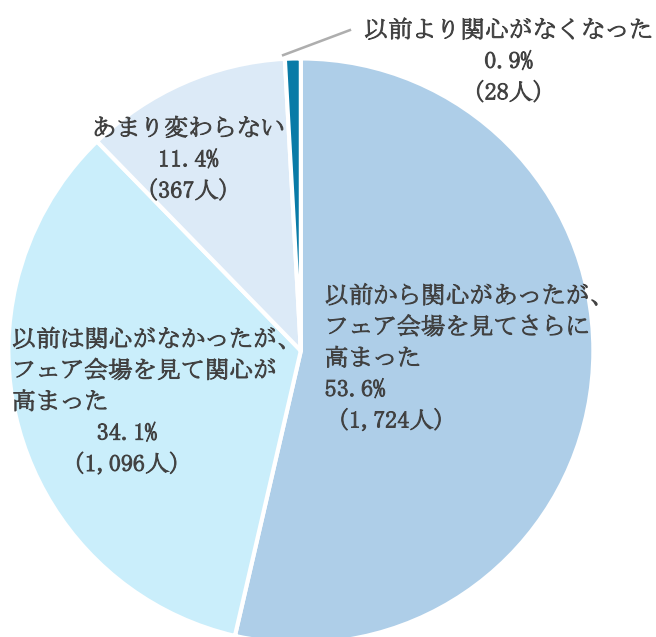
キ 交通手段 ※複数回答可



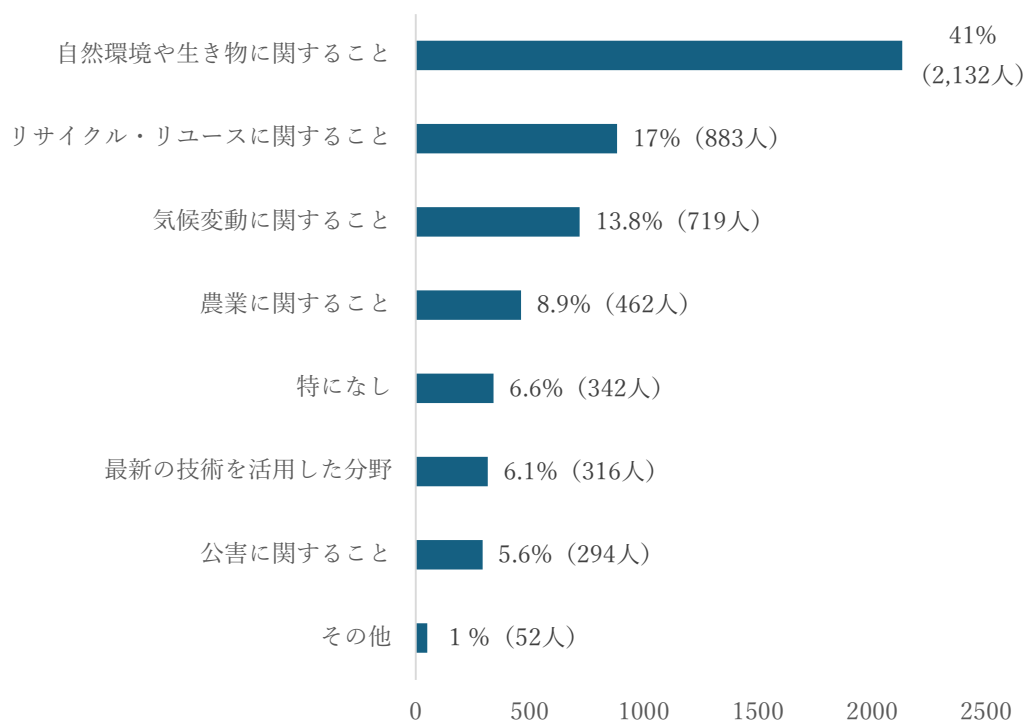
ク フェアでの利用金額（見込み含む）



ケ 「みどりと花」に関する意識

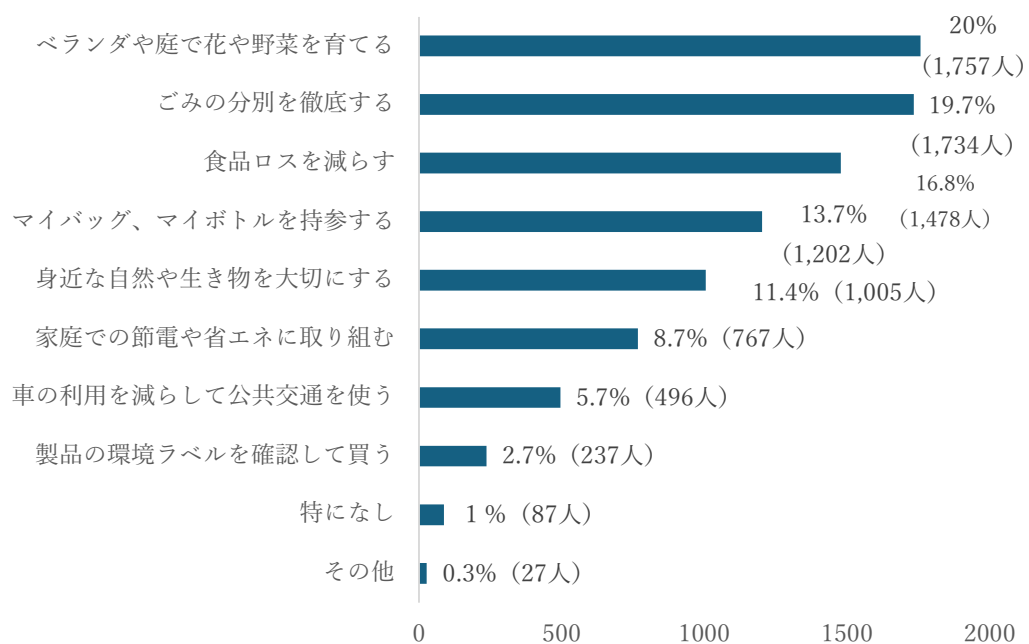


コ 「みどりと花」以外で関心が高まった環境分野 ※複数回答可

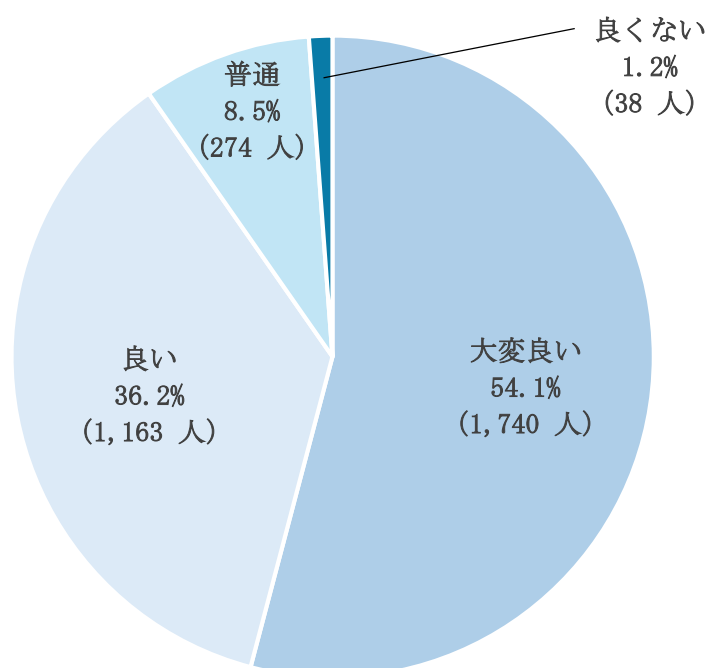


サ 今後、環境のために出来そうなこと

※複数回答可



シ フェア全体の印象



ス 今後の葛飾区に期待すること（自由記載）

- ・花やみどりといった自然を守る活動を続けて欲しい。
- ・緑化を推進するためのイベントや講座を行って欲しい。
- ・「花いっぱいのもちづくり」を継続して行って欲しい。
- ・毎年、今回のフェアのようなイベントを実施して欲しい。

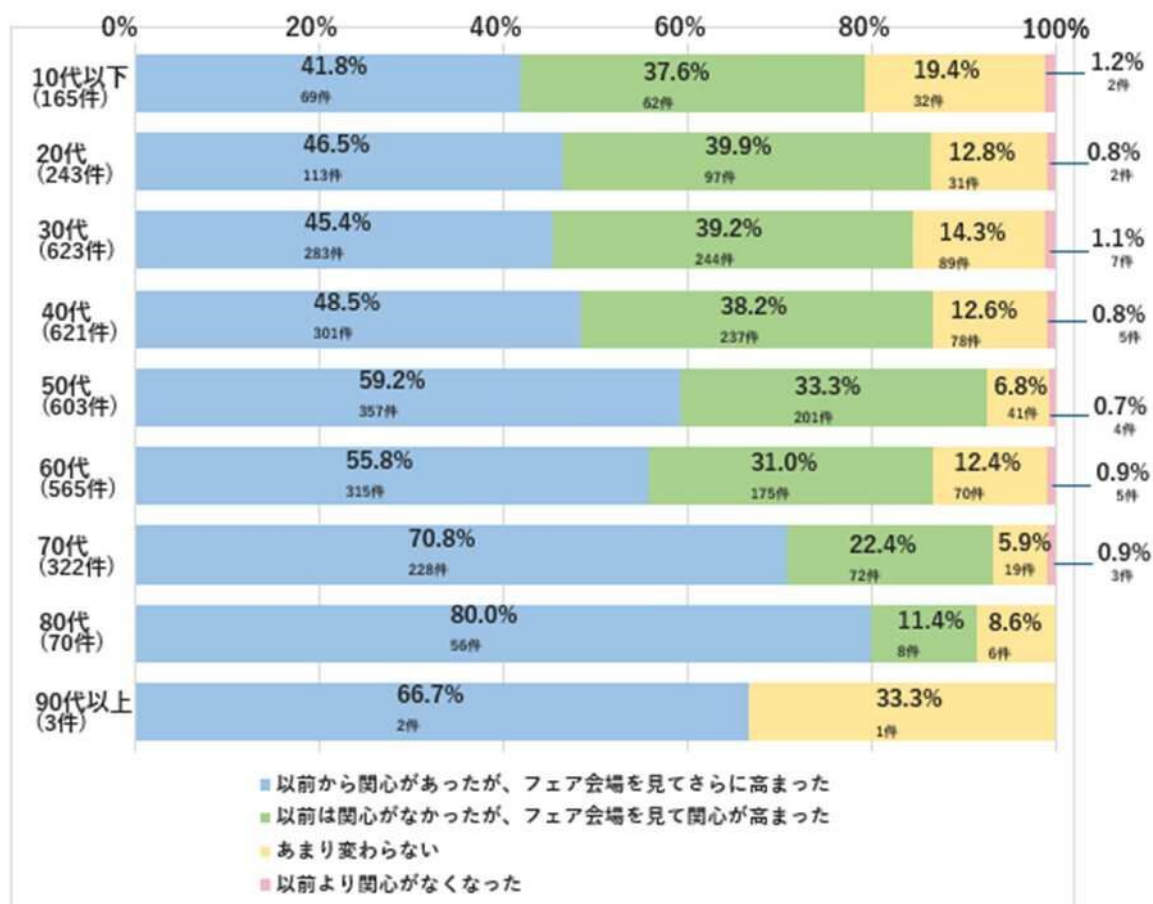
(2) 来場者アンケートの分析結果

クロス集計を実施し、来場者の属性ごとに、分析を行った。

(ア) 来場者分析

・「年代」×「みどりと花への関心」

年代ごとの、みどりと花への関心については、以下のとおり



「みどりと花」への関心は全体として高く、中高年層ではもともと関心を有する来場者が多かった。また、若年層においては、「以前は関心がなかったが、フェア会場を見て関心が高まった」と回答した割合が高いことから、本フェアにおける「みどりと花」に関する情報や取組が幅広い世代の関心の高まりに寄与したことがうかがえる。

・「居住地」×「来場目的」

居住地ごとの、来場目的については、以下のとおり

※「来場目的」は、複数選択可能なため、選択率を表示

	花や緑の鑑賞	イベントの観覧、 イベントへの参加	テント等での物販	写真撮影	散歩	キッチンカーやテ ント等での飲食	デジタルスタンプ ラリー	その他	回答者数 (人)
区内	63%	33%	11%	17%	37%	21%	9%	4%	2,217
区外（都内）	52%	30%	8%	16%	25%	14%	10%	8%	601
都外	57%	30%	7%	19%	28%	13%	9%	9%	397

3,215



いずれの居住地においても「花や緑の鑑賞」を目的とした来場者の割合が高かった。一方で、区内からの来場者は、「散歩」の割合が高いものの、区外及び都外からの来場者については「イベントの観覧・参加」を目的とした来場者の割合が高い。

（イ）広報効果分析

・「年代」×「フェアを知った媒体」

年代ごとの、フェアを知った媒体については、以下のとおり

※「フェアを知った媒体」は、複数選択可能なため、選択率を表示

	ポスター	SNS (インスタ・ X・フェイス ブック等)	広報かつ しか	リーフ レット	ホーム ページ	インター ネット・ ネット ニュース	友人 知人	公共サイ ン	新聞	その他	回答者数 (人)
10代以下	41%	9%	17%	11%	10%	7%	30%	5%	2%	19%	165
20代	30%	20%	15%	9%	8%	3%	21%	6%	0%	16%	243
30代	42%	15%	22%	8%	11%	3%	16%	6%	1%	12%	623
40代	41%	15%	26%	10%	11%	4%	14%	7%	1%	13%	621
50代	35%	16%	34%	12%	12%	6%	13%	5%	1%	14%	603
60代	32%	8%	39%	12%	12%	5%	17%	3%	1%	13%	565
70代	30%	3%	45%	12%	9%	3%	20%	5%	2%	11%	322
80代	30%	6%	31%	13%	6%	1%	20%	9%	3%	11%	70
90代以上	67%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	3

3,215



年代別にみるとポスターによる認知の割合が最も高く、広報媒体として広く周知できたことがうかがえる。また、中高年層では「広報かつしか」、若年層ではSNSによる認知が一定程度見られるなど、年代ごとに情報取得手段の違いが確認された。さらに、全世代で「友人・知人」による口コミが認知経路として機能しており、各種広報媒体に加え、来場者間での情報拡散によって周知が広がったものと考えられる。

・「居住地」×「フェアを知った媒体」

居住地ごとの、フェアを知った媒体については、以下のとおり

※「フェアを知った媒体」は、複数選択可能なため、選択率を表示

	ポスター	SNS (インスタ・ X・フェイス ブック等)	広報かつ しか	リーフ レット	ホーム ページ	インター ネット・ ネット ニュース	友人 知人	公共サイ ン	新聞	その他	回答者数 (人)
区内	43%	11%	41%	12%	11%	4%	12%	6%	1%	10%	2,217
区外(都内)	24%	16%	6%	7%	11%	4%	25%	5%	1%	20%	601
都外	18%	18%	5%	8%	10%	7%	29%	4%	1%	22%	397
											3,215



居住地別にみると、区内では「ポスター」による認知の割合が最も高く、「広報かつしか」を上回る結果となった。また、区外・都外の方も一定数認知していることから、区内外に広く掲出した効果が表れている一方、区外在住者では「友人・知人」による口コミの割合が最も高く、次いでSNSによる認知の割合が高かったことから、区外への情報拡散においては、口コミやSNSが有効な周知手段として機能したことがうかがえる。

(ウ) フェアの効果分析

・「居住地」×「フェアの印象」

居住地ごとの、フェアの印象については、以下のとおり



居住地別に見ると、区内・区外・都外のいずれにおいても好意的な評価が大半を占めており、本フェアが幅広い地域からの来場者に対して高い満足感を提供できたことがうかがえる。また、居住地による評価の大きな差は見られず、地域を問わず一定の評価を得られたことがわかる。

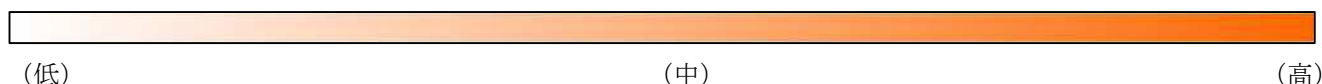
(エ) 行動変化分析

・「年代」×「今後の取組」

年代との、今後の取組については、以下のとおり

※「今後の取組」は、複数選択可能なため、選択率を表示

	ベランダ や庭で花 や野菜を 育てる	ごみの分 別を徹底 する	身近な自 然や生き 物を大切 にする	食品ロス を減らす	マイバッ グ、マイ ボトル、 マイカッ プを持参 する	家庭での 節電や省 エネに取 り組む	車の利用 を減らし て徒歩・ 自転車・ 公共交通 を使う	製品の環 境ラベル や企業の 環境方針 を確認し て買う	特になし	その他	回答者数 (人)
10代以下	51%	41%	24%	36%	30%	18%	12%	6%	7%	4%	165
20代	44%	46%	26%	43%	35%	21%	15%	6%	6%	1%	243
30代	49%	50%	29%	44%	34%	21%	13%	6%	4%	0%	623
40代	52%	54%	30%	44%	33%	21%	12%	6%	2%	0%	621
50代	59%	59%	36%	51%	44%	28%	20%	9%	0%	1%	603
60代	57%	58%	33%	49%	42%	28%	18%	9%	3%	1%	565
70代	66%	58%	32%	49%	39%	25%	16%	8%	0%	1%	322
80代	61%	46%	31%	34%	31%	23%	21%	10%	4%	1%	70
90代以上	67%	33%	67%	33%	33%	33%	33%	33%	33%	0%	3
											3,215



年代別に見ると、全ての世代で「ベランダや庭で花や野菜を育てる」の割合が非常に高かった。本フェアでは、特に若年層に対して「みどりと花」への関心を高め、次世代の担い手として花いっぱい活動を未来につなげていくことを目的としていたが、若年層においても「ベランダや庭で花や野菜を育てる」と回答した割合が最も高かったことから、フェアが身近な緑化活動への関心や実践意欲の向上に寄与したことがうかがえる。

また、「ごみの分別を徹底する」や「食品ロスを減らす」、「マイバッグ・マイボトルを持参する」を選択した割合は、年代による大きな差が見られず、いずれの世代においても高い傾向が見られた。本フェアにおいて実施したごみの分別や、マイボトルを活用した給水スポットの設置、エコバッグの配布等の取組が、環境配慮行動への意識を高める契機の一つとなったことも考えられ、資源循環や廃棄物削減に関する環境配慮行動への関心が幅広い世代に共通して見られた。

・「今後葛飾区に期待すること」

アンケートにて、今後葛飾区に期待することについて、以下の意見が寄せられた。

区への要望	件数（件）	割合（％）
イベントを継続し、開催回数・地域を増やす	104	26.3%
花・緑を増やし、維持・整備する	64	16.2%
地域キャラ・観光・商業を活性化する	32	8.1%
イベント内容・出店・運営を充実する	31	7.8%
子育て支援・子ども向け企画を充実する	30	7.6%
税金・予算・行政施策を見直す	26	6.6%
公園・会場設備を整備・改善する	23	5.8%
広報・Web・案内を分かりやすくする	18	4.5%
公共交通・道路・歩行環境を改善する	18	4.5%
誰もが住みやすいまちづくりを進める	12	3.0%
環境・SDGs・リサイクルを推進する	10	2.5%
高齢者・福祉・共生支援を充実する	10	2.5%
治安・清掃・生活環境を改善する	8	2.0%
その他	10	2.5%

イベントの継続・拡充に次いで、花や緑の維持・整備に関する要望が多かった。フェアの継続開催や花と緑に関する取組への期待が高い一方、観光・商業の活性化、子ども向け企画、会場設備、広報、交通環境など、まちづくり全般に関する意見も一定数寄せられた。

(3) 地域団体へのアンケート結果

(ア) 概要

「全国みどりと花のフェアかつしか」の実施後、フェアに関わった地域団体を代表して、以下の団体にアンケート調査を実施した。

- ① 一般社団法人金町みらい協議会
- ② 新小岩北地域まちづくり協議会
- ③ 新小岩南地域まちづくり協議会
- ④ お花茶屋駅前商店会
- ⑤ お花茶屋商栄会

(イ) 回答（要旨）

項目	ご意見（抜粋）
フェア全体の満足度	・葛飾の魅力を発信する大変意義のある事業であった。 ・非常に良かったと思う。結果的にそれぞれの役割が対応できていたため、想定の実績が残せたと思われる。 ・各地域での協力イベントが少なかった ・複数会場での開催が良かった。 ・告知が不十分で非常に残念。
地域への効果・変化	・毎週何かしらのイベントをやっている感が根付いたと感じる。にぎやかとの印象が地域の魅力向上にも繋がると思う。 ・ハンギングバスケットのワークショップを通じ、定期的な開催希望のご意見が多くあった。また、花のまちのイメージ向上に繋がった。 ・店舗へは特に影響がないが、地域とのつながりへの影響があった。
地域からの声	・会場によって来場者数と出店者数のバランスが十分ではなく、売上が大きく伸び悩み、出店者から厳しい声があった。 ・駅前で頻繁に色んな事をやっているね、という声を複数いただいた。また、地域のイベントに出店・出演したいという声も上がってきている。 ・一部の地域でしか認識されていなかったのも、残念。
その他	・イベントは開催自体が目的ではなく、その後も地域に価値を残していくことが重要。 ・会場設営や警備を自分たちがやろうとするとパワーやコストが足りず苦勞しているため、フェアが担当してくれたおかげで非常に助かった。 ・区への協力について前向きに対応していきたい。

(4) まちなか花いっぱいプレイス及び活動団体への意見聴取結果

(ア) 概要

「全国みどりと花のフェアかつしか」（以下「フェア」という。）では、区民と区が協働し、駅前広場や沿道等、まちを花や緑で彩る「花いっぱいのまちづくり活動」を行う区内 160 箇所以上の地域花壇をまちなか花いっぱいプレイスとして、来場者をもてなした。

フェアの実施後には、花いっぱいのまちづくり活動団体の代表者及び緑化推進協力員を対象とした意見聴取を実施した。



(イ) 回答（要旨）

項目	ご意見（抜粋）
全体の満足度	・区内の至るところで花が咲き、装飾もされており、気持ちの良い期間だった。 ・葛飾の魅力が十分に伝わる期間だったと思う。 ・お花の手入れや種類など、今後の活動に生かせるワークショップなどが体験できてよかった。 ・地域の方々との交流ができて良かった。
団体からの声	・行政主導で進み、地域住民の意見や思いが反映されにくかった。 ・情報発信や広報宣伝が不足し、フェアそのものの認知度が低かった。 ・内容や参加方法が分かりづらく、十分に参加ができなかった。
要望・提案	・地域団体や町会、家庭での活動を尊重し、参加しやすい仕組みづくりを検討してほしい。 ・行政と地域団体などが連携して進める体制を構築してほしい。 ・花いっぱいのまちづくり活動の情報発信を強化し、若い世代や家庭での参加を促すように、口コミやネットを活用してほしい。 ・今後のイベントや活動に地域の意見を反映し、継続的に改善してほしい。

(5) 植物管理ボランティアアンケート結果

(ア) 概要

「全国みどりと花のフェアかつしか」の植物管理ボランティア参加者を対象に、今後のボランティア活動の運営や緑化事業の充実に活かすことを目的としてアンケート調査を実施した。

(イ) 回答（要旨）

項目	ご意見（抜粋）
全体の満足度	・講師から植物の扱いや特色を学ぶことができた。 ・スタッフの方々の対応をはじめ、道具や休憩体制が確立されており、充実した活動をすることができた。 ・今後の地域活動や緑化活動へ積極的に参加したいと感じることができた。 ・活動日程の連絡や調整、当日の作業指示が把握しにくかった。
活動を通じた効果	・活動を通じて、花の名前や育て方を知ることができ、みどりと花そのものに関する関心が高まった。 ・区内の花壇や公園に目を向けるきっかけとなった。 ・参加者同士の交流も含めて、貴重な体験ができた。
要望・提案	・みどりと花に関するイベントや講習会、維持管理活動など、今後もあるべき参加したい。 ・事前説明や作業分担、当日の指示などの運営面を改善し、専門性のある、より充実した内容になるようにしてほしい。 ・花壇活動団体全体や、活動参加につながるような情報発信を積極的に行ってほしい。

11 広報関係実績

(1) 考え方

本フェアの広報にあたっては、実施計画の広報宣伝計画で掲げたとおり、これまで区が実施・展開してきた「花いっぱいまちづくり推進プロジェクト」において、活動者の高齢化や若い世代への継承が課題となっていることを踏まえ、これまでみどりと花に触れる機会があまりなかった若い世代にも、区の出組を身近に感じてもらうことを重視した。

また、情報発信の方針としては、フェアの認知促進→興味喚起→来場促進→体験・共感とつながっていくようなプロセスを想定して展開した。

そのため、区内外における認知度の向上と来場促進を図ることに加え、将来的な活動の担い手づくりにつなげる観点からターゲットを設定し、広報紙やチラシ・ポスター等の紙媒体、ホームページ、SNS、メディア露出等を組み合わせた多面的な情報発信を実施した。特に、開催前から開催期間中にかけて継続的に情報を発信することで、フェアの開催趣旨や各会場の魅力、フェア内容等を幅広い層に周知することに取り組んだ。

(2) 実績（令和8年7月1日時点）

(ア) チラシ・ポスター

区内の掲示スペース等を活用したほか、広告協賛をいただいた公共交通機関での周知を行った。また、フェア期間中においては会場周辺でのチラシ配布やポスティングを実施し、来場促進につなげた。

ア 広報掲示板・町会掲示板・広報スタンド

令和7年度

区分	実施期間	部数
広報掲示板	令和7年3月21日～4月20日	B3ポスター 300部
町会掲示板	令和7年4月10日～	チラシ 3,229部
広報スタンド	令和7年3月21日～4月20日	チラシ 700部

令和8年度

区分	実施期間	部数
広報掲示板	令和8年5月1日～31日	B3ポスター 300部
町会掲示板	令和8年3月3日～6月14日	チラシ 3,229部
広報スタンド	令和8年5月1日～6月14日	チラシ 1,400部

イ 協賛ポスター掲示

企業	内容	掲載期間	部数	広告換算額
京成電鉄	駅貼り（84 駅）	令和 8 年 4 月 5 日～ 6 月 14 日	B 1 100 部	¥10,780,000
	中吊り（京成線）	令和 8 年 4 月 27 日～ 6 月 14 日	B 3 1,900 部	¥3,349,500
	中吊り（松戸線）	令和 8 年 4 月 27 日～ 6 月 14 日	B 2 500 部	¥1,512,000
北総鉄道	駅貼り（14 駅）	令和 8 年 4 月 27 日～ 6 月 14 日	B 1 20 部	¥1,540,000
京成バス	窓上ポスター	令和 8 年 3 月 30 日～ 6 月 14 日	B 3 210 部	¥408,000
東武バス	中吊り	令和 8 年 5 月 1 日～ 6 月 14 日	B 3 300 部	¥513,000

ウ チラシ配布

実施場所	実施期間	部数
J R 金町駅南北通路付近	令和 8 年 5 月 22 日～6 月 12 日	2,045 部
J R 新小岩駅南北自由通路・ 東北広場付近	令和 8 年 5 月 17 日～30 日	6,184 部
お花茶屋駅周辺	令和 8 年 6 月 5 日	83 部
奥戸ローズガーデン	令和 8 年 5 月 23 日・25 日・31 日	404 部

エ チラシポスティング

実施場所	実施期間	部数
メイン会場周辺 （都営南水元三丁目アパート 1 号棟 他 38 棟）	令和 8 年 6 月 7 日～ 12 日	4,476 部
曳舟川親水公園広場ゾーン周辺 （白鳥一丁目・二丁目、お花茶屋一～三丁目）	令和 8 年 6 月 10 日	2,127 部

（イ）広報誌

広報かつしかにおいてはコラム記事を連載したほか、開催直前期には 2 号連続で掲載するなど、区民への周知を図った。

媒体名	掲載号
広報かつしか	令和 7 年 7 月 25 日号、9 月 25 日号、 令和 8 年 1 月 25 日号、4 月 25 日号、5 月 5 日号 ※令和 8 年 5 月 5 日号は特集号
東京と緑	第 234 号、第 236 号
ライフアップ 23	令和 8 年 1 月号
都市公園	第 250 号
とうきょう自治のかけはし	—

(ウ) SNS

若い世代への認知度向上や来場促進を図るため、SNSでの発信を積極的に行った。特に、公式ページでの投稿にとどまらず、年代等を指定してプッシュ型でお知らせする広告の活用等にも力を入れることで、一定の閲覧数を獲得することができた。

ア 投稿実績

媒体	フェア公式	公式アンバサダー関係
X	投稿数：328 件 表示回数：193 万回 いいね数：2.5 万件 リポスト数：5,000 件	投稿数：5 件 表示回数：55.4 万回 いいね数：2.3 万件 リポスト数：3,000 件
Instagram	投稿数：299 件 表示回数：282 万回 いいね数：3.5 万回 シェア数：1,600 件	投稿数：2 件 PR動画閲覧数：130 万回 いいね数：17.7 万回 シェア数：109 件
ホームページ	表示回数：68.8 万回	

※契約に基づく投稿とは別に、アンバサダーの自主的な発信として、令和8年6月12日にお花茶屋を訪問した際の様子がXにて投稿され、14万回閲覧された。

イ 広告実績

令和7年度

種別	媒体	配信時期	閲覧回数
バナー広告（会場パース図）	Instagram	令和8年2月23日～ 3月15日	956,624 回
バナー広告（公式アンバサダー）		令和8年3月16日～ 3月29日	408,738 回
バナー広告（モンチッチ）		令和8年3月16日～ 3月29日	716,583 回

令和8年度

種別	媒体	配信時期	閲覧回数
動画広告（30秒・60秒） バナー広告	Instagram	令和8年5月1日～ 25日	695,072 回
パートナーシップ広告 （パワーインフルエンサー）		令和8年5月20日～ 6月14日	628,278 回
パートナーシップ広告 （マイクロインフルエンサー）		令和8年6月1日～ 6月14日	319,457 回

ウ 広報関係業務委託

年度	方向性・目的	契約事業者	金額	実施内容
令和7年度	葛飾区及びフェアの認知度向上	(株) N T T アド	¥11,484,000	投稿 51 件 Instagram 広告
令和8年度	会場への来場促進	ソーシャルワイヤー(株)	¥5,287,700	投稿 11 件 Instagram 広告 及び YouTube 広告

エ その他委託

かつしか観光大使であるフィッシャーズ（UUUMマーケティング（株））にフェアの紹介動画の制作を委託し、YouTube チャンネルに投稿した。動画は令和8年3月27日に公開され、視聴回数は7.7万回であった。

(エ) メディア

媒体	主な発信元	件数	広告換算値（※）
テレビ	NHK「おはよう日本」 テレビ朝日「グッド！モーニング」 フジテレビ「めざましテレビ」など	8 件	¥39,443,600
新聞	読売新聞、朝日新聞、産経新聞など	57 件	¥67,516,027
雑誌	グリーン情報、mono など	5 件	¥825,000
ウェブ	オリコンニュースなど	334 件	¥177,681,776
合計		404 件	¥285,466,403

※広告換算値の算出方法

テレビ：放送時間帯による1秒あたりのスポットレート×露出尺をネット・局ごとに加算した値

新聞：掲載スペース（1段×cm）×基本レート 円（1cm×1段）の値

雑誌：掲載スペース（ページ数）×広告定価（各媒体基準額）

ウェブ：サイトごとのUU数×広告の平均インプレッション単価

※UU（ユニークユーザー）数は、ウェブサイトを訪れたユーザー数を数える指標

(オ) その他

区内の既設公共サインの空きスペースを活用し、ポスターデータ等を掲出した。また、視察の受け入れ体制を整えたことにより、多くの視察申し込みをいただいた。

ア 公共サイン

掲載箇所：90箇所

掲載期間：令和8年3月10日～6月14日

イ 視察対応

団体数：21団体

延べ人数：273人

(3) 振り返り

広域的な情報発信としては、広告配信を行い、Instagramを中心にターゲットを設定したバナー広告や動画広告を展開した。公式アンバサダーや区ゆかりのキャラクターを活用したバナー広告のほか、インフルエンサーとのパートナーシップ広告を投稿することにより、多くのインプレッションを獲得した。その結果、全国からの来訪があったことから、広域的な情報発信に一定の効果があったといえる。

また、アンバサダーの活用については、プレイベント時の各広報媒体の反応に加え、動画等の閲覧数などを鑑みると、ターゲットとしていたこれまでみどりと花にあまり触れる機会のなかった若い世代への情報発信に効果があったと捉えている。

一方で、区民への周知については、広報誌や掲示板、区内公共施設等を活用し情報発信を行ったが、十分に行き届かなかった面があり、課題が残った。今後のイベント等における広報活動としては、既存の広報媒体を継続的に活用するとともに、自治町会や関係団体と調整しながら口コミで情報伝達がしやすくなる方策を検討・実施し、区民への認知度向上を図っていく必要がある。



Bloom Your Future
Katsushika

全国みどりと花のフェアかつしか

サステナビリティ戦略 実施レポート



サステナビリティ戦略のターゲット



(1) 資源循環型運営の推進

資源の有効活用とリサイクルを促進し、廃棄物削減に寄与する取組を進める。

(2) 脱炭素・省エネルギー運営

省エネルギー技術と再生可能エネルギーを活用し、クリーンな運営体制を構築する。

(3) 環境に配慮した調達

環境負荷の低い資材等を優先的に調達し、持続可能な運営につなげる。

(4) 次世代への環境教育

子ども・学生・来場者に環境教育の機会を提供し、意識向上を目指す。

① ごみ分別ステーションの設置

対象ターゲット

(1) 資源循環

(4) 環境教育



実施内容

会場内に案内サイン付きのごみステーションを設置し、来場者のごみ分別を促しました。

実績

分別回収量
9,570kg

資源回収量
3,950kg

資源回収率
約41%

回収したごみの内訳

		実績量	予測量
ごみ	燃やさないごみ	4,360kg	6,090kg
ごみ	燃やすごみ	1,260kg	967kg
資源	ビン・缶	650kg	460kg
資源	ペットボトル	560kg	812kg
資源	チラン・段ボール等	2,740kg	4,548kg

効果

適切な分別により、リサイクル率の向上と廃棄物削減につなげました。

また、来場者が直接分別を行うことにより、来場者の環境意識向上を図りました。

② 生ごみのリサイクル化

対象ターゲット

(1) 資源循環

(4) 環境教育



実施内容

飲食で発生した生ごみを分別回収し、資源として再活用しました。

実績

生ごみ回収・飼料化量
50kg

- ・実施会場 全会場
- ・期間中に生ごみを合計50kg回収し、すべて養鶏・養豚の飼料となった。

効果

焼却処理を行わず飼料化することで、食品ロスの削減と資源循環への理解促進につなげました。

③ リユース食器の導入

対象ターゲット

(1) 資源循環

(4) 環境教育



実施内容

一部の飲食出展者のご協力のもと、使い捨て容器だけでなくリユース食器を使用しました。

実績

お皿
153枚

スプーン
141本

合計
294個

- ・実施会場 葛飾にいじゅくみらい公園、曳舟川親水公園広場ゾーン
- ・カレーを提供するキッチンカー出店者2店舗、計3日間の協力
- ・お皿153枚、スプーン141本、合計294個のリユース食器を使用

効果

リユース食器を使用することで、使い捨て容器の使用量を削減するとともに、購入者に体験してもらいながら資源循環を伝える機会になりました。

④ フードドライブの実施

対象ターゲット

(1) 資源循環



実施内容

メイン会場にフードドライブブースを設置し、家庭で余っている未利用の食品を受け付けました。

実績

食品回収量
13.5kg

- ・実施会場 葛飾にいじゅくみらい公園
- ・6月6日・7日の2日間で、食品13.5kgを回収
- ・個包装のお菓子、乾麺、缶詰等を回収
- ・回収した食品を、葛飾区リサイクル清掃課から葛飾区社会福祉協議会を通じて、区内の子ども食堂等へ提供

効果

食品ロスを削減すると共に、必要とする方々への支援につなげました。

⑤ マイボトル・エコバッグ持参の呼びかけ

対象ターゲット

(1) 資源循環

(4) 環境教育



実施内容

給水機を設置し、マイボトル利用を促進しました。また、エコバッグもイベントの特典として配布しました。

実績

給水量
2,687L

紙コップ相当量
約1.3万個

エコバッグ配布数
495枚

- ・実施会場 全会場
- ・給水量2,687L、エコバッグ配布数495枚

効果

使い捨てコップの使用を抑制するとともに、利用者の環境配慮行動の促進を図りました。

⑥ フェアで使用した花の配付

対象ターゲット

(1) 資源循環

(4) 環境教育



実施内容

会場で使用した花苗等を、来場者や区内学校・団体等に配付しました。

実績

花苗配付率
46.4%

掘取フェア参加人数
2,636人

- ・実施会場 全会場
- ・会場を彩った花のうち、合計で43,585鉢の花苗を配付
- ・葛飾にいじゅくみらい公園及び曳舟川親水公園広場ゾーンでは、「掘り取りフェア」と称し、参加者により会場内に植えられている花の掘り取りを実施
- ・ハンギングバスケットやプランターは区内学校や団体等に提供
- ・事業者の協力により、会場内の花を紙へ再資源化

効果

会場を彩った花を無駄にせず、来場者や協働相手である学校・団体に配付することで、ごみとなる花を減らすとともに、参加者の緑化活動や環境意識の向上につなげました。

⑦ 環境に配慮した燃料の活用

対象ターゲット

(2) 脱炭素・省エネ



実施内容

協賛企業の提供により、水素自動車による給電を活用しました。
また、一部の発電機にはバイオディーゼル燃料を使用しました。

実績

水素自動車による給電
70kwh

バイオディーゼル燃料による給電
3,328kwh

排出CO2換算量
約1.4 t (※)

- ・実施会場 葛飾にいじゅくみらい公園、曳舟川親水公園広場ゾーン
- ・水素自動車が、一部出展者・給水機・ステージ音響へ給電（13日間稼働）
- ・バイオディーゼル燃料により、スポットクーラー・給水機へ給電（26日間稼働）
- ・水素自動車は給電対象となる一部の出展者の電力需要が比較的小さく、また供給期間もバイオディーゼル燃料発電機と比較して短いこと、またバイオディーゼル燃料発電機では、消費電力の大きいスポットクーラーを開催期間を通じて給電したため、発電量が大きくなった。

(※) 東京電力CO2基礎排出係数 約0.421kg-CO₂/kWh

効果

脱炭素型のエネルギー利用を示し、環境に配慮したエネルギー利用の普及啓発につなげました。

⑧ シェアサイクルの活用

対象ターゲット

(2) 脱炭素・省エネ

(3) 環境配慮調達



実施内容

各会場付近にシェアサイクル場を設置し、区内周遊を促しました。

実績

延べ利用者数
1,642人

利用回数
2,815回

- ・実施会場 全会場
- ・延べ利用者数1,642人 利用回数2,815回

効果

環境負荷がかからない移動手段を提供し、電車やバス等の公共交通機関との連携によりCO2削減に寄与しました。

⑨ 本来廃棄される端材を活用したスタッフユニフォーム

対象ターゲット

(3) 環境配慮調達



実施内容

表生地にポリエステル原料・製品の製造過程で出る端材を再生原料として約38%使用したスタッフユニフォームを導入しました。

実績

端材使用率
約38%

スタッフ着用数
200人

- ・実施会場 全会場
- ・運営スタッフ200人が着用
- ・スタッフウェアの背面には「繊維to繊維」を大きく記載し、再生素材を活用していることを、来場者及び出店者にPR

効果

本来廃棄される端材を有効活用（繊維to繊維）し、資源の有効活用と廃棄物抑制につなげるとともに、環境に配慮した素材の活用について広く周知を図りました。

今後、環境緑化フェアなどの区イベントで着用する予定です。

⑩ 区民との花壇づくりの実施

対象ターゲット

(4) 環境教育



実施内容

フェア開催前に区内学校・団体等と協働し、花壇への植え付けや寄せ植えを実施しました。また、開催期間中も来場者とハンギングバスケットの寄せ植えを行いました。

実績

参加人数
約1,150人

参加学校・団体数
20校・12団体

・実施会場

葛飾にいじゅくみらい公園、曳舟川親水公園広場ゾーン、
新小岩駅北口駅前広場、金町駅北口前広場ほか

・たねダンゴ®づくり約130人、フラワーメリーゴーランドへの植付約650人、 花植え等に約370人が参加

効果

地域住民が花や緑に触れる機会を創出し、緑化活動への理解と地域環境への愛着形成につなげました。

サステナビリティ戦略の成果と今後



成果

- ・取組を通じて、イベント運営における環境負荷の低減につなげることができた。
- ・区民や学生、来場者が直接体験・参加する取組を実施したことで、環境に配慮された行動を実践する機会を創出し、環境意識の向上にもつなげた。
- ・学校、地域団体、企業等との連携を通じて、サステナビリティの推進に向けた協働の輪を広げることができた。

今後

- ・本フェアで得られた知見やノウハウは、今後の区主催イベントや地域活動において活用可能なものであるため、効果的で実現性の高い取組を継承しながら、区民・団体・企業との連携をさらに深め、持続可能な地域社会の実現につなげていく。

Ⅲ 花いっぱいのまちづくり 発展の方向性

全国みどりと花のフェアかつしか（以下「フェア」という。）を契機に生まれた「みどりと花の景観」「区民・企業・地域活動団体等との協働」「次世代へつなぐ活動」を今後も継続し、さらなる花いっぱいのまちづくり発展へとつなげる。

1 基本的な考え方

- ・フェアの開催テーマである「未来に向け成長する みどりと花のまち かつしか」の考え方を踏まえ、フェアで整備・実施した取組を一過性で終わらせず、区民参加による花いっぱい活動や地域の魅力向上につなげる。
- ・フェアのレガシーは、ハード面とソフト面に分けて整理する。
- ・現時点で新たな事業やイベントの実施を決定するものではなく、今後の具体的な取組については、関係機関との調整、実施方法の検討、必要な予算措置等を踏まえて整理する。

2 レガシーの主な内容

（１）ハード面

（ア） 「フラワーメリーゴーランド」

① 区内での設置

全国みどりと花のフェアかつしか開催の際に、フラワーメリーゴーランドの装飾デザインや植え付けを行っていただいた学校をはじめ、区内各所に設置予定。

② 他地域での展示・出展

第43回全国都市緑化フェアでの展示

GREEN×EXPO（国際園芸博覧会）での展示

（イ） 「全国「みどりの愛護」のつどい」の記念植樹

秋篠宮皇嗣同妃両殿下お手植の樹木を含む計24本を、区内各所に移植している。銘版を作成し、樹木と共に後世に残すことで、世代を超えて「フェア」や「つどい」を伝える。

（ウ） 曳舟川親水公園広場ゾーンのふれあい花壇

フェア終了後も地域のふれあいの場となるよう維持管理を行う。

（２）ソフト面

（ア） 若い世代への参加機会の提供及び活動の拡大、担い手の増加

区内学校との協働として、たねダンゴ®の作成、フラワーメリーゴーランド及びプランターへの植付等を実施した。これにより、葛飾区の将来を担う若い世代に対し、みどりと花に親しむ機会を提供するとともに、活動への関心や理解を高めることで、将来的な担い手の育成を図った。

また、来場者に実施したアンケート（3,215人回答）では、「みどりと花」に関する意識が高まった来場者が約9割を占めており、今後の担い手の増加を期待できる結果となった。

（イ） 地域魅力の向上

フェアの開催を通じて、区内各地の公園や観光資源、地域キャラクター等を活用したイベントを実施したことで、来場者が葛飾区の多様な魅力に触れる機会を創出するとともに、地域への愛着や誇りの醸成を通じ、地域魅力の向上につなげた。

（ウ） 環境への意識の高まり

フェアの開催を通じて、ごみの分別、フードドライブ、ショーケース展示等を実施したことで、幅広い環境分野への理解や関心を深める契機とした。これにより、来

場者アンケートでは、「みどりと花」以外で関心が高まった環境分野として、「自然環境や生き物に関すること」が2,132件（41%）と最も多く、次いで「リサイクル・リユースに関すること」が883件（17%）、「気候変動に関すること」が719件（13.8%）（複数回答可）となっており、幅広い環境分野への意識向上につなげた。

（エ） 区の魅力発信

来場者アンケートでは、区外からの来場者が約3割を占めており、フェアを通じて葛飾区の魅力を区外へ広く発信することができた。また、公式 SNS 等を活用し、葛飾区の観光スポット等の魅力に関する情報を継続的に発信したほか、シャトルバスによる区内周遊を実施したことで、区内各地への周遊を促進し、葛飾区の魅力を効果的に発信することにつなげた。

3 今後の方向性

フェアのレガシーを将来にわたり継承していくため、既存の「花いっぱいのもちづくり活動」等と連動した地域活動団体への支援や活動機会の創出を継続するとともに、フェアを通じて形成された企業、学校、地域団体等との連携を活かした持続可能な協働体制の構築を検討する。また、ハード面の維持管理とソフト面における担い手の育成、イベント等を通じた継承を一体的に進めることで、フェアの成果を将来にわたり継承していく。

具体的な取り組み

（1） 花いっぱいのもちづくり活動の周知

区イベントで花いっぱいのもちづくり活動やフェアの様子を周知する。

＊フェアを契機として、新たに活動に取り組む団体の創出につながった。

（2） 関係団体の活性化

「かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会」（サロン・ド・花いち等）の実施内容の拡充により若い世代が参加しやすい機会を提供し、花いっぱい活動への関心を高めることで、次世代の担い手の増加につなげる。

（3） 個人活動の活性化

団体活動が中心となっている花いっぱいのもちづくり活動に個人で参加しやすい仕組みを検討し、興味・関心のある個人にまで活動のすそ野を広げる。

（4） 中間支援組織等との連携

区民、事業者、活動団体といった担い手と区の協働を支援するための中間支援組織等との連携を検討し、更なる活動の活性化につなげる。

（5） レガシーイベントの検討

花いっぱいのもちづくりを継続的に発信するための象徴的なイベントとして実施し、フェア後の花いっぱいのもちづくり活動参加の機会を確保する。また、学校、若い世代、地域団体、企業等と連携し、植栽体験、展示、活動発表など区民が参加しやすい企画を検討する。

（6） 緑の都市賞受賞に向けた検討

フェア開催の成果を踏まえ、葛飾にいじゅくみらい公園の魅力や取組の評価を進め、「緑の都市賞」受賞を視野に入れた取組を検討する。

（7） 環境施策の推進

区民の環境分野への関心の高まりをフェアのレガシーとして捉え、関係部署との調整を図りながら、生物多様性の保全、資源循環及び脱炭素化に係る取組など、区の環境施策をより一層推進する。

フェア全体経費見通し(令和8年7月末時点)

	令和7年度 決算額	令和8年度 見込額	計
区予算	335,730,416	737,513,002	1,073,243,418
実行委員会予算	74,534,510	22,855,749	97,390,259
計	410,264,926	760,368,751	1,170,633,677

令和7年度

(円)

	項目	令和7年度決算額	契約相手方名	区内／区外
区予算	報償費 226,000円	226,000	—	—
	消耗品費 64,173,004円	60,009,840	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
			・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
		491,590	株式会社諏訪商会	区外
		497,200	株式会社諏訪商会	区外
		18,700	エビヌマ株式会社	区内
		496,974	有限会社コーヨー	区内
		2,658,700	・ユニフォーム 東京トラヤ株式会社 新小岩支店	区内
			・ゼッケン 株式会社ツクシ製作所	区内
			有限会社ヒット企画	区内
	修繕料 211,200円	211,200	葛飾にいじゅくみらい公園車止め修繕	区内
	通信運搬費 59,872円	59,872	—	—
	手数料 61,200円	61,200	—	—
	委託料 129,316,608円	14,000,000	TSP太陽株式会社	区外
		16,467,000	・メイン会場設営等業務委託 株式会社ボストン	区外
			・看板等製作委託 株式会社ボストン	区外
		1,320,000	サンエス警備保障株式会社 東京本部	区外
		22,000,000	お花がかり株式会社	区外
		57,214,608	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
			・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
		0	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
			・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
		0	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
			・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
		3,531,000	株式会社桂造園	区内
		14,784,000	・広報関係業務委託 株式会社NTTアド	区外
			・プロモーション支援等業務委託 UUUMマーケティング株式会社	区外
	工事請負費 84,922,532円	84,922,532	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
			・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
			・フラワースポット 株式会社緑草園	区内
	備品費 56,760,000円	56,760,000	サンエービルドシステム株式会 社	区内
		335,730,416		
実行委員会予算	負担金 74,534,510円	10,648,000	株式会社NTTアド	区外
		61,812,850	株式会社NTTアド	区外
		1,936,000	株式会社NTTアド	区外
		1,760	—	—
		135,900	—	—
区及び実行委員会の総計		410,264,926		

	令和7年度 決算額	令和8年度 見込額	計
区予算	335,730,416	737,513,002	1,073,243,418
実行委員会予算	74,534,510	22,855,749	97,390,259
計	410,264,926	760,368,751	1,170,633,677

令和8年度(執行見込)

(円)

※未執行のため予算額を入力

	項目	令和8年度見込額	契約相手方名	区内／区外
区予算	報償費 757,040円	248,000	—	—
	実行委員会 委員等謝礼※	40,000	—	—
	公認会計士監査業務報償費※	469,040	—	—
	看護師派遣報償費	—	—	—
	消耗品費 37,519,633円	37,234,714	・メイン会場 株式会社緑草園	区内
	【花装飾】植物調達(補植分)	—	・サテライト会場 有限会社エス・ケー・グリーン	区内
	協働事業用消耗品の購入	180,919	エビヌマ株式会社	区内
	京都緑化フェア出展用花苗の購入	104,000	—	—
	印刷製本費 352,000円	352,000	—	—
	公式記録誌の印刷	—	—	—
	光熱水費 17,015円	17,015	—	—
	曳舟川親水公園広場ゾーン電気料金	299,000	—	—
	通信運搬費 1,223,000円	199,000	—	—
	京都緑化フェア FMG等運搬業務※	725,000	—	—
	デジタルスタンプラリー景品郵送料※	—	—	—
	その他通信運搬費※	—	—	—
	保険料 1,951,710円	1,951,710	株式会社ORIGIN	区外
	イベント保険	250,000,000	TSP太陽株式会社	区外
	委託料 655,384,635円	78,478,400	・メイン会場設営等業務委託 株式会社ポストン	区外
	運営等業務委託【債務負担行為】	97,515,000	・サテライト会場設営等業務委託 株式会社ポストン	区外
	会場設営委託【債務負担行為】	154,670,000	サンエス警備保障株式会社 東京本部	区外
	警備業務委託【債務負担行為】	59,978,000	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
	【花装飾】仮設花装飾設置業務委託【債務負担行為】	—	・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
	【花装飾】維持管理等業務委託【債務負担行為】	—	・メイン会場 葛飾エクステリア株式会社	区内
	【花装飾】花壇撤去・芝復旧工事(公園課執行委任)	—	・サテライト会場 株式会社相川造園	区内
	花菖蒲維持管理委託	1,650,000	株式会社桂造園	区内
	広報関係業務委託	5,287,700	ソーシャルワイヤー株式会社	区外
	広報関係業務委託	2,713,360	高嶺清掃株式会社	区内
	廃棄物収集運搬・処分委託	7,975	大谷清運株式会社	区内
	生ごみ収集運搬及び選別委託	2,200	株式会社アルフォ	区外
	生ごみリサイクル処理委託	5,082,000	OKAGE株式会社	区外
	ステージイベント実施等運営委託	—	株式会社Plants Up	区外
実行委員会予算	自動車借上料 24,910,999円	24,910,999	京成バス東京株式会社	区内
	来場者用巡回バス借上料(交通政策課執行委任)	—	東武バスセントラル株式会社	区外
	使用料及び賃借料 114,670円	86,850	—	—
	会場使用料	27,820	—	—
	リユース食器使用料	—	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ風車	区外
	工事請負費 15,282,300円	15,282,300	・メイン会場 株式会社緑草園	区内
	【花装飾】花壇撤去・芝復旧工事(公園課執行委任)	—	・サテライト会場 株式会社緑草園	区内
	区予算計	737,513,002	—	—
	負担金 22,855,749円	9,014,500	株式会社NTTアド	区外
	アンバサダー広報戦略及びHP制作等委託	1,224,300	株式会社ワンズ	区外
実行委員会予算	デジタルスタンプラリーシステム借上げ	5,302,569	TSP太陽株式会社	区外
	公式グッズ製作及び販売運営業務委託	5,650,700	株式会社NTTアド	区外
	アンバサダー追加活用	1,496,000	佐野税理士事務所	区内
	法人税等の申告書の作成、申告業務委託	5,280	—	—
	手数料(振込)※	162,400	—	—
	公課費※	22,855,749	—	—
実行委員会負担金計		22,855,749	—	—
区及び実行委員会の総計		760,368,751	—	—

・フェア事業経費における区内事業者の割合

	総額	区内	区外	対象外・区分外	区内割合
令和7年度	410,264,926	265,823,554	143,956,640	484,732	64.8%
令和8年度	760,368,751	289,406,767	468,254,399	2,707,585	38.1%
合計	1,170,633,677	555,230,321	612,211,039	3,192,317	47.4%

・来場者一人当たりのコスト フェア経費見込額 1,170,633,677円 ÷ 来場者数 708,790人 = 約1,652円/人

一般庶務報告No. 2		
環	境	部
令和8年9月17日		

ごみ減量化に関する共同調査の実施について

リサイクル清掃課

1 概要

本区は、令和12年度までに区民一人当たりの家庭ごみ排出量を425gに削減する目標を掲げている。

東京都においても、令和8年3月に「東京都資源循環・廃棄物処理計画」を策定し、令和17年度の都内一般廃棄物排出量を令和5年度比12.2%削減する目標を掲げており、東京都と区は連携して一般廃棄物排出量の削減を推進している。

今後のごみ減量施策を検討するため、東京都と共同で「ごみ減量化」に関する調査を実施するもの

2 調査内容

(1) 目的

ごみ減量及び資源循環に関する区民の意識や排出実態等を把握し課題を分析の上、今後のごみ減量施策や普及啓発に活用する。

(2) 設問

ごみ減量及び資源循環に関する意識・行動実態等

(例：分別の実施状況や情報入手手段等について)

(3) 方法

区民へのアンケート調査（紙資料かデジタル媒体）

(4) 実施主体

東京都と共同実施（委託事業）※費用は全額東京都負担

(5) その他

調査票の設問内容や調査対象者数等の詳細は今後東京都と調整の上、決定する。

3 区民への周知

東京都及び本区のホームページ、広報かつしか、SNS等により周知する。

4 今後の予定

令和8年10月中旬～12月頃 アンケート調査実施

令和9年3月頃 調査結果の分析・取りまとめ

廃棄物処理手数料等の改定について

清掃事務所

1 概要

特別区において、事業活動に伴い排出された廃棄物について、廃棄物処理手数料改定ルール（※4ページ参照）に基づき手数料原価を算定したところ、現行手数料を上回ったことから、廃棄物処理手数料を改定する。

併せて、粗大ごみ処理手数料及び動物死体処理手数料についても改定する。

2 経緯

（1）令和8年1月16日 特別区長会総会

廃棄物処理手数料改定ルールに基づき、令和6年度手数料原価を算定し、次期改定額の検討を進めることとされた。

（2）令和8年6月16日 特別区長会総会

令和6年度手数料原価（53.1円/kg）と現行手数料（46円/kg）との乖離を踏まえ、廃棄物処理手数料を53円/kgに改定し、令和9年10月1日から施行することが決定された。

3 廃棄物処理手数料改定の内容

（1）事業系一般廃棄物処理手数料

ア 事業者が排出する事業系一般廃棄物について、1kgにつき46円を53円に改定する。

(円)

	改定前	改定後
収集運搬部門	28.5	33.5
処理処分部門	17.5	19.5
計	46	53

※「廃棄物処理手数料改定額（イメージ図）」は【別紙1】のとおり

イ 有料ごみ処理券を添付して排出するときは、次のとおり改定する。

(円)

有料ごみ処理券の 種類	改定前		改定後	
	1セット	1枚 当たり	1セット	1枚 当たり
10% ₁₀ 券（1セット10枚）	870	87	1,000	100
20% ₂₀ 券（1セット10枚）	1,740	174	2,000	200
45% ₄₅ 券（1セット10枚）	3,910	391	4,500	450
70% ₇₀ 券（1セット5枚）	3,045	609	3,500	700

(2) 家庭ごみ臨時・多量排出時の処理手数料

臨時に排出しなくてはならない家庭ごみについては、1kgにつき46円を53円に改定する。

(3) 粗大ごみ処理手数料

今回の手数料改定に併せて、区が収集する粗大ごみについては、次のとおり改定する。

(円)

	改定前	改定後	(参考) 持込ステーションへ 持ち込む際	
			改定前	改定後
10kg未満	300	400	無料	無料
10kg以上15kgまで	600	700	300	400
16kg以上20kgまで	900	1,000	500	500
21kg以上30kgまで	1,300	1,500	700	800
31kg以上50kgまで	2,300	2,600	1,200	1,300
51kg以上70kgまで	3,200	3,700	1,600	1,900

4 動物死体処理手数料改定の内容

動物死体の運搬及び処理に要する経費の高騰により、区が収集する動物死体処理手数料については、1頭につき2,600円を3,000円に改定する。

5 改定予定時期

令和9年10月1日

6 今後のスケジュール

令和8年第4回区議会定例会に「葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例の一部改正」を提案する予定

7 区民及び事業者への周知

令和9年1月 広報かつしか及び区公式ホームページに掲載

7月 コンビニ・スーパー等に特別区共同ポスターを掲示

9月 広報かつしか及び区公式ホームページに掲載

【参考】 廃棄物処理手数料改定ルール

1 改定は、特別区統一的な対応とする。

2 手数料原価の算定

(1) 収集運搬部門

処理原価（収集運搬に要した経費をごみ量で割ったもの）×

一定割合（収集運搬経費に占める手数料原価対象経費の割合）

(2) 処理処分部門

処理処分経費（中間処理するための経費）÷

中間処理施設能力（清掃工場能力＋不燃・粗大施設能力（t/年））

3 見直しの周期と改定時期

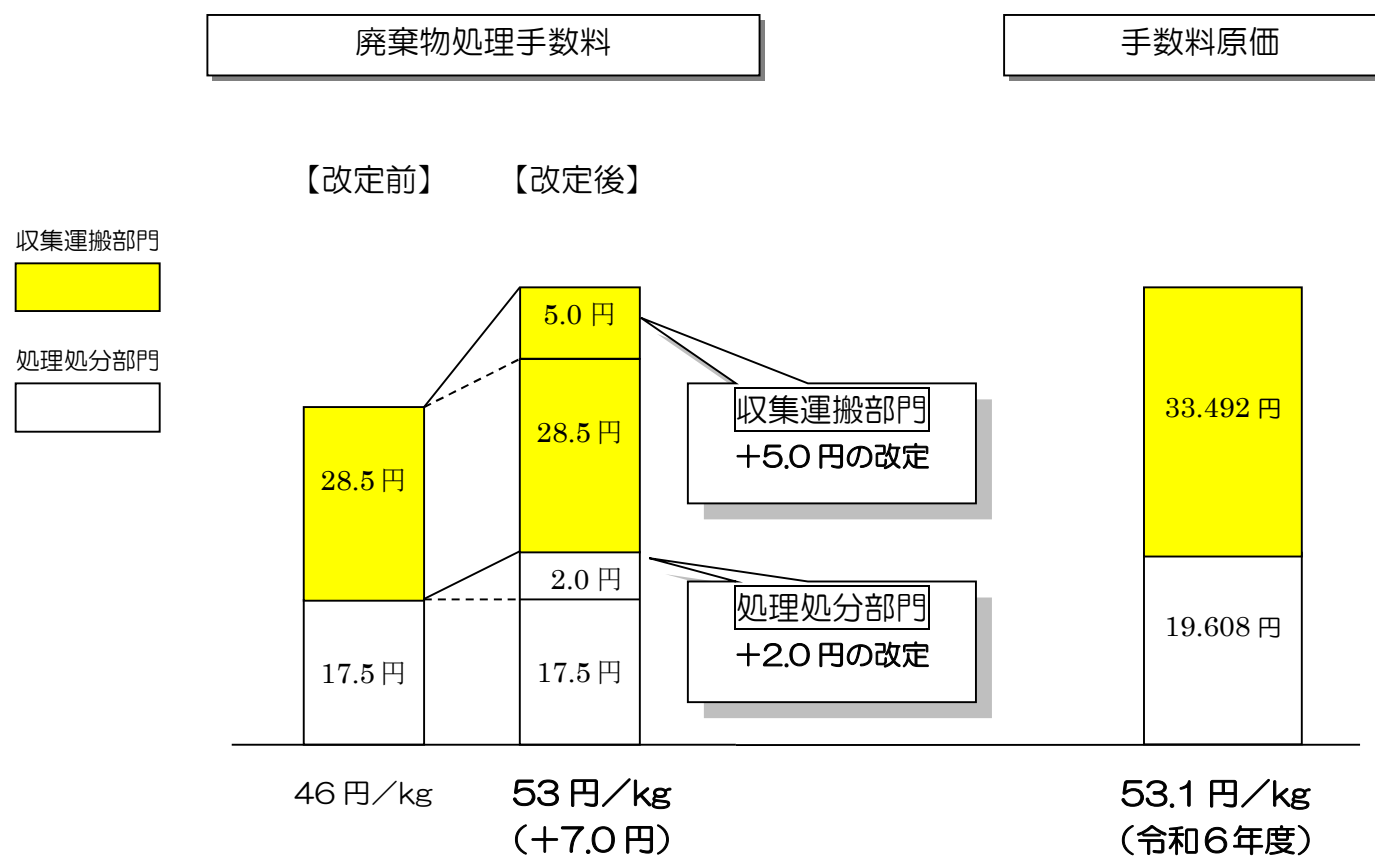
(1) 改定後3年目に見直し検討する。

(2) 改定の2年前の1月に手数料原価を算定し、副区長会及び区長会に報告する。

(3) 改定の1年前の6月に改定額を副区長会及び区長会に報告する。

(4) 改定年次における施行月日は、10月1日とする。

廃棄物処理手数料改定額（イメージ図）



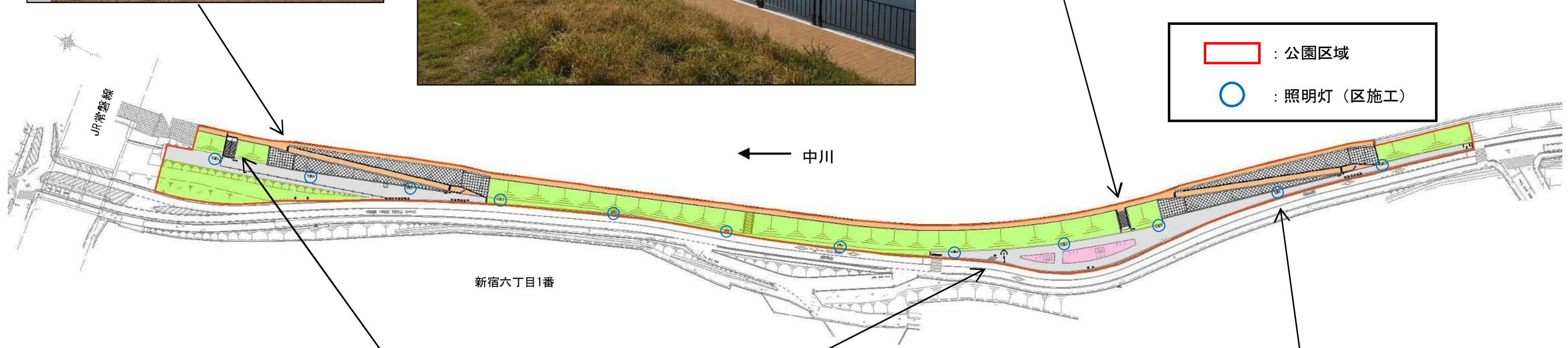
3 中川かわまちづくりイベント

拠点整備が予定される地域において、中川を身近に感じてくつろぎ親しむ疑似体験や地域団体による出展など中川の河川・水辺空間を活用したイベントを開催した（開催結果については資料2のとおり）。

今後、金町地区において11月28日（土）に中川かわまち左岸公園の開園に伴うイベントを自治町会や団体と連携して実施する予定である。さらに、青戸地区では、自治町会の防災訓練との連携や水辺空間を活用したイベント等の今年度中の実施に向け、自治町会などと調整を進めている。

中川かわまち左岸公園（令和8年10月1日開園）

資料 1



葛飾中川かわまちづくり 令和8年度のソフト施策の取組

資料2

亀有地区会場（令和8年6月7日）
来場者数：約1,300人



中川かわまち 2026 葛飾区

水辺を楽しむ大実験！

※荒天中止です
(新宿地区会場は除く)
中止の際は
こちらに情報を
掲載しますので
ご確認ください →

河川・水辺空間を身近に感じることができる「水辺の散歩路」や、飲食等を楽しめる「拠点」の整備を今後行っていく「中川かわまちづくり」のイベントを開催します！
中川の魅力を再発見してみませんか？！

亀有地区会場
6月7日(日)
11時～16時

- ★くつろぎ体験 (オープンカフェ風の席等)
- ★おいしいルーロー飯 (台湾料理) のキッチンカー
- ★おいしいたこやき・チュロスのキッチンカー
- ★水辺で読書
- ★中川かわまちづくり事業等の紹介・展示・VR体験
- ★水辺の博物館・水族館
- ★すい防(水陸両用車)の展示
- ★楽しい和太鼓ワークショップ

新宿地区会場
6月1日(月)～7日(日)(7日間)
イルミネーションを実施します！

高砂地区会場
5月24日(日)
11時～16時

- ★くつろぎ体験 (オープンカフェ風の席等)
- ★おいしいバインミー (ベトナム料理) のキッチンカー
- ★おいしいベビーカステラ・りんご飴のキッチンカー
- ★水辺で読書
- ★中川かわまちづくり事業等の紹介・展示・VR体験
- ★高砂地区開発協議会の展示
- ★すい防(水陸両用車)の展示
- ★絵馬祈願・パネル展示

お問い合わせ先
葛飾区 都市整備部 調整課
かわまちづくり担当係 ☎ 03-5654-6353
中川かわまちづくりについてはこちら →

来場者アンケートでいただいた主なご意見 (自由意見より)

- 今後も継続して開催し、中川をもっとPRしてほしい
- イベントがあるのを最近知り、参加できて良かった
- 子供が楽しめる内容が多く良かった
- ベンチなどが多くゆっくりできて良いが、足の悪い人には少し大変になる
- もう少し規模が広がったらいいなと思いました
- 駅からの経路などもう少し案内がほしい

新宿地区会場（令和8年6月1日～7日）



高砂地区会場（令和8年5月24日）
来場者数：約1,000人



一般庶務報告No. 2
都 市 整 備 部
令和8年9月17日

森永乳業株式会社東京工場跡地の整備に関する事業者からの報告内容等について

都市計画課

1 趣旨

森永乳業株式会社東京工場跡地の整備について、事業主である「葛飾特定目的会社（以下「事業主」という。）」から（仮称）葛飾区奥戸物流施設計画の今後の予定が示された。

また、本施設の操業開始後も引き続き、関係機関等と連携・協力しながら、地域との調和に配慮した施設運営に努めることについて、区から要望書を提出する予定である。

2 事業主からの報告内容

【資料1】のとおり

3 区からの要望事項【資料2】

これまで区及び近隣自治町会等から提出してきた要望事項について、本施設の操業開始後も引き続き誠実かつ適切に対応するよう、事業主に要望する。また、今後の地域説明会及び本施設の操業開始後に地域から寄せられる意見・要望についても、関係機関等と連携・協力しながら、本施設を運営する管理会社等において誠実かつ適切に対応するよう要望する。

事業主：葛飾特定目的会社
計画業務受託者：株式会社 F・E・C
企画設計：ラン株式会社一級建築士事務所

(仮称) 葛飾区奥戸物流施設計画について (報告)

1 施設について

- (1) 施設名称 : CBRE IM 葛飾
- (2) 竣工日 : 2026 年 9 月 30 日
- (3) 施設概要 : 別添 1 のとおり
- (4) 稼働時期 : 倉庫棟 1 階テナントが本年 11 月から稼働開始予定

2 地域貢献棟について

- (1) 地域貢献施設の名称 : 「オクド BASE」
- (2) 運営方法等 : 1 階 防災備蓄倉庫
2 階 OkuDoor(別添 2「OkuDoor の案内ちらし」のとおりに
※利用方法等の詳細は調整中です。

3 竣工後の問合せ窓口について

- (1) 管理会社 : PM (プロパティマネジメント会社) : ジョーンズ ラング ラサール株式会社
: BM (ビルメンテナンス会社) 株式会社ビケンテクノ

※なお、各種問い合わせ等については、現地「防災センター」において対応を行う予定である。

9/2 現在、電話番号未決定(番号取得後、Google マップ等に掲載して周知予定)

4 交通影響評価・安全対策について

別添 3 2026 年 10 月付「車両運行計画及び入出庫開口部における安全対策について」のとおりに

※最終的な交通量計画は当初計画から変わる見込みはありません。

5 地域への周知について

- ・奥戸連合町会、計画地近傍近隣住民(奥戸 1・2 丁目)、南奥戸小学校を対象に地域説明会を実施する。
(10 月内を予定) 別添 4 説明会周知文案 参照
- ・上小松町会・上小松小学校等の関係者に対しては、地域説明会終了後の日程にて、調整の上、説明を実施する。

以上

2026年10月

(仮称) 葛飾区奥戸物流施設計画

1 プロジェクト概要

事業所在地： 東京都葛飾区奥戸1丁目29他（森永乳業工場跡地）
工事期間（予定）： 2024年11月～2026年9月[工事完了]
事業区域の面積： 69,044.53㎡

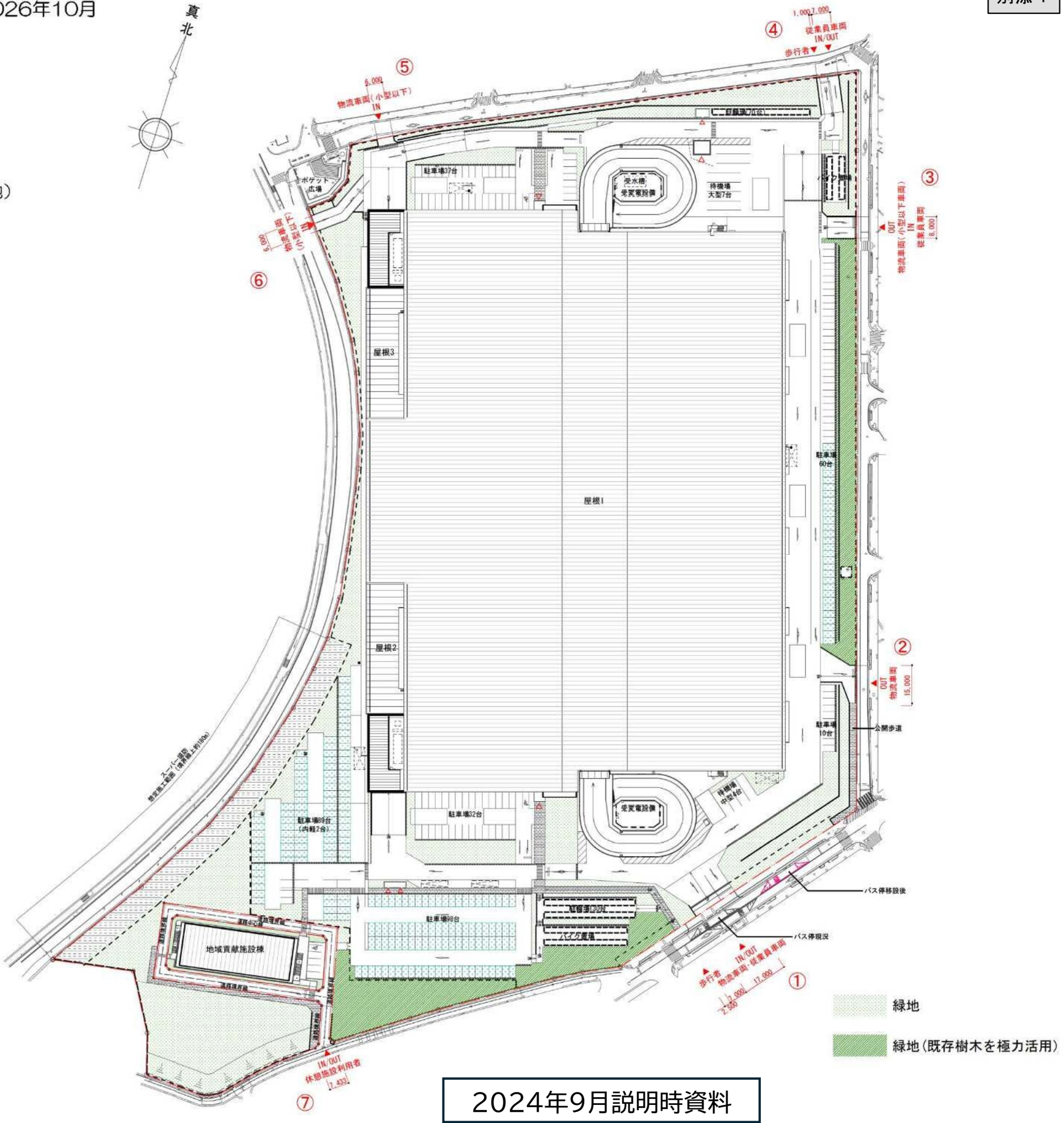
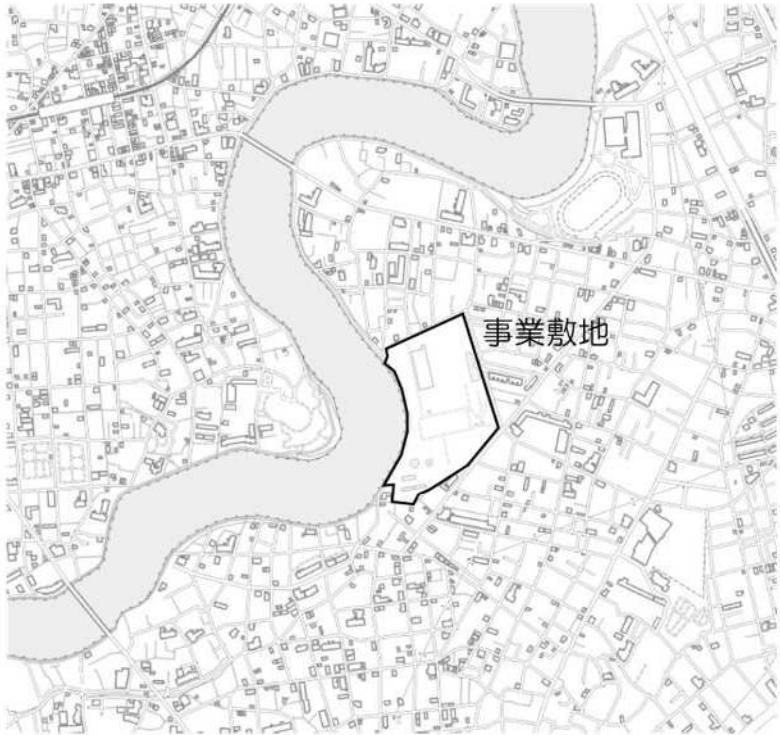
2 建築概要

【倉庫棟】

用途： 倉庫業を営む倉庫（マルチテナント型）
延べ面積： 167,016.40㎡
建築面積： 35,784.32㎡
階数： 地上5階
構造： 鉄骨造
最高高さ： 35.86m

【地域貢献施設棟】

用途： 飲食店・防災備蓄倉庫 等
延べ面積： 998.78㎡
建築面積： 776.32㎡
階数： 地上2階
構造： 鉄骨造
最高高さ： 9.08m



2024年9月説明時資料
配置図

Open the Door, smiles are always in full bloom 🐼

ドアを開けると、いつもそこには笑顔が咲きほこる

OkuDoor

オ ク ド ア

食べる・働く・学ぶ・つながる 地域 みんなでつくる笑顔あふれる拠点

地域の人たちが気軽に集い、交流し、新しいアイデアが生まれるコミュニティ拠点です。OkuDoorは、今までの歴史を大切にしながら未来への時を刻む空間と豊かな心をはぐくむ場所を、地域の方と共に創っていくという想いを込めた名称です。



OkuDoorでできること



食べる

たべるラボ・
カフェラウンジ



地域の食材を活かしたおいしいごはんやドリンクを楽しめます。



働く

はたらくラボ



コワーキングや会議室をご用意。リモートワークや打ち合わせに利用いただけます。



学ぶ

ワークショップ・
セミナー



子どもから大人まで学べるワークショップやセミナーを開催します。



つながる

イベントスペース



地域のイベントや交流会など、人と人がつながる場になります。

1F OkuDoor

・ひろば
地域のイベントやマルシェなどを開催する開放的な場所



2F OkuDoor

・たべるラボ
・はたらくラボ
・テラス
・カフェラウンジ
・イベントスペース



どなたでもお気軽にご利用いただけます！

☑ ご家族で ☑ お子さま連れで ☑ 学生さんも ☑ お仕事帰りに ☑ イベント参加也大歓迎！

施設のご案内



CBRE IM 葛飾 オクドBASE 内

名称 : OkuDoor (オクドア)
住所 : 東京都葛飾区奥戸 1-23-1
開業予定日: 2026年11月10日
営業時間: 10時~16時 (調整中)



OkuDoorが目指すこと

- 地域の人たちが交流する場所づくり
- 奥戸の人が親しみを持ってくれる場所づくり
- 地域と人の歴史を刻む場所づくり
- 奥戸ブランド作りの拠点
- 葛飾企業の事業が繁栄するイベント開催を通じて地域の方の笑顔作りをしていきます。

参加無料
一部有料コンテ
ンツあり

オープニングイベント開催予定！

2026年11月15日 (日) 10:00~16:00



移動動物園



キッチンカー



ワークショップ



倉庫棟ツアー



OkuDoorツアー

楽しい企画が盛りだくさん！みなさまのご来場をお待ちしています！

※内容は変更になる場合があります。

お問合せ

OkuDoor / オクドア

東京都葛飾区奥戸 1-23-1

info@okudoor.com

03-5654-9102 / 090-5512-7335

https://www.okudoor.com (開設準備中)



会社案内につきましてはQRコードより詳細をご覧ください。



2026年10月

車両運行計画及び入出庫開口部における安全対策について

1 車両運行計画、交通影響評価

(1) 本計画施設を利用する車両総台数の設定

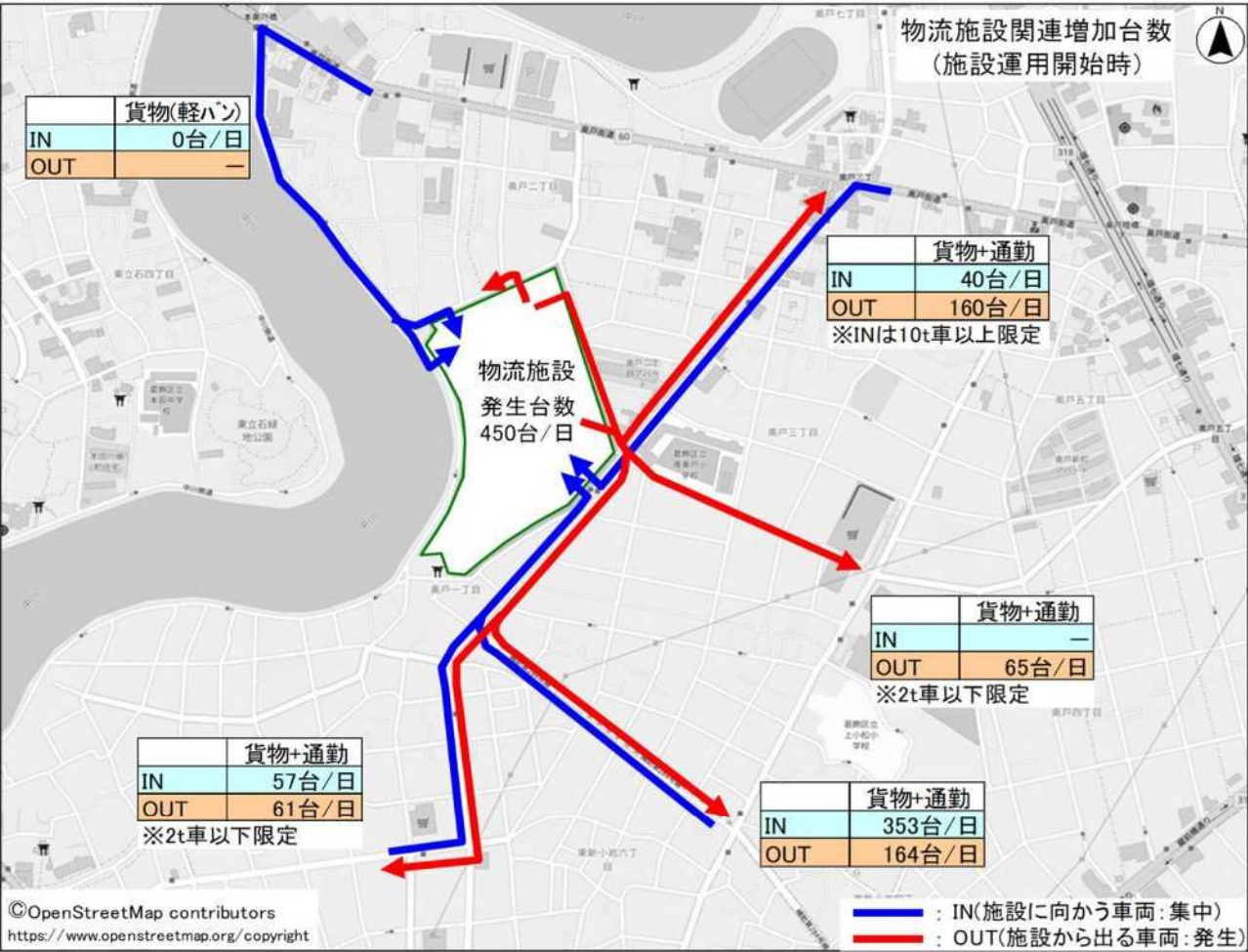
本施設からの発生交通量:450台/日×2→発生集中交通量:900台/日

※記載の車両運行台数は、倉庫運用開始段階(2026/11)時点における、契約企業分としてのものになります。

発生交通量	貨物車	通勤車	合計
全車種合計	420台/日	30台/日	450台/日

(2) 本計画施設を利用する車両入出庫経路の設定

経路は一カ所集中ではなく、渋滞を発生させないように分散される経路を設定しました。



(3) 周辺交通への影響評価

本計画施設を利用する車両の運行経路として設定した主要な交差点について、各交差点の将来ピーク時交通量に、施設関連増加交通量が交差点毎で最大となる時間帯の発生集中交通量を加え、解析及び評価を行いました。

交通を分散させた経路を設定した結果、各信号交差点の評価は、全て渋滞が発生しないとされる交通容量比の指標値が1.00を下回りました。

本計画の増加交通量によって各交差点で慢性的な渋滞の発生はなく、現況の信号制御及び車線構成で交通処理が可能となっていますので、交通規制の変更等は行わない予定でおりますが、開口部周辺等の安全対策については、適切に実施していく予定です。

2 入出庫開口部における安全対策

入出庫開口部周辺等の安全対策を以下のとおり、実施していく予定です。



■開口部 ① (南面)

- ・車両入出庫開口部 幅17.0m
- ・倉庫テナント事業者 通勤車両 車種 普通乗用車
- ・倉庫テナント事業者 運行車両 車種 全車種
- ・安全管理対策として警報設備、カーブミラーを設置
- ・警備員を配置します(運用時)

■開口部 ② (東面) [前回記載 警備員配置を削除。出庫台数が少ないことから、運用開始段階において再調整実施のため]

- ・車両出庫専用開口部 幅15.0m
- ・倉庫テナント事業者 運行車両 車種 全車種
- ・安全管理対策として警報設備、カーブミラーを設置

■開口部 ③ (北東面1)

- ・車両入出庫開口部 幅8.0m
- ・倉庫テナント事業者 通勤車両 車種 普通乗用車
- ・倉庫テナント事業者 運行車両 車種 2.0t車以下
- ・安全管理対策として警報設備、カーブミラーを設置
- ・利用制限や警備員の配置については運用(テナント事業者確定)段階で計画

■開口部 ④ (北東面2)

- ・車両入出庫開口部 幅6.0m
- ・倉庫テナント事業者 通勤車両専用 車種 普通乗用車
- ・安全管理対策として警報設備、カーブミラーを設置
- ・利用制限や警備員の配置については運用(テナント事業者確定)段階で計画

■開口部 ⑤、⑥ (北西、西面) [前回記載 警報、カーブミラーの設置を削除。今後使用計画により検討致します。]

- ・車両入庫専用開口部 幅6.0m
- ・倉庫テナント事業者 運行車両 車種 2.0t車以下
- ・利用制限や警備員の配置については運用(テナント事業者確定)段階で計画

■開口部 ⑦ (地域貢献施設棟 専用)

- ・車両入出庫開口部 幅4.0m
- ・地域貢献施設棟 利用車両及び関係車両(テナント) 車種 2.0t車以下
- ・安全管理対策として警報設備、カーブミラーを設置

2026年10月

ご近隣の皆様へ

事業主：葛飾特定目的会社
 計画業務受託者：株式会社 F・E・C
 企画設計：ラン株式会社一級建築士事務所

(仮称)葛飾区奥戸物流施設計画についてのご案内

謹啓 時下ますますご清祥のことと存じ上げます。

表記計画工事では大変お世話になっております。

今般、表記計画に於ける現時点での交通計画等につきまして、説明会を開催致しますので、ご案内致します。

本件につきまして、お問合せがございましたら、下記連絡先担当あてにご連絡を賜りますよう、お願い申し上げます。

謹 白

記

【説明会】

日時場所：2026年10月 ●日(●)19:00~20:30

葛飾区奥戸総合スポーツセンター 温水プール館 第一会議室

葛飾区高砂一丁目2番1号 **温水プール館2階**（地図中◎説明会場）

※体育館会議室ではございませんので、ご注意ください。

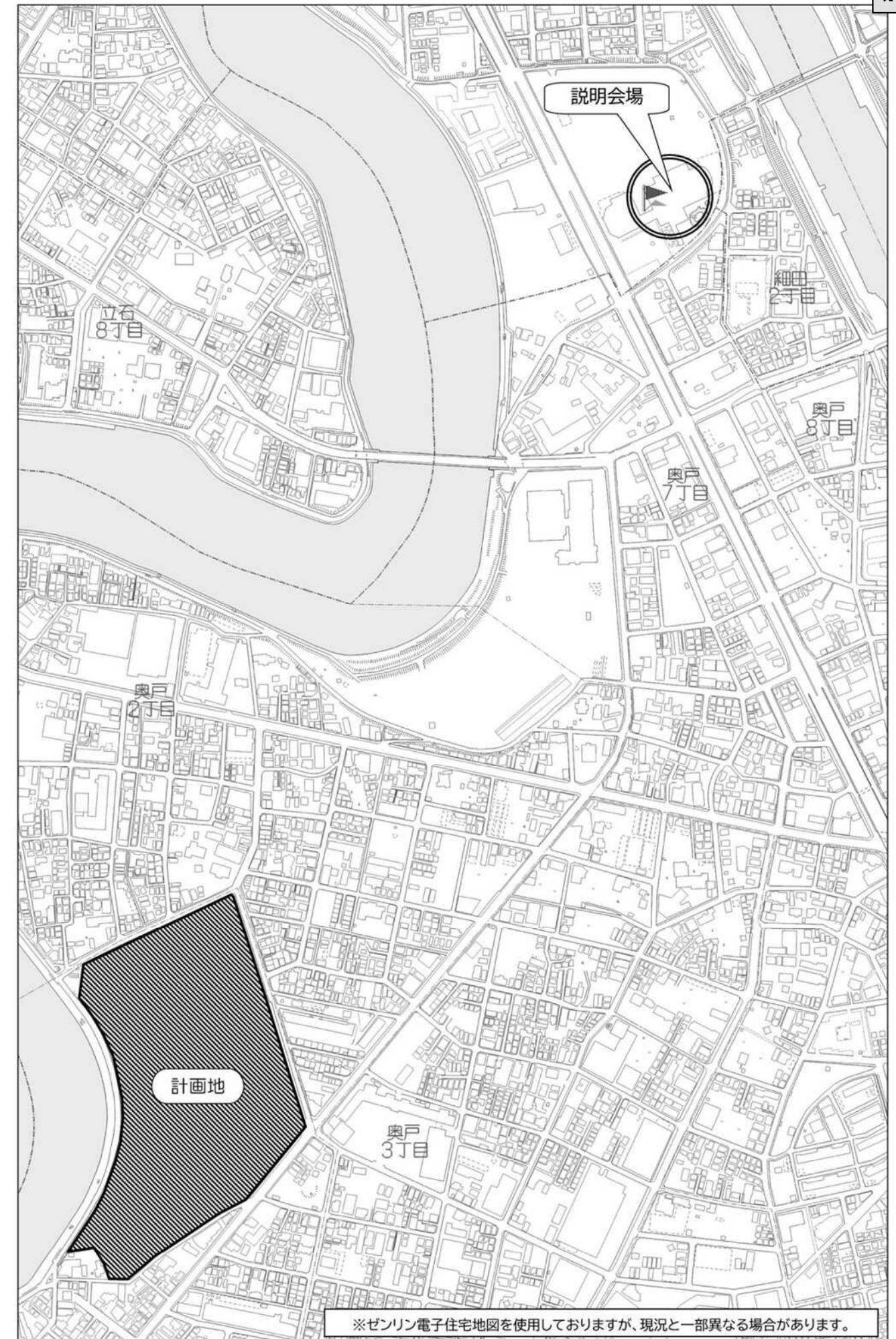
【説明内容】 現時点での施設運営計画(交通量及び安全対策)について

【連絡先】 東京都杉並区高円寺北二丁目3番1号

ラン株式会社一級建築士事務所 担当：柊澤、野澤

電話 03-5327-3981

以 上



(案)

葛飾特定目的会社 御中

葛飾区長 青木 克徳

(仮称) 葛飾区奥戸物流施設の操業開始後における連携・協力に関する要望書

貴社におかれましては、葛飾区奥戸物流施設（以下「本施設」という。）の建設に当たり、区及び近隣自治町会等から寄せられた意見・要望に対し、真摯に御対応いただき、厚く御礼申し上げます。

今後、本施設の操業が予定されておりますが、操業開始後も、下記に掲げる事項について、引き続き、関係機関等と連携・協力しながら、地域との調和に配慮した施設運営に努めていただくよう要望いたします。

記

- 1 次に掲げる要望事項について、本施設を運営する管理会社等に適切に引き継ぎ、本施設の操業開始後も引き続き、誠実かつ適切に対応すること。
 - (1) これまで区及び近隣自治町会等が提出した次に掲げる要望
 - ア 森永乳業株式会社東京工場の操業停止に伴う今後の土地利用について（令和3年11月17日付け）
 - イ 奥戸一丁目町会、奥戸二丁目町会、奥戸町会からの要望書（令和3年12月吉日付け）
 - ウ 森永乳業株式会社東京工場跡地の土地利用について（令和4年1月12日付け）
 - エ （仮称）葛飾区奥戸物流施設地域貢献棟の利用に関する要望書（令和7年10月17日付け）
 - (2) 前号に掲げる要望のほか、排気ガス対策、夜間照明への配慮、地域雇用の促進その他の地域説明会等を通じて寄せられた意見・要望
- 2 本施設の操業開始後に寄せられる意見・要望についても、関係機関等と連携・協力しながら、本施設を運営する管理会社等と共に、誠実かつ適切に対応すること。

以上

問合わせ先

葛飾区政策経営部政策企画課企画担当係
担当 真田・鳥海

電話 03-5654-8143（直通）

3 葛政政第 5 2 9 号
令和 3 年 1 1 月 1 7 日

森永乳業株式会社
代表取締役社長 大貫 陽一 殿

葛飾区長 青木克徳



森永乳業株式会社東京工場の操業停止に伴う今後の土地利用について

平素より、本区のまちづくりにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴社東京工場の操業停止に伴い、これまでに貴社管財グループの方々との定期的な会合により情報交換を進めてまいりました。当該土地は、本区の都市計画マスタープランにおいて、水辺の賑わい・交流ベルトに位置するとともに、浸水対応型市街地構想を実現し、強靱な市街地を形成していくための貴重な資源であると考えております。これまで、公有地の拡大の推進に関する法律の趣旨に基づき、購入希望の意思等についてご提案させていただいたところであります。

区としましては、引き続き、取得に向け、貴社との協議を進めたいと考えておりますが、今後、当該工場跡地を貴社が新たな用途で利用をされる際には、以下の事項にご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。また、売却される場合は、以下の事項を土地購入者に承継いただけますようお願いいたします。

記

1. 当該工場跡地東側の、都市計画道路補助 281 号線の整備に支障とならない土地利用とすること。
2. 開発などを進める場合は、周辺生活道路ネットワークの改善に向け協議をするとともに、区の要請などに協力すること。
3. 中川沿川における治水安全度の向上のため、沿川市街地の高台化として東京都スーパー堤防事業に協力すること。
4. 都市計画法の規定に基づく開発行為を行う場合は、「葛飾区宅地開発指導要綱」を遵守すること。
5. 開発行為に当たらない場合においても、葛飾区宅地開発指導要綱第 8 条に規定する面積と同等のオープンスペースの確保に努めること。

6. 中高層集合住宅等を建設する場合は、「葛飾区中高層集合住宅等建設指導要綱」を遵守すること。
7. 大規模な住宅開発を行う場合は、良好な教育環境を確保するため、速やかに協議をするとともに、区の要請などに協力すること。
8. 葛飾区基本計画（令和3年8月策定）において、葛飾・夢と誇りのプロジェクトに位置付けている危機対応力向上プロジェクト（浸水対応型市街地構想の実現など）、「ゼロエミッションかつしか」実現プロジェクト（ZEB、ZEHの推進など）に協力すること。
9. 造成工事や工事完了後の事業の実施あたっては、車両の出入りなどについて、警視庁など関係機関と速やかに協議を進めるとともに、地域住民への説明会の実施などにより合意形成を図ること。特に、当該地の周辺は、閑静な住宅地であり、交通量の大幅な増加とならないように努めるとともに、必要な対策を行うこと。

問合せ先

葛飾区政策経営部政策企画課企画担当係
担当 櫻井

電話 03-5654-8143（直通）
（内線）2014

森永乳業株式会社 様
三菱東京UFJ信託銀行 様

要望書

貴社に於かれましては時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、奥戸一丁目の森永乳業東京工場は今年3月末日をもって操業が停止され、その後工場跡地の利活用を貴社に於いて検討されてきたものと認識しています。

森永乳業東京工場は64年の長きにわたって、地元町会に対して「地域還元」を行って頂きました。夏の工場開放や盆踊り、秋の奥戸天祖神社大祭への多大なご協力など、周辺地域は工場と共に在り、工場と共に発展して参りました。一方で、地元町会としても、住民に対して森永製品の積極的購入を勧奨するなど、できる限りの協力をして参りました。

工場の操業停止が決まった際、葛飾区がいち早く、工場跡地の取得の意思を表明したのも、地元町会や周辺地域の継続的發展を念頭に置いたからに他なりません。

貴社に於かれましては、工場跡地の利活用について、引き続き地元町会や周辺地域の發展や、安心・安全に資することを念頭にご対応頂きますよう、お願い申し上げます。

つきましては、以下の六点を要望致します。

- 1, 工場跡地の新施設整備については、葛飾区および奥戸一丁目町会・奥戸二丁目町会・奥戸町会（以下、地元三町会という）に対し、可及的速やかに情報提供をお願いします。
- 2, 前項を達成するため、新施設整備に関して、葛飾区および地元三町会に対する説明の機会を設けて頂きますようお願い致します。
- 3, 工場跡地の新施設に於いては、葛飾区および地元三町会の發展に資する内容として頂くようお願い致します。
- 4, 前項を達成するため、新施設の一部を、緑地・公園・児童遊園・コミュニティ施設など地域住民が利用できるスペースとして整備されるよう要望します。
- 5, 工場跡地は区立南奥戸小学校に相對することから、新施設整備にあたっては児童・学校関係者の安全に特段の配慮をお願いします。
- 6, 前項を達成するため、警視庁および葛飾区との緊密な連携・連絡をお願いします。

以上

奥戸一丁目町
会長

奥戸二丁目町
会長

奥戸町会
会長

3 葛政政第630号

令和4年1月12日

森永乳業株式会社

代表取締役社長 大貫 陽一 殿

葛飾区長 青木 克徳



森永乳業株式会社東京工場跡地の土地利用について

平素より、本区のまちづくりにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴社東京工場の操業停止に伴い、建物解体等のスケジュールが示されるなど、同敷地の売却に向けた取組が進んでいるものと認識しております。

区では、これまでも貴社と協議を進めてまいりましたが、同敷地の売却にむけた手続きが大詰めを迎える中で、地元区民からも当該地域の住環境確保等の観点から、様々な声が寄せられております。

本区といたしましては、区民及び関係事業者等と連携・協働して、当該地域の住環境のさらなる向上に向けたまちづくりを進めていきたいと考えております。敷地を売却される場合には、以下の事項を改めて確実に土地購入者にお伝えいただくとともに、売却先が決定した際には、早急に本区及び敷地周辺地域住民と真摯で綿密な協議を実施するよう、購入者への確実な引継ぎをお願いいたします。

記

1. 当該敷地の土地利用については、地域の住環境に最大限配慮した計画とすること。また、土地利用計画については、早期に情報提供すること。
2. 造成工事や工事完了後の事業の実施にあたっては、車両の出入りなどについて、警視庁など関係機関と速やかに協議を進めるとともに、地域住民への説明会の実施などにより合意形成を図ること。特に、当該地の周辺は、閑静な住宅地であることや小学校が近接していることから、交通量の大幅な増加と

ならないように努めるとともに、騒音、振動、安全対策のほか、夜間や休日の交通量抑制など、必要な対策（施設の出入りに関わる乗入れ等の交差点からの離隔の確保、左折イン・左折アウト、専用左折レーンの設置、時間帯による規制等）を行うこと。

3. 当該敷地の土地利用に伴う車両等交通計画については、現在整備を進めている補助 284 号線の設計時における交通量や大型車混入率の推計値（4,700 台/日、15%）を尊重すること。
4. 当該敷地東側の、都市計画道路補助 281 号線の整備に支障とならない土地利用とすること。
5. 開発などを進める場合は、周辺生活道路ネットワークの改善に向け、区や警視庁等の関係機関と協議をするとともに、区の要請などに協力すること。
6. 中川沿川における治水安全度の向上のため、沿川市街地の高台化として東京都スーパー堤防事業に協力すること。
7. 都市計画法の規定に基づく開発行為を行う場合は、「葛飾区宅地開発指導要綱」を遵守すること。
8. 開発行為にあたらなない場合においても、葛飾区宅地開発指導要綱第 8 条に規定する面積と同等のオープンスペースの確保に努めること。
9. 中高層集合住宅等を建設する場合は、「葛飾区中高層集合住宅等建設指導要綱」を遵守すること。
10. 大規模な住宅開発を行う場合は、良好な教育環境を確保するため、速やかに協議をするとともに、区の要請などに協力すること。
11. 葛飾区基本計画（令和 3 年 8 月策定）において、葛飾・夢と誇りのプロジェクトに位置付けている危機対応力向上プロジェクト（浸水対応型市街地構想の実現など）、「ゼロエミッションかつしか」実現プロジェクト（ZEB、ZEH の推進など）に協力すること。

問合せ先

葛飾区政策経営部政策企画課企画担当係

担当 櫻井

電話 03-5654-8143（直通）

要 望 書

令和7年10月17日

葛飾特定目的会社 御中

奥戸地区町会連合会会長

要望内容 （仮称）葛飾区奥戸物流施設地域貢献棟の利用に関する要望書

清秋の候、ますますご清祥のことと存じます。

さて、標題の件、奥戸地区町会連合会として、当該施設の利用等を要望するものです。現在、奥戸地区にある各町会は、いずれの町会も自治会館を所有しておりません。地区町会活動の連携と活性化や奥戸地域防災会議、盆踊りの共同開催、火災世帯等の一時避難所等の課題を解決していくためには、奥戸地区町会連合会として、当該施設を利用することが必要と考えております。つきましては、地域貢献棟の一部利用について、下記のとおり要望いたしますのでご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

要望1：奥戸地区町会連合会用多目的ホール（定員約100名程度）の設置。
（これに伴う付属品も含む）

要望2：和室（12畳程度）の設置。（これに伴う付属品も含む）

要望3：倉庫（30㎡程度）の設置。

要望4：電気・ガス・水道・トイレ・シャワーの敷設。

以上

一般庶務報告No. 3
都 市 整 備 部
令和8年9月17日

堀切地区の街づくりについて

街づくり推進担当課

1 概 要

本区では、平成26年から堀切二丁目周辺及び四丁目地区における防災まちづくりを進め、堀切地区まちづくり推進協議会（以下、「協議会」という。）との協働により、住民主体のまちづくりを支援してきた。

令和4年3月に、協議会から「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」の提案を受けたことを契機に、ハード・ソフト両面からの取組へと展開を図っている。これまで、地域の権利者や住民の方々との検討会やアンケート調査などを重ね、「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり計画（たたき台）」の作成をはじめとする意見交換を進めてきた。

そこで、本計画の周知・合意形成に向けたイベントや説明会、地区内権利者による検討会などのスケジュールが決まったため、報告する。

今後も、協議会との連携により、駅周辺地区の将来像である「下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり」の実現に向け、地域住民や関係機関とともに取組を推進していく。

2 堀切菖蒲園駅周辺まちづくり計画（たたき台）について

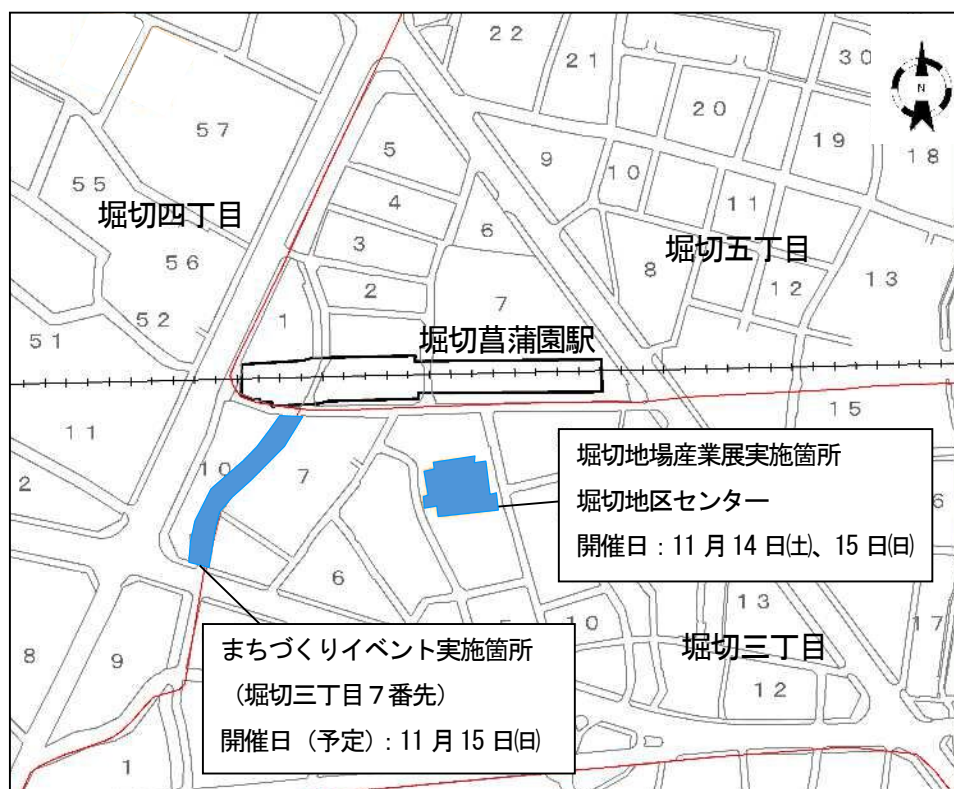
【資料1】のとおり

3 取組のスケジュール等

(1) 「堀切菖蒲園駅周辺まちづくりイベント」(堀切地場産業展と同時開催)

- ・名 称：「ほりきり みらい ストリート (仮称)」
- ・開催日時：令和8年11月15日(日) 午前10時から午後4時まで
- ・開催場所：【案内図】のとおり
- ・開催内容：地域の賑わい創出等に向けた社会実験を実施し、当地区のまちづくりに対する関心を高め、地域が一体となった機運醸成を図る。
- ・開催目的：地域住民、事業者等の多様な主体の交流を促進し、まちづくりへの参加意欲を一層高めるとともに、来場者から広く意見を収集する。

【案内図】



(2) 「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり計画（案）説明会」

- ・開催日時：令和8年12月6日（日）午前10時から
- ・開催場所：堀切地区センター 3Fホール
- ・開催内容：堀切地区を対象にして駅周辺まちづくり計画（案）の内容に関する説明会を開催する。
- ・開催目的：駅周辺まちづくりイベント等で把握した意見を踏まえ、計画案に対する地域住民の理解を深める。

(3) まちづくり検討会及びまちづくり勉強会の開催

- ・開催日時：令和9年1月（検討会）、2月（勉強会）
- ・開催場所：堀切地区センター
- ・開催内容：地区内権利者を主体とした検討会及び勉強会を開催する。
- ・開催目的：地区内権利者との協議を通じ、まちづくりの検討を行う。

堀切菖蒲園駅周辺まちづくり計画（たたき台）

■地区の将来像

下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり

災害に強いまちづくりを着実に進めつつ、堀切菖蒲園駅周辺地区のまちの特性を生かし、下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくりを推進するため、3つの取組方針を設定します。

「災害時の安全安心の確保に向けた**防災の取組**」「暮らしやすさや地域の魅力を向上させる**日常の取組**」の両立を図りながら、将来像の実現に向けてまちづくりを推進します。

【課題】

安全・安心なまちに
向けた防災性の向上

歩いて楽しめる環境の
向上、まちの魅力向上

まちづくりへの参画と
持続的な担い手の育成

方針1
ハード・ソフト
両面からの防災
まちづくり

防災の取組
安全安心の確保

方針2
誰もが安全に
歩いて楽しみ、
快適に暮らせる
環境づくり

日常の取組
暮らしやすさ・地域の魅力向上

方針3
多様な主体の参加
による賑わいと
活力ある持続可能
なまちづくり

相乗効果

地区の将来像の実現

方針1
ハード・ソフト両面からの
防災まちづくり

燃えない・燃え広がらないまちに
向けた建築物の建替えや安全な避難
路の確保等とともに、防災活動の支
援により災害時の消火や救助活動等
の担い手確保につなげるなど、ハー
ド・ソフト両面からの防災まちづ
りを進める。

方針2
誰もが安全に歩いて楽しみ、
快適に暮らせる環境づくり

建替えルールを活用した一体的な道路
状空間の創出や歩行環境の改善により、
駅から安全に楽しめる歩行ネットワー
クを確保するとともに、不燃化建替えに伴
う建築物の省エネルギー化や細街路の拡
幅により、快適に暮らせる環境づくりを
進める。

方針3
多様な主体の参加による賑わいと
活力ある持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりに向けて、
多様な主体との連携により地域課題
の解決や魅力向上を図る仕組みや、
公共空間の活用促進など、人々がま
ちづくりに参画し交流できる環境づ
くりを進め、互いに支え合うまちを
目指す。

防災街区整備地区計画、
不燃化促進、建築物の共同化

■対象：駅周辺地区

- 避難路の位置づけや建築物
の防火規制、敷地面積の最
低限度など
- 建築物の耐震化・不燃化建
替えや老朽建築物の除却へ
の助成など
- 共同建替えによる防災性の
向上や広場空間の創出など

街並み誘導型地区計画、
細街路拡幅整備事業

■対象：景観づくりゾーン（街並み誘導型地区計画）

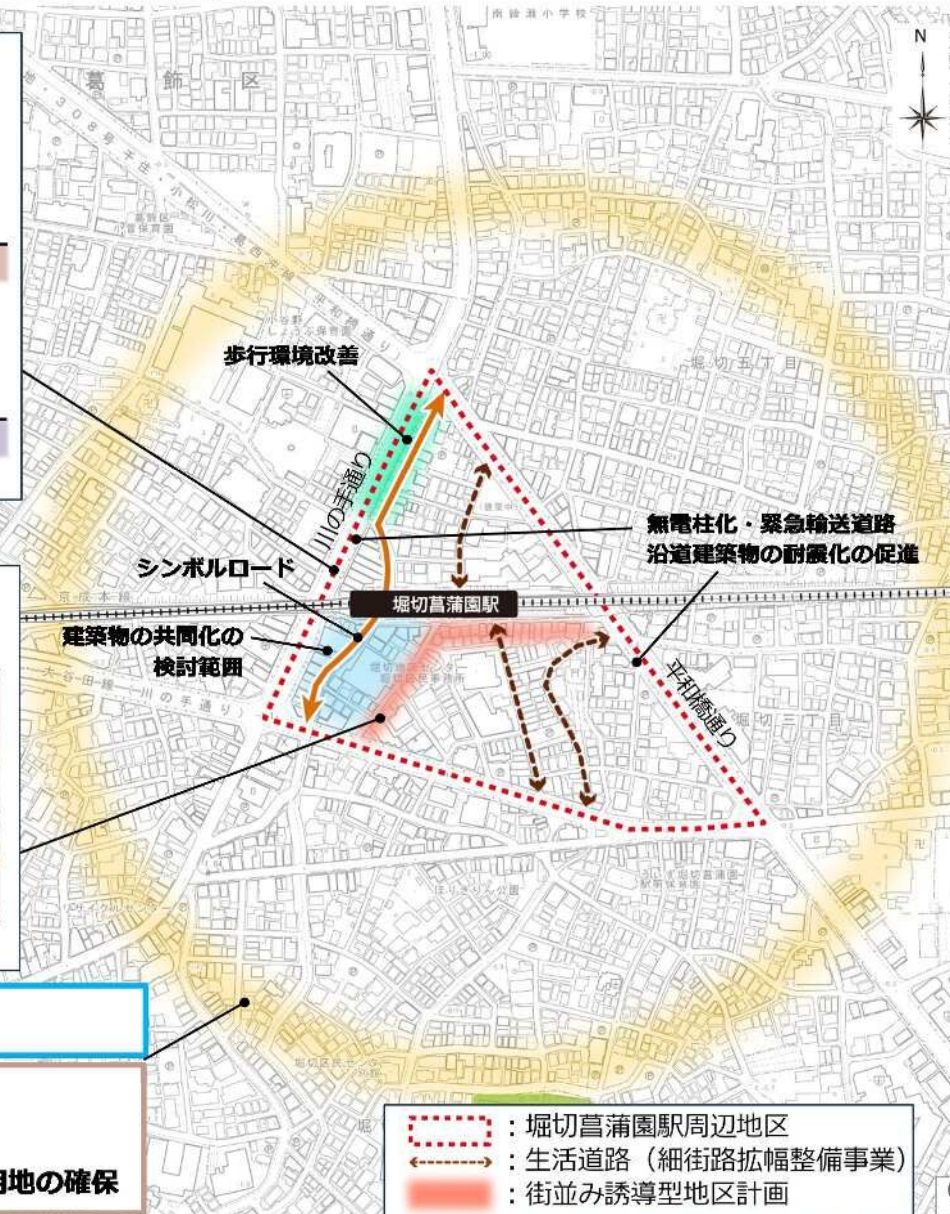
- 一定条件下で道路斜線を緩
和し、限られた道路幅員で
の建替えの誘導や壁面後退
により、道路状空地の創出
と沿道の建築物の建替えを
一体的に推進
- 建替え等に合わせて最低限の道路幅員を確保



防災意識の啓発活動

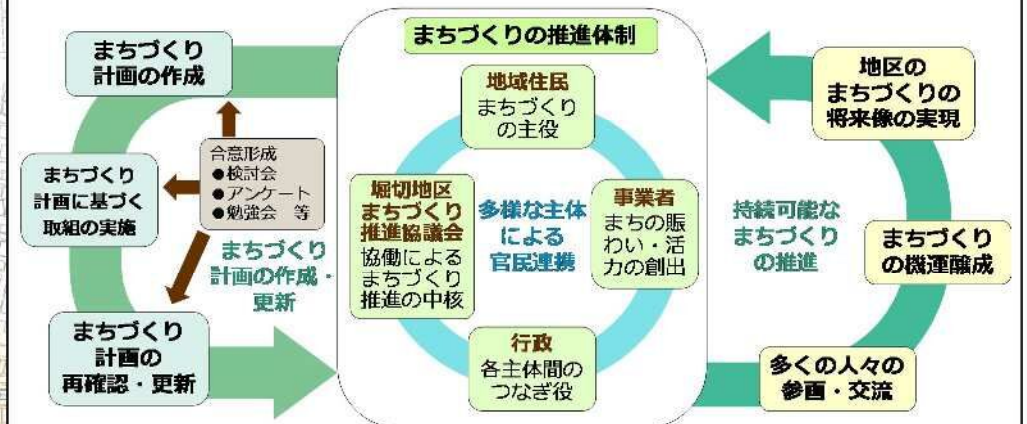
その他の取組

- まちづくり活動の促進
- 地域の魅力向上・発信
- まちづくりの担い手育成
- バス・タクシー乗り場・用地の確保



まちづくりの推進に向けて

多様な主体が連携し、地域住民や事業者、行政等がそれぞれの役割や特性を生かしながら、まちづくりに取り組む。また、まちづくり活動を通じてまちづくりの機運を高め、時代に応じた計画の再確認や更新を行う。



住民主体のまちづくり推進体制の構築

■対象：堀切地区全域

広場空間の創出など地域課題
の解決となり、かつ誰でも気軽
に参加できる仕組みづくりによ
り、地域課題を解決しつつ地域
交流の推進や仲間づくりを推進



一般庶務報告No. 4
都 市 整 備 部
令和8年9月17日

J R金町駅南北自由通路整備について

金町街づくり担当課

1 概要

J R金町駅の南北自由通路整備に向けては、令和7年度にJ R東日本と協定締結し、J R東日本に「J R金町駅南北自由通路整備に伴う調査（その2）」を委託している。本調査においては、現在、地上案及び橋上案について、将来の開発需要を見据えた交通量に対する自由通路幅員などの諸元や、鉄道施設との干渉、駅前広場形状を踏まえた自由通路整備位置の検討を進めているところである。

今般、本調査を通じ、区とJ R東日本の協議を進める中で、J R敷地活用の可能性を含む新たな地上案の検討が可能となったことから、追加検討を行いたいため、今後の調査検討の見通しについて報告を行う。

2 これまでの検討経緯と今後の見通し

平成24年度～ ：区による自主検討

令和6年度～ ：J R金町駅南北自由通路整備に伴う調査の実施に関する協定締結
J R東日本による調査の実施

令和10年度以降：基本協定の締結

3 新たな地上案

区とJ R東日本で協議を進める中で、J R敷地活用の可能性を含む南口付近の街づくり検討の幅が広がり得る新たな地上案（西側地上案）の検討が可能となった。

本案は、これまでの検討案と比較して、①南口駅前広場の再編や滞留空間の改善可能性、②開発が進む北口西側地区との接続性、③京成線との乗換利便性などの観点で、優位性が高くなる可能性があるものと考えている。

については、協定変更を行い、新たな地上案を含めて検討を進めていきたい。追加

検討にかかる費用と期間の見通しは以下のとおりである。なお、追加検討費用については、令和8年第4回区議会定例会補正予算案に計上する予定である。

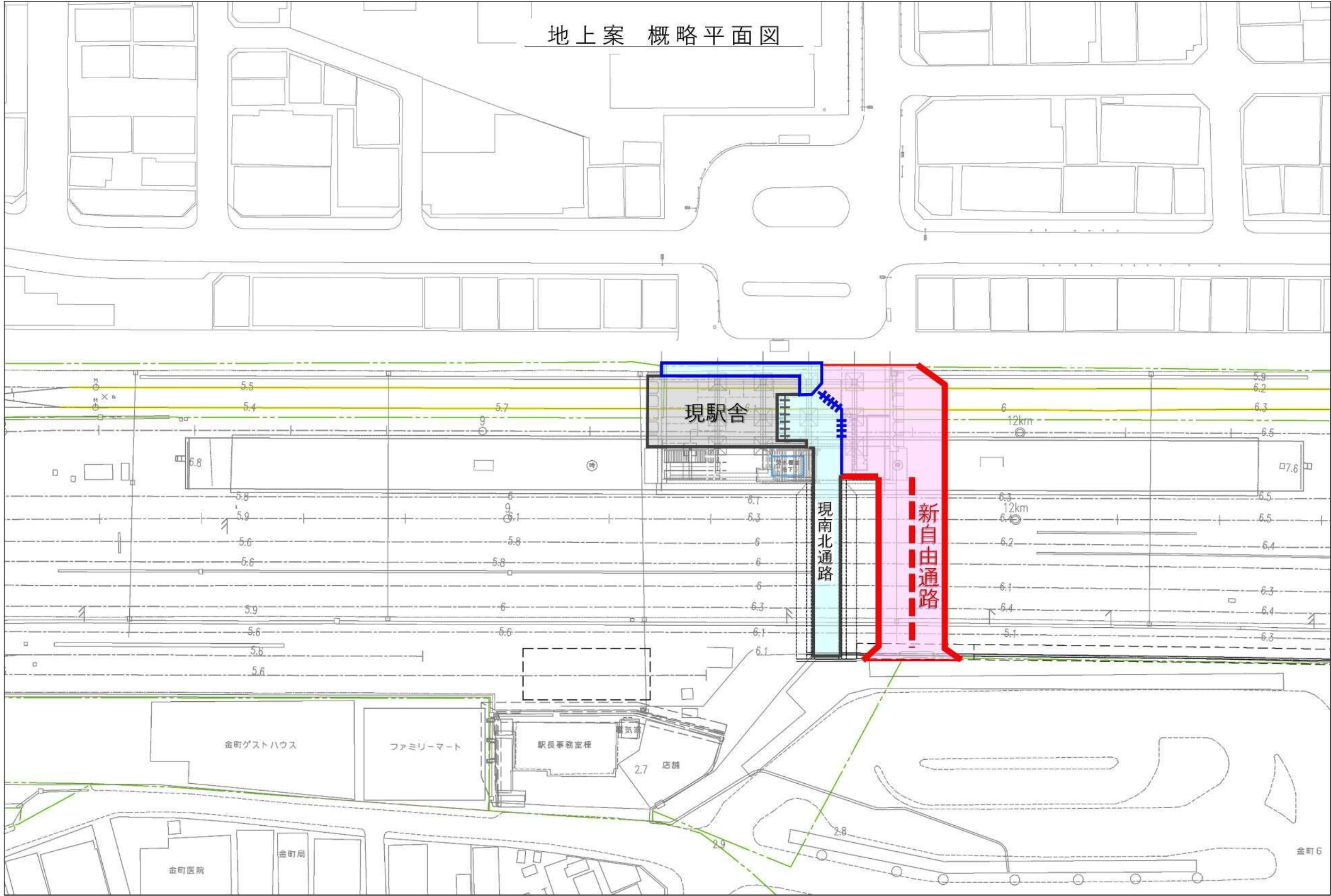
項目	現協定	変更協定案
内容	既存の地上案及び橋上案に対する (1) 施設計画 (2) 施工計画 (3) 概算工事費及び概略工期算出	左記に加え、 <u>西側地上案</u> の検討
金額	104,104千円	150,920千円 (+46,816千円)
工期	R 7 年 4 月 1 日～R 9 年 3 月 31 日	R 7 年 4 月 1 日～ <u>R10年3月31日</u>

4 既存2案（地上案と橋上案）と新たな地上案の概要

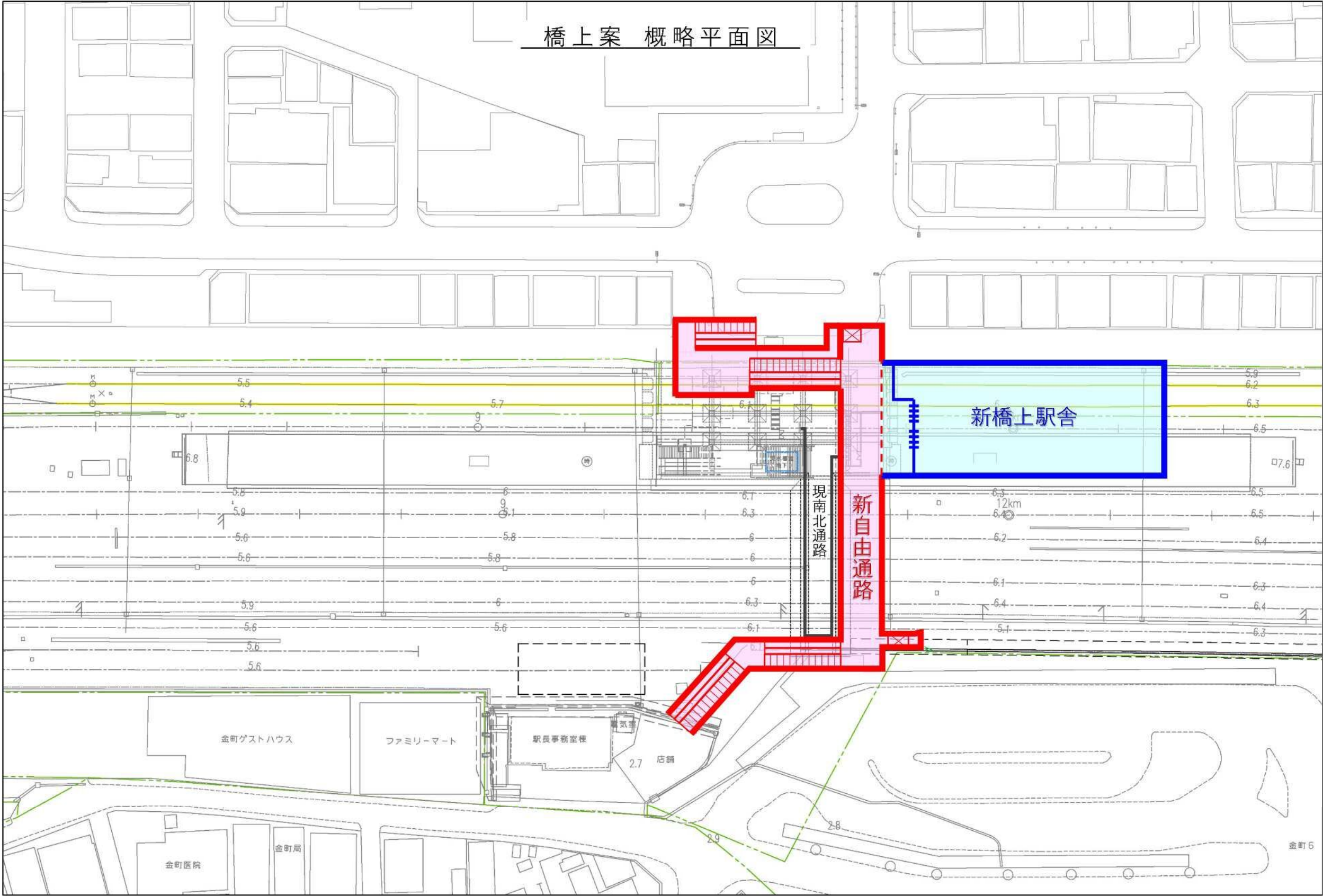
【資料1】平面図

※西側地上案は今後検討するものであり、記載内容は現時点の想定による

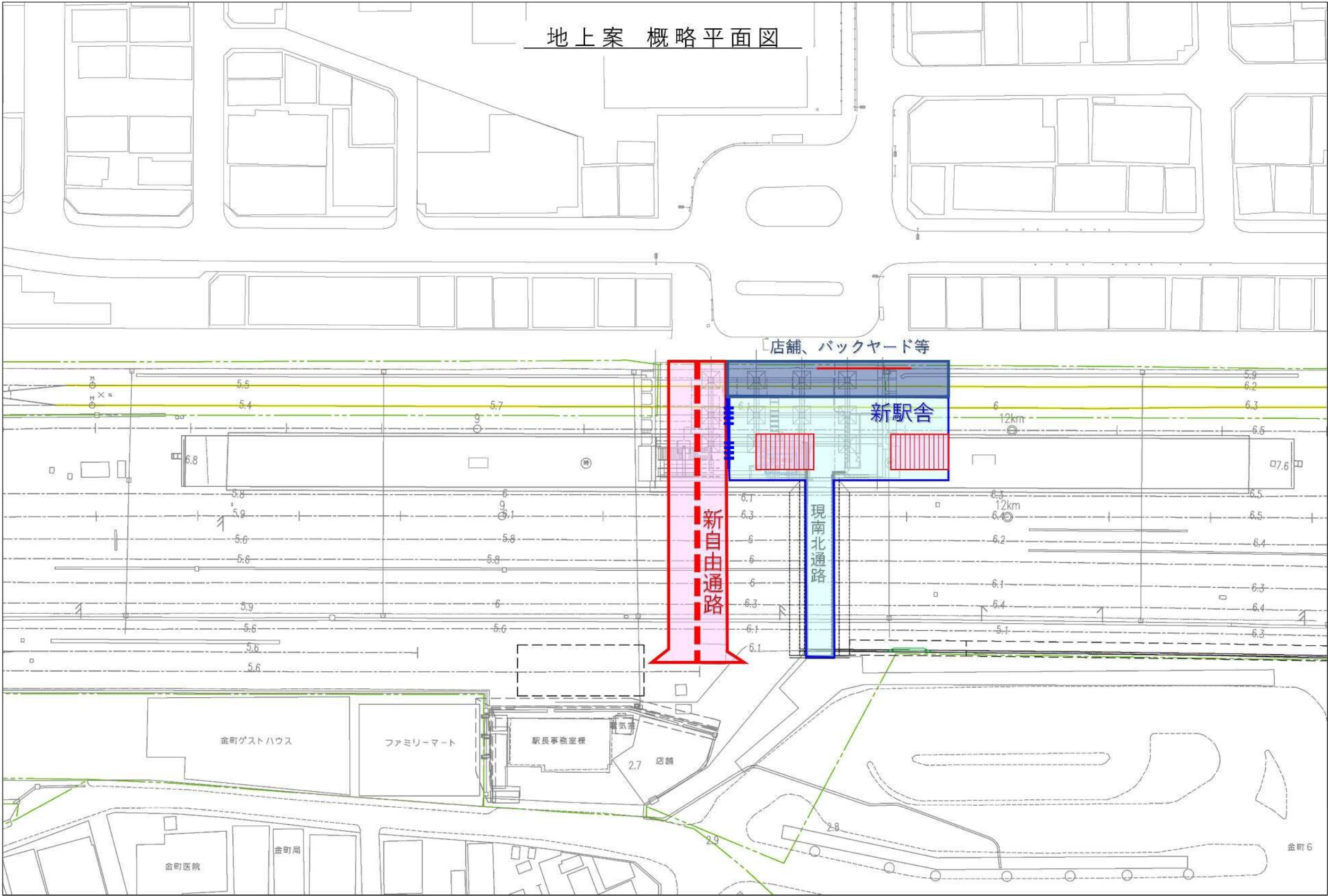
地上案平面図（既存案）



橋上案平面図（既存案）



西側地上案（新たな地上案） ※西側地上案は今後検討するものであり、記載内容は現時点の想定による



一般庶務報告No. 5
都 市 整 備 部
令和8年9月17日

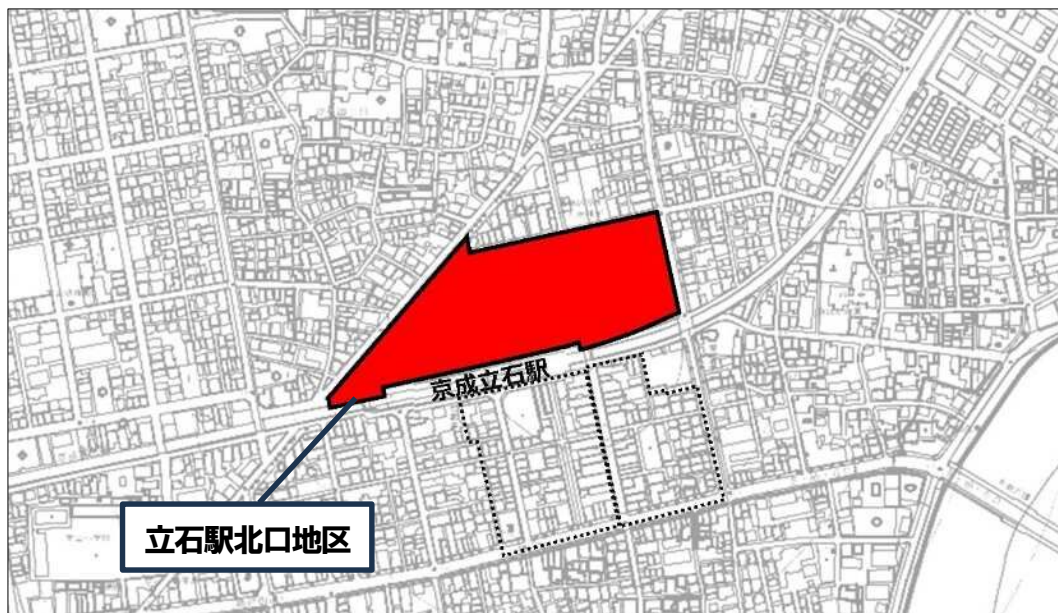
立石駅北口地区市街地再開発事業における掘削土について

立石駅北街づくり担当課

1 立石駅北口地区第一種市街地再開発事業における掘削土について

立石駅北口地区第一種市街地再開発事業については、令和7年8月に公共施設工事（交通広場）、同年11月に施設建築物工事（東棟・西棟）に着手し、引き続き工事が進んでいる。

今般、工事に伴い掘削予定の土壌の一部に処分地の受け入れ基準値を超える有害物質が確認され、掘削土の搬出先を変更する必要性が生じたため、特定業務代行者との工事請負金額を変更する旨の申し出が再開発組合からあった。



位置図

2 基準値超過土壌の概要

(1) 基準値を超える有害物質

- ①自然由来である可能性が高いヒ素、フッ素（基準値：検液1リットルにつきヒ素0.01mg以下、フッ素0.8mg以下）

貝殻片や腐植物等を含む海成堆積物が含まれる地層では、一般的に自然由来のヒ素及びフッ素の溶出量が基準値を超えることがあると考えられている。

- ②一部の土壌からクロロエチレン（基準値：検液1リットルにつき0.002mg以下）
新築工事着工前に判明したクロロエチレンは、原位置浄化処理を完了しているが、現在、2年間の水質モニタリング期間中のため、基準値超過土壌とみなして搬出する必要がある。

(2) 搬出先を変更する概算土量及び概算工事額

街区名	総量 (m ³)	搬出先を変更する土量 (基準値超過土壌) (m ³)	増額分 (億円)
東街区	約62,400	約47,900 (うちクロロエチレンが約800)	約18.50
西街区	約44,300	約33,000	約11.29
公共施設 (交通広場)	約25,500	約5,700	約2.33

(3) 土壌分析結果

【別紙1】のとおり

3 今後の予定

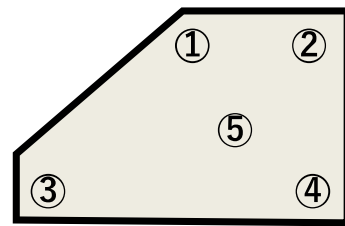
令和12年3月 工事完了

立石駅北口再開発工事 土壌分析調査

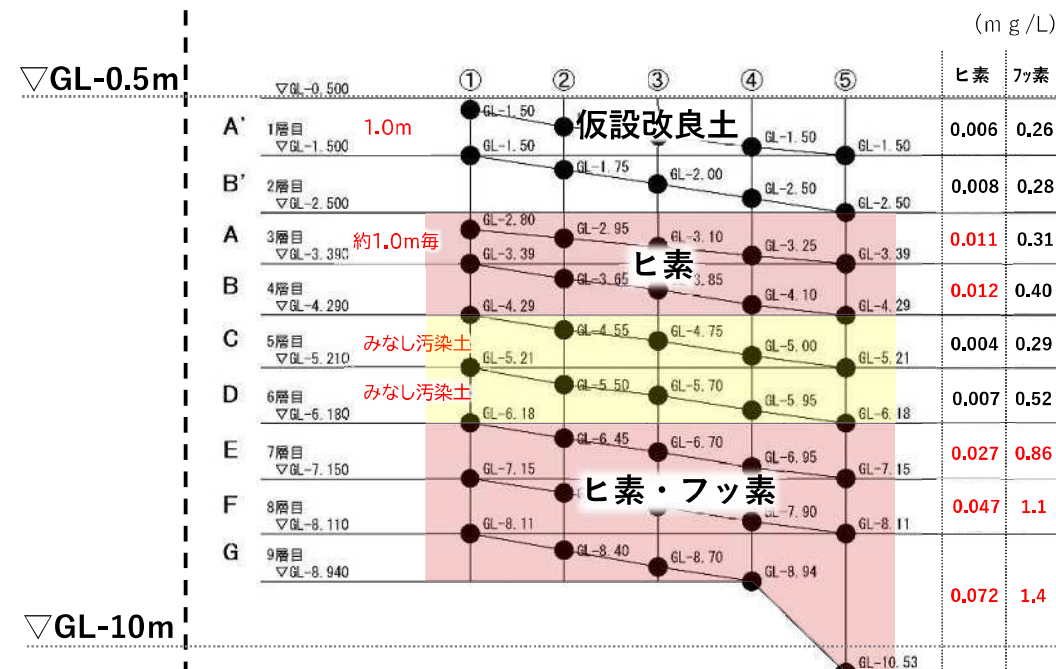
基準値 ヒ素 0.01 mg/L
フッ素 0.8 mg/L

・ 5 点混合分析 断面図（残土搬出用）

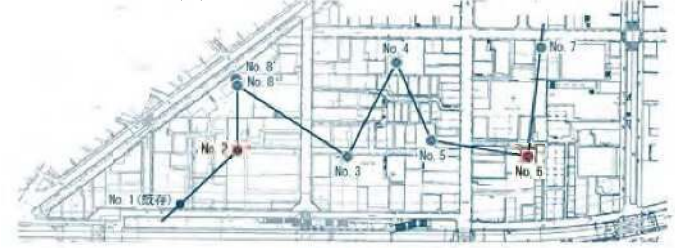
西街区



総量 44,300m³
基準値内 11,300m³
基準超過 33,000m³ (74%)



▼ボーリング採取地点キープラン



断面図 S-1/2000

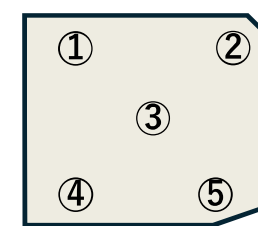
No.2

ボーリング名		調査位置
2		調査位置
発注機関		立石駅北口地区市街地再開発組合
調査業者名		株式会社 東京ソイルリサーチ 主任技師 仲
調査業番号		電話 (03-3463-1221)
孔口標高	1.7-4.2m	方 向
総掘進長	63.00m	地盤勾配
ボーリング名		調査位置
6		調査位置
発注機関		立石駅北口地区市街地再開発組合
調査業者名		株式会社 東京ソイルリサーチ 主任技師 仲
調査業番号		電話 (03-3463-1221)
孔口標高	1.7-4.2m	方 向
総掘進長	65.00m	地盤勾配
ボーリング名		調査位置
2		調査位置
発注機関		立石駅北口地区市街地再開発組合
調査業者名		株式会社 東京ソイルリサーチ 主任技師 仲
調査業番号		電話 (03-3463-1221)
孔口標高	1.7-4.2m	方 向
総掘進長	63.00m	地盤勾配

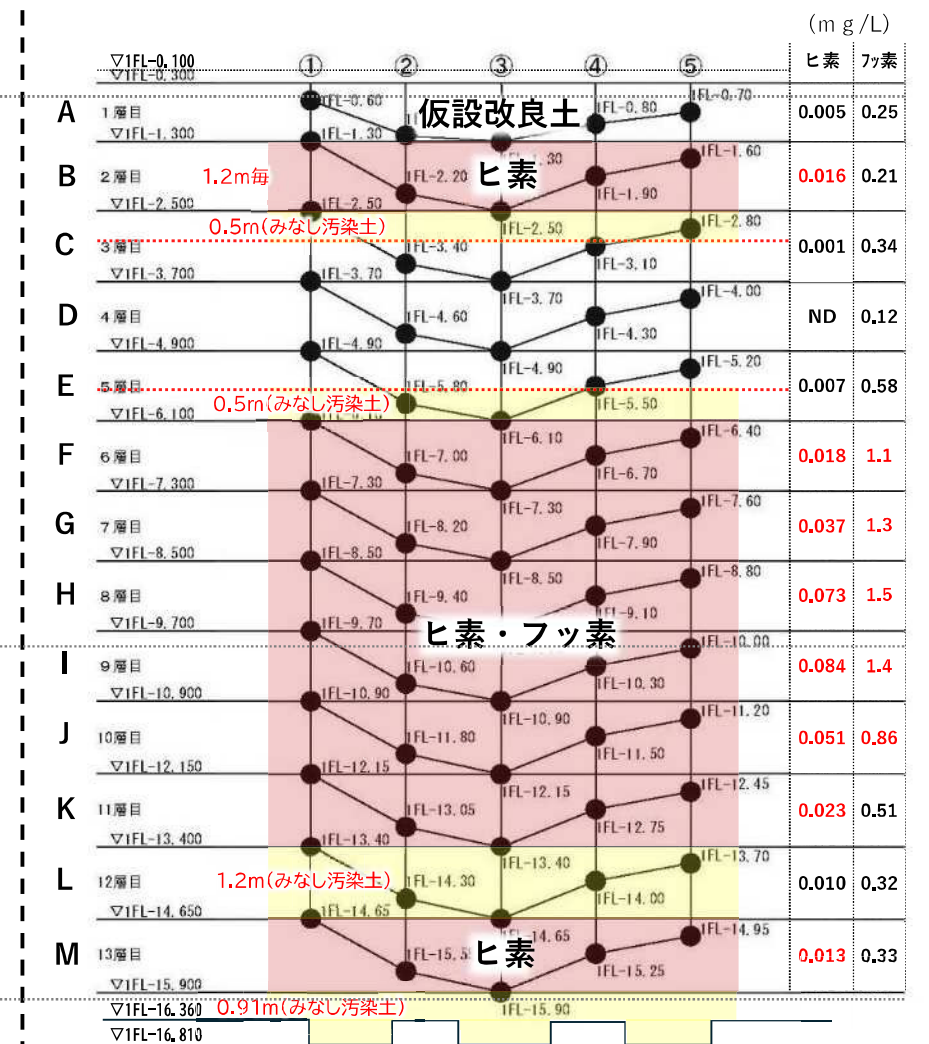
No.6

ボーリング名		調査位置
6		調査位置
発注機関		立石駅北口地区市街地再開発組合
調査業者名		株式会社 東京ソイルリサーチ 主任技師 仲
調査業番号		電話 (03-3463-1221)
孔口標高	1.7-4.2m	方 向
総掘進長	65.00m	地盤勾配
ボーリング名		調査位置
2		調査位置
発注機関		立石駅北口地区市街地再開発組合
調査業者名		株式会社 東京ソイルリサーチ 主任技師 仲
調査業番号		電話 (03-3463-1221)
孔口標高	1.7-4.2m	方 向
総掘進長	63.00m	地盤勾配

東街区



総量 62,400m³
基準値内 14,500m³
基準超過 47,900m³ (77%)

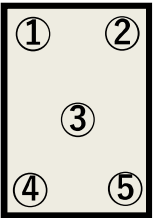


立石駅北口再開発工事 土壌分析調査

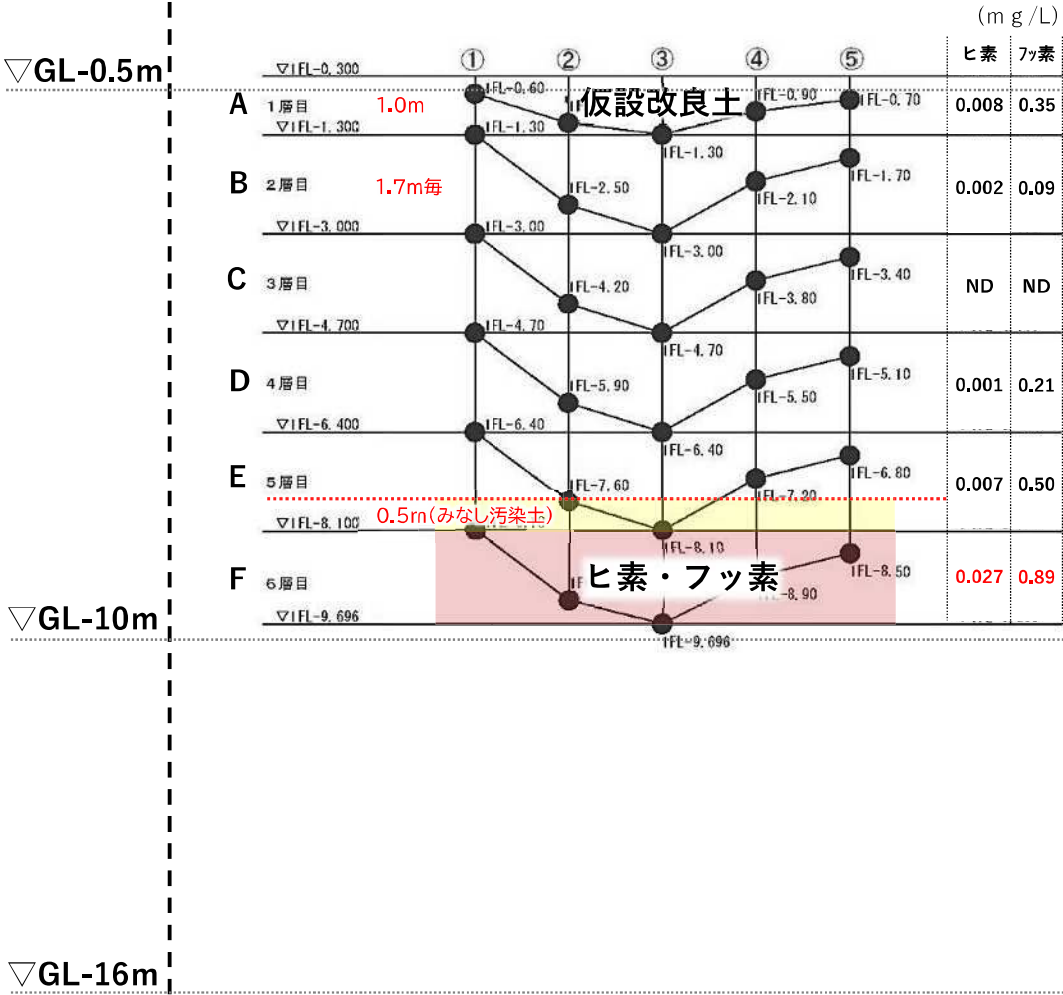
基準値 ヒ素 0.01 mg/L
 フッ素 0.8 mg/L

・ 5点混合分析 断面図（残土搬出用）

交通広場



総量 25,500m³
基準値内 19,800m³
基準超過 5,700m³ (22%)



No.4

ボーリング名	4	調査位置	東
発注機関	立石駅北口地区市街地再開発組合		
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ	主任技師	仲
ボーリング番号	T.P.-034	角	方
取掘深	62.00m	深	度

層目	深	土	色	相	対	記
尺	高	厚	状	質	対	
(m)	(m)	(m)	分	区	密	事
			度	度	度	
1	0.00~0.15	0.15	コンクリート	硬	中	0.00~0.15m深層、 全体に高濃多量混入。 高層はコンクリート片主体、 0.15~0.25m層に、 所々シルト多量混入。 含水量多い。
2	0.15~0.25	0.10	シルト質砂	硬	中	所々シルト多量混入。 含水量多い。
3	0.25~0.40	0.15	シルト質砂	硬	中	2.15~2.25mにシルト質粘土状。含水量多い。
4	0.40~0.55	0.15	シルト質砂	硬	中	含水量多い。
5	0.55~0.70	0.15	シルト質砂	硬	中	5.20~5.25mにシルト質粘土状。含水量多い。
6	0.70~0.85	0.15	シルト質砂	硬	中	所々シルト多量混入。含水量多い。 上部に砂質シルト状。
7	0.85~1.00	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
8	1.00~1.15	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
9	1.15~1.30	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
10	1.30~1.45	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
11	1.45~1.60	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
12	1.60~1.75	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
13	1.75~1.90	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
14	1.90~2.05	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。
15	2.05~2.20	0.15	砂質シルト	硬	軟	所々細砂多量混入。



一般庶務報告No. 6
都 市 整 備 部
令和8年9月17日

義務付け等請求控訴事件の上告受理申立て不受理決定について

立石駅北街づくり担当課

令和8年3月4日に最高裁判所に上告受理の申立てがあった事件について、上告審として受理しない旨の決定があった。

1 第一審における控訴人の主張

葛飾区長の職にあった青木克徳がした次の各行為は、地方自治法第242条の2第1項第4号にいう「財産の処分」又は「財産の管理を怠る事実」に該当することから、被告はこれらの損害を回復するために青木克徳に対し損害賠償請求を行わなければならない。

- ①組合に対し権利変換計画について同意したこと。
- ②組合の総会において権利変換計画の議案につき賛成したこと。
- ③当該総会へ出席して反対しなかったこと。
- ④事業の権利変換に関する処分の日までに①の同意を撤回しなかったこと。
- ⑤事業の権利変換に関する処分の日までに②の賛成を撤回しなかったこと。

2 第一審の内容

- (1) 事件名 XXXXXXXXXX 義務付け等請求事件
- (2) 裁判所 東京地方裁判所
- (3) 原告
別紙1原告目録のとおり
- (4) 被告
葛飾区長
- (5) 請求の趣旨

ア 被告葛飾区長青木克徳は、青木克徳に対して、金7億1,610万2,775円及びこ

れに対する令和5年7月1日から支払済みまで年3分の割合による金員を請求せよ

イ 訴訟費用は被告の負担とする
との判決を求める。

(6) 第一審の判決の趣旨

ア 本件訴えのうち、1①から④までの部分を却下する。

イ 原告らのその余の請求を棄却する。

ウ 訴訟費用は原告らの負担とする。

(7) 第一審の判決の理由

ア 1①は、法令上の規定に基づいてされたものではなく、何らの法的効果も有しない事実上の行為に過ぎないから「財産の処分」には当たらず、そうである以上、1④が「財産の管理を怠る事実」に当たるということもできないことから、住民訴訟の対象とならないため不適法である。

イ 1②は「財産の管理」に当たり、1③は「財産の管理を怠る事実」に当たすが、本件監査請求は令和6年2月29日にされたものであり、1②については令和4年12月24日にあったものといえ、1③は同日に終わったものであるといえるため、1年の監査請求期間を徒過した後にされたものであることから、適法な監査請求の前置を欠くものである。

ウ 1⑤は「財産の管理を怠る事実」に当たるが、青木克徳は議決権を行使しておらず、原告らの主張は前提を欠くため理由がない。

3 控訴審における控訴人の主張

(1) 都市再開発法においては、総会の総会決議のみでは権利変換計画は確定しないし、権利変換計画が確定する権利変換期日までは、権利変換は生じず、施行区域内の土地建物の権利は消滅しないから、本件監査請求に係る監査請求期間の起算日は権利変換期日である令和5年6月30日である。

(2) 葛飾区の住民が、区長が権利変換計画案に意見書を提出したか否かは知るすべはなく、最終的にどのような権利変換計画が確定したかを知るのは、権利変換計画の公告がなされた令和5年6月19日又は実際に権利変換処分がなされた同月30

日であるため、正当な理由があることから、監査請求期間である1年を徒過しても請求は認められるべきである。

- (3) 第一審において、監査請求期間を徒過しており、適法な監査請求の前置を欠くと判断するのであるなら、正当な理由があるか否かについて、裁判所は釈明権を行使すべきであった。
- (4) 組合に対し権利変換計画について同意したことは、施行区域内の土地建物等の財産を処分し、かつ、本来取得できるはずの権利床に係る権利を放棄するものであり、「財産の処分」に該当し、事業の権利変換に関する処分の日までに当該同意を撤回しなかったことは「財産の管理を怠る事実」に当たる。
- (5) 第一審は、本案について実質的な審理をせず、審理不尽がある。

4 控訴審の内容

(1) 事件名 XXXXXXXXXX 義務付け等請求控訴事件

(2) 裁判所 東京高等裁判所

(3) 控訴人

別紙2控訴人目録のとおり

(4) 被控訴人

葛飾区長

(5) 控訴の趣旨

ア 原判決を取り消す。

イ 被控訴人葛飾区長青木克徳は、青木克徳に対して、金7億1,610万2,775円及びこれに対する令和5年7月1日から支払済みまで年3分の割合による金員を請求せよ。

ウ 訴訟費用は第一、二審とも被控訴人の負担とする。

との判決を求める。

(6) 控訴審の判決の趣旨

ア 本件控訴をいずれも棄却する。

イ 訴訟費用は、控訴人らの負担とする。

(7) 控訴審の判決の理由

ア 控訴人らのした監査請求は、権利変換計画そのものを対象とするものではないから、権利変換計画が確定しないこと等を理由に、権利変換期日である令和5年6月30日を監査請求の起算日と解することはできない。当該監査請求が対象とする青木克徳がした1②及び1③の行為については、第一審判決のとおり（2(7)イ）であり、控訴人らの主張は採用できない。

イ 控訴人らのした監査請求は、権利変換計画そのものを対象とするものではないから、権利変換計画の確定時期は正当な理由を裏付ける事情となるものではない。そして、権利変換計画の縦覧については組合のホームページに掲載されており、これにより、それに先立つ組合の総会決議の存在を知ることができたと認められるから、地方自治法第242条第2項ただし書にいう正当な理由があるとは認められないため、控訴人らの主張は採用できない。

ウ 控訴人らは、第一審の第3回口頭弁論期日における発言から、監査請求期間の徒過について正当な理由があるか否かが争点となることを認識していたのであるから、釈明権の不行使が問題となる余地はないため、控訴人らの主張は採用できない。

エ 組合に対し権利変換計画について同意したことは、都市再開発法等の法令上の規定に基づくものではなく、何らの法的効果も有しない事実上のものにすぎないから、第一審判決のとおり（2(7)ア）であり、控訴人らの主張は採用できない。

オ 控訴人らの訴えのうち、1①から④までについては不適法であるから却下すべきであり、1⑤についてはその前提を欠くのであるから棄却すべきであることは明らかであって、その余の点については判断する必要はないため、控訴人らの主張は採用できない。

5 上告受理申立ての内容

- (1) 事件名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 行政上告受理申立て事件
- (2) 裁判所 最高裁判所
- (3) 申立人 別紙3上告受理申立人目録のとおり
- (4) 相手方 葛飾区長

(5) 上告受理申立ての趣旨

ア 本件上告を受理する。

イ 原判決を破棄し、更に相当の裁判を求める。

(6) 上告受理申立ての理由

控訴審の判決は、法令の解釈に関する重要な事項について誤りがある。

6 最高裁判所の決定の内容

(1) 本件を上告審として受理しない。

(2) 申立費用は申立人らの負担とする。

7 最高裁判所の決定の理由

本件申立ての理由によれば、本件は、民事訴訟法第318条第1項により受理すべきものとは認められない。

8 事件の経過

(1) 令和6年4月11日 訴えの提起（葛飾区へ訴状が送達されたのは、令和6年5月24日）

(2) 令和6年7月19日 第1回口頭弁論期日

(3) 令和6年10月30日 第2回口頭弁論期日

(4) 令和7年1月28日 第3回口頭弁論期日

(5) 令和7年5月13日 第4回口頭弁論期日

(6) 令和7年7月22日 第5回口頭弁論期日

(7) 令和7年9月19日 判決言渡期日

(8) 令和7年10月2日 控訴の提起（葛飾区へ控訴状が送達されたのは、同月30日）

(9) 令和8年1月20日 控訴審口頭弁論期日

(10) 令和8年2月19日 控訴審判決言渡期日

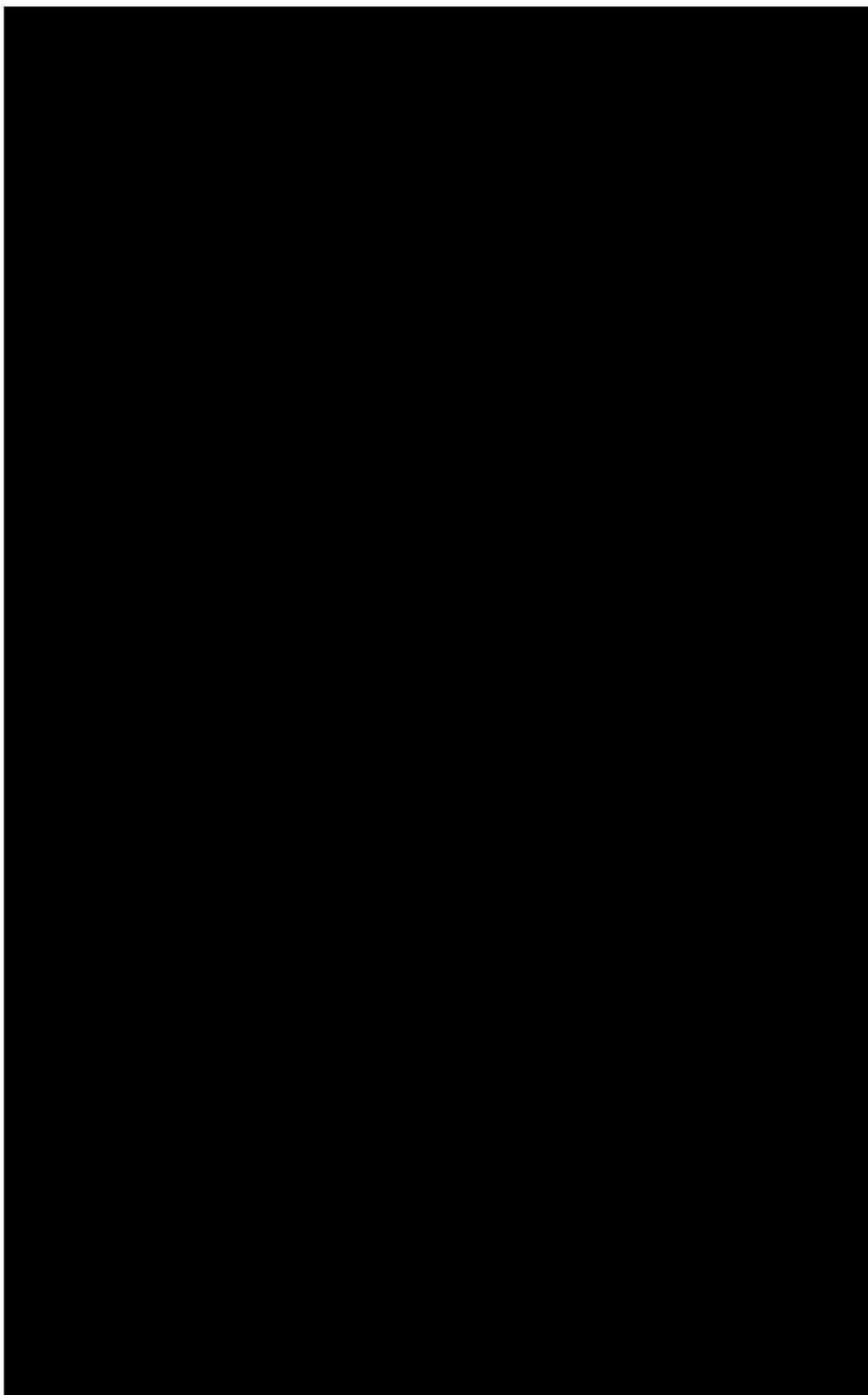
(11) 令和8年3月4日 上告受理の申立て（葛飾区に上告受理申立通知書が送達された後、上告受理申立理由書が裁判所に提出されたのは同年4月27日）

(12) 令和8年7月30日 上告不受理決定

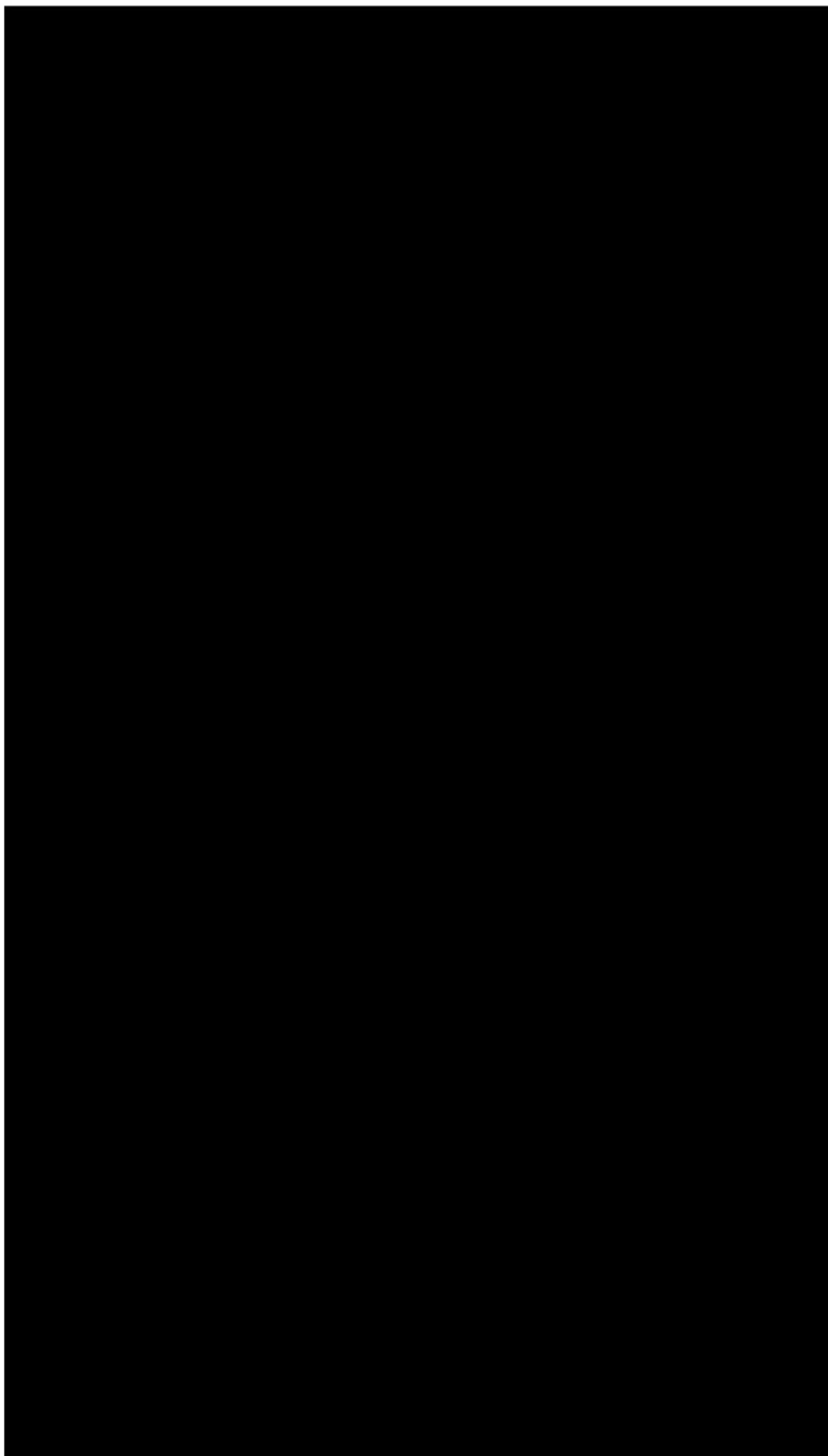
原 告 目 録

原告番号

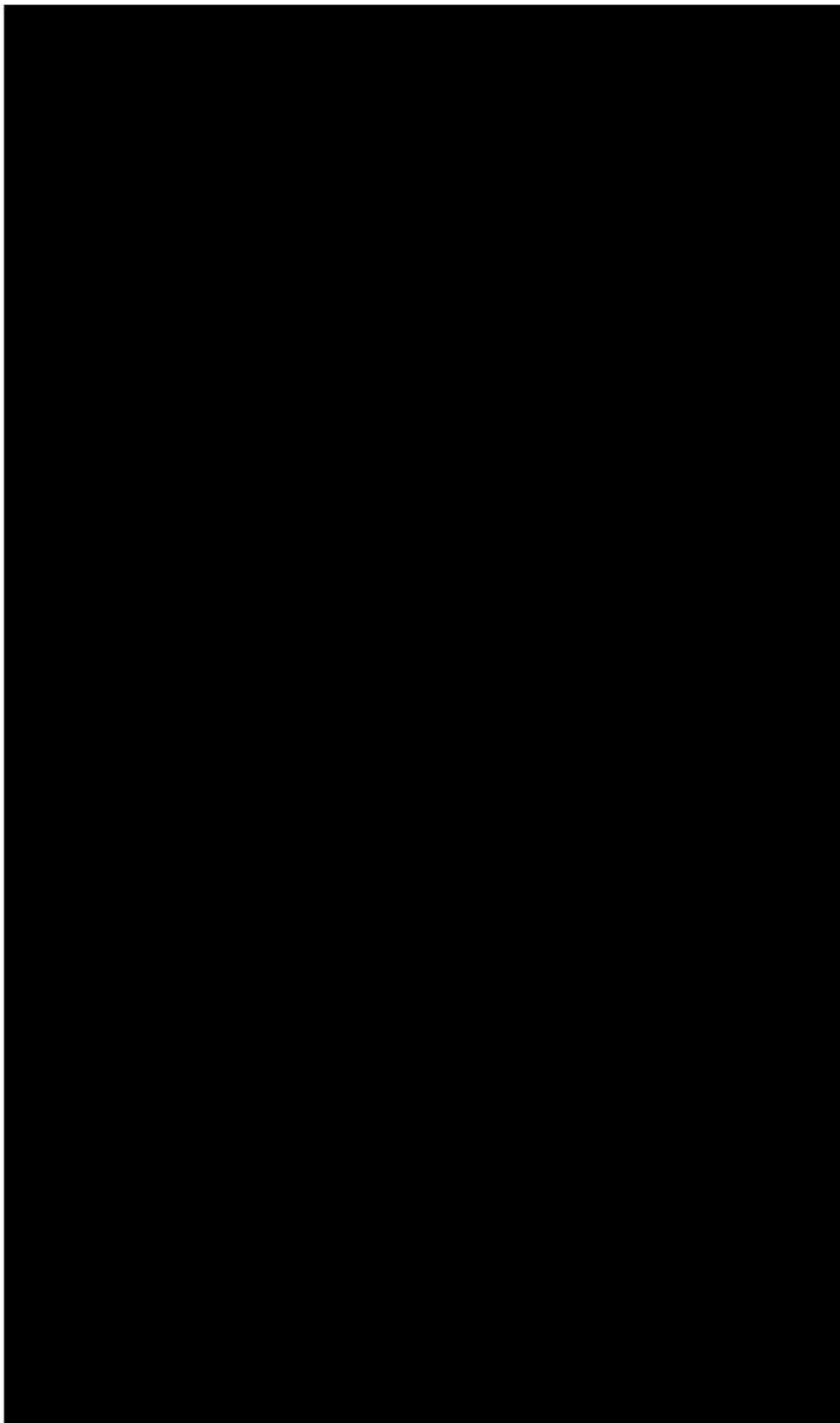
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38



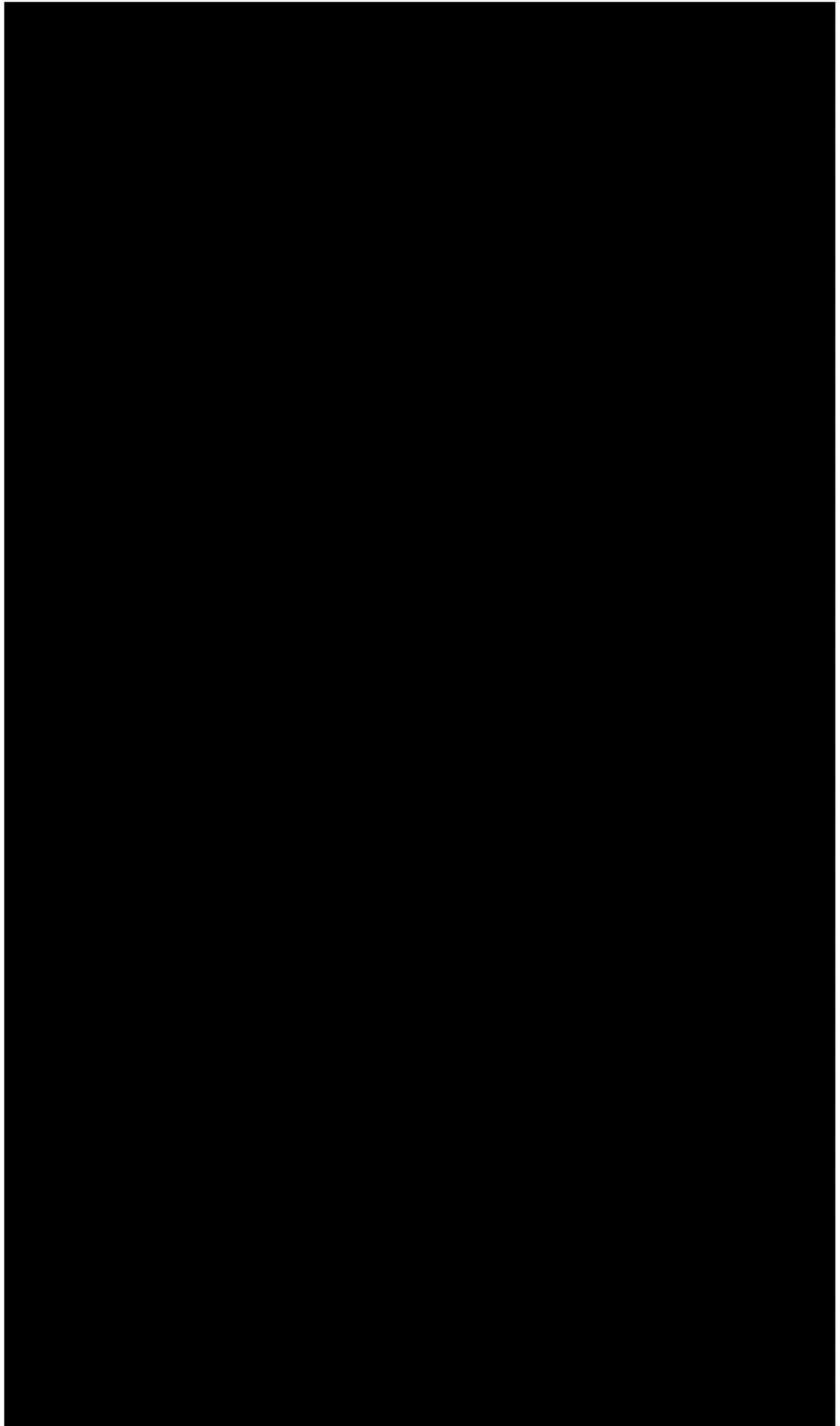
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79



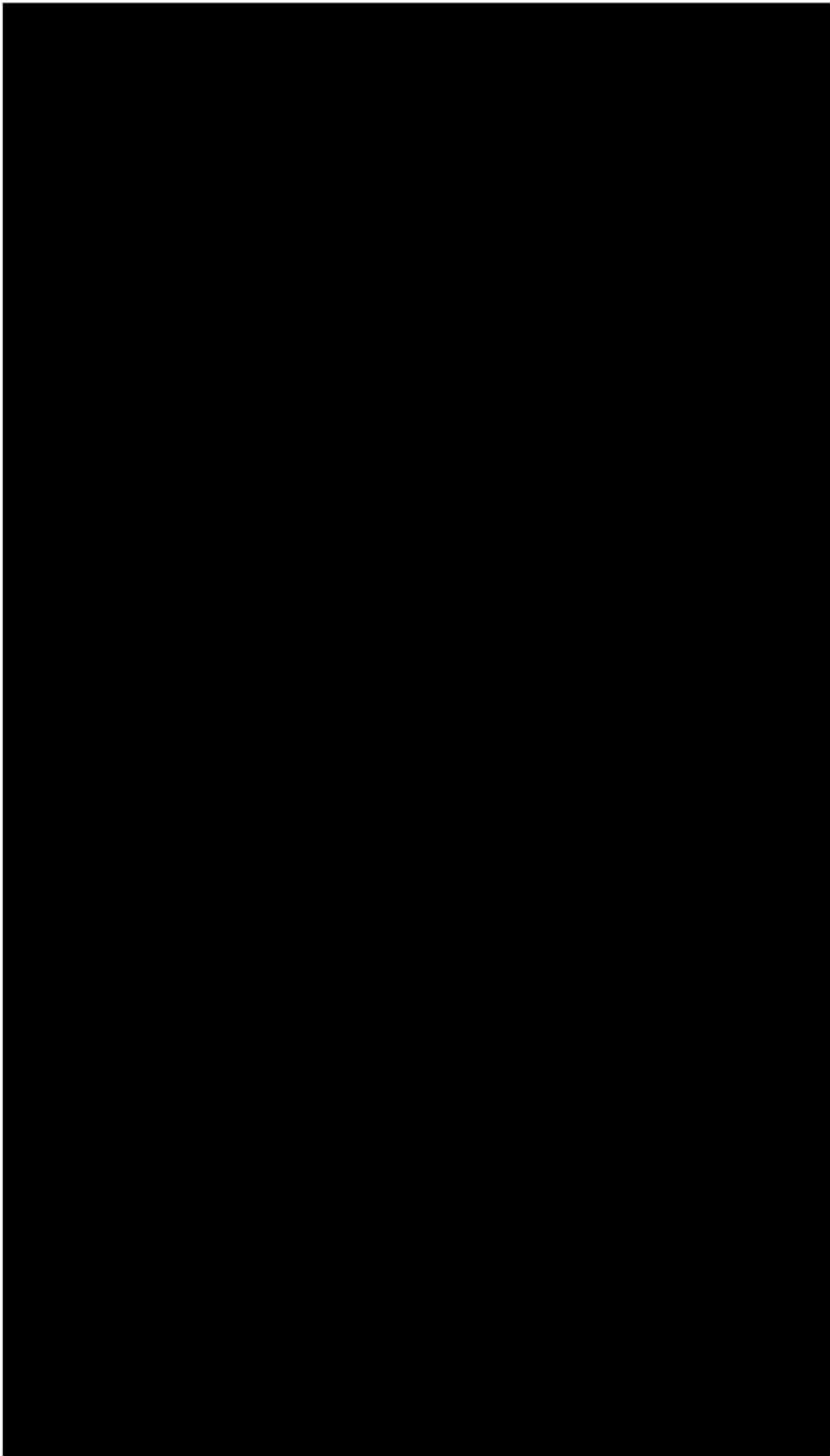
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120



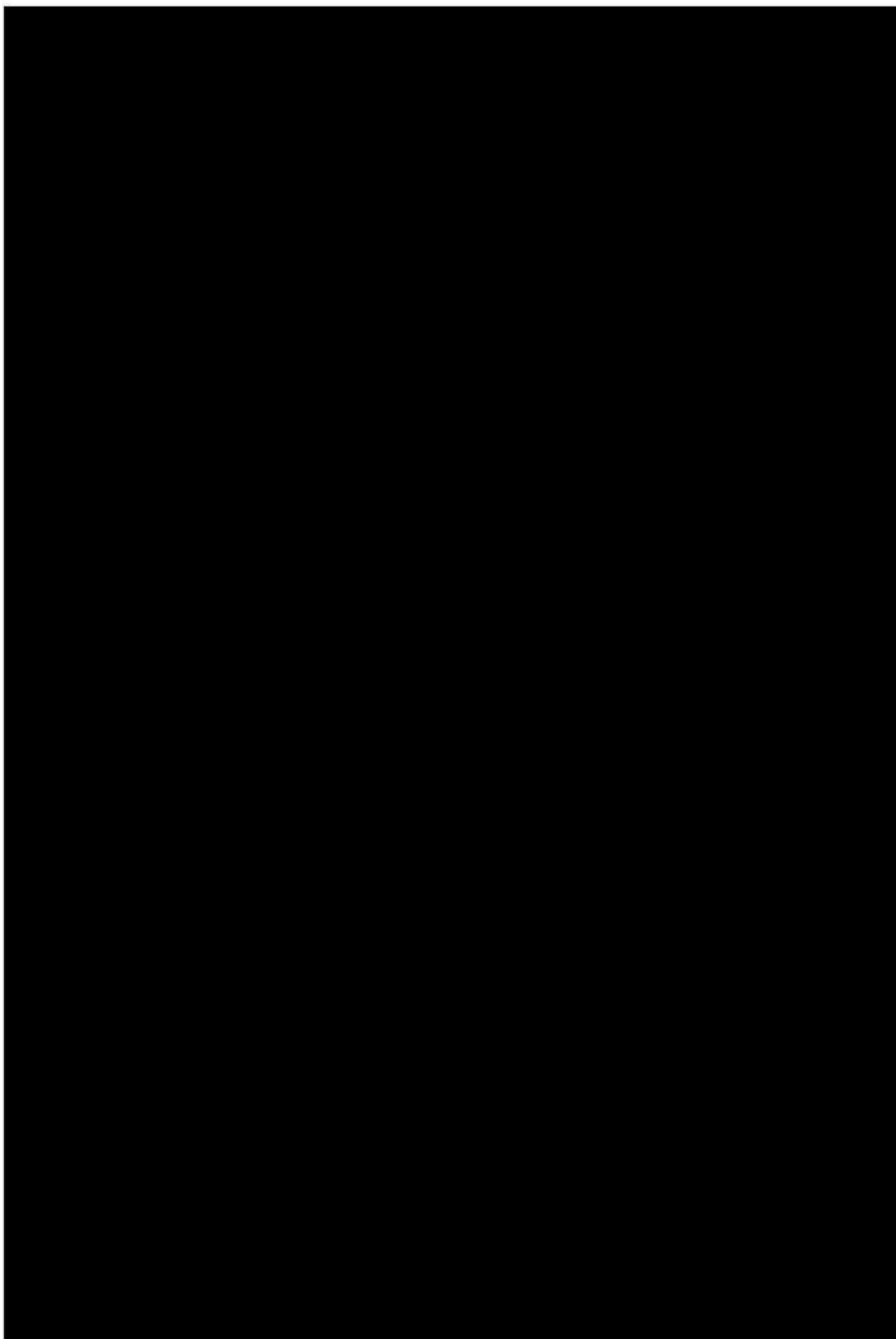
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161



162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202



203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237



控 訴 人 目 録

[Redacted Table-Of-Contents]

上告受理申立人目録

[Redacted Table of Contents]

立石駅南口地区の街づくりについて

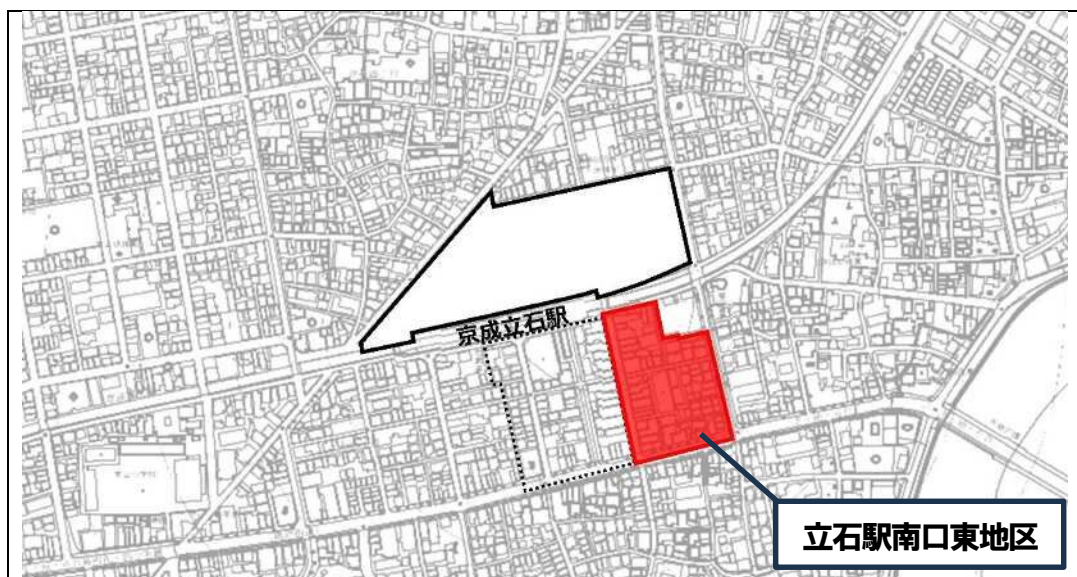
立石駅南街づくり担当課

立石駅南口地区では、立石駅南口東地区市街地再開発組合と立石駅南口西地区市街地再開発準備組合により、街づくりの検討が進められている。

1 立石駅南口東地区

立石駅南口東地区市街地再開発組合（以下、「組合」という。）では、権利変換計画認可に向けた活動を行ってきた。

組合では、近年の建設費高騰等の影響により、事業計画の資金計画について検討を行ってきたが、この度、事業収支の見通しが立った。このことから、令和8年8月1日、3日に権利変換計画の作成に向けた全体説明会を開催し、事業の資金計画と新たなスケジュールが示された。



位置図

【 資金計画 】

事業収入

(単位：億円)

項目	事業認可時 (令和6年4月)	今回の全体説明会時 (令和8年8月)	増減
補助金等	133	245	112
保留床処分金	207	359	152
その他	1	1	0
合計	341	605	264

事業支出

(単位：億円)

項目	事業認可時 (令和6年4月)	今回の全体説明会時 (令和8年8月)	増減
調査設計計画費	16	22	6
土地整備費	11	49	38
補償費	54	45	△9
工事費	238	456	218
事務費、利子、予備費	22	33	11
合計	341	605	264

【 事業スケジュール 】

<変更前>

令和8 (2026) 年度	権利変換計画認可
令和9 (2027) 年度	解体工事着工
令和10 (2028) 年度	本体工事着工
令和14 (2032) 年度	工事竣工・引渡
令和15 (2033) 年度	解散・清算

<変更後>

令和9 (2027) 年度	権利変換計画認可
令和10 (2028) 年度	解体工事着工
令和11 (2029) 年度	本体工事着工
令和15 (2033) 年度	工事竣工・引渡 解散・清算

街路灯の更新について

道路補修課

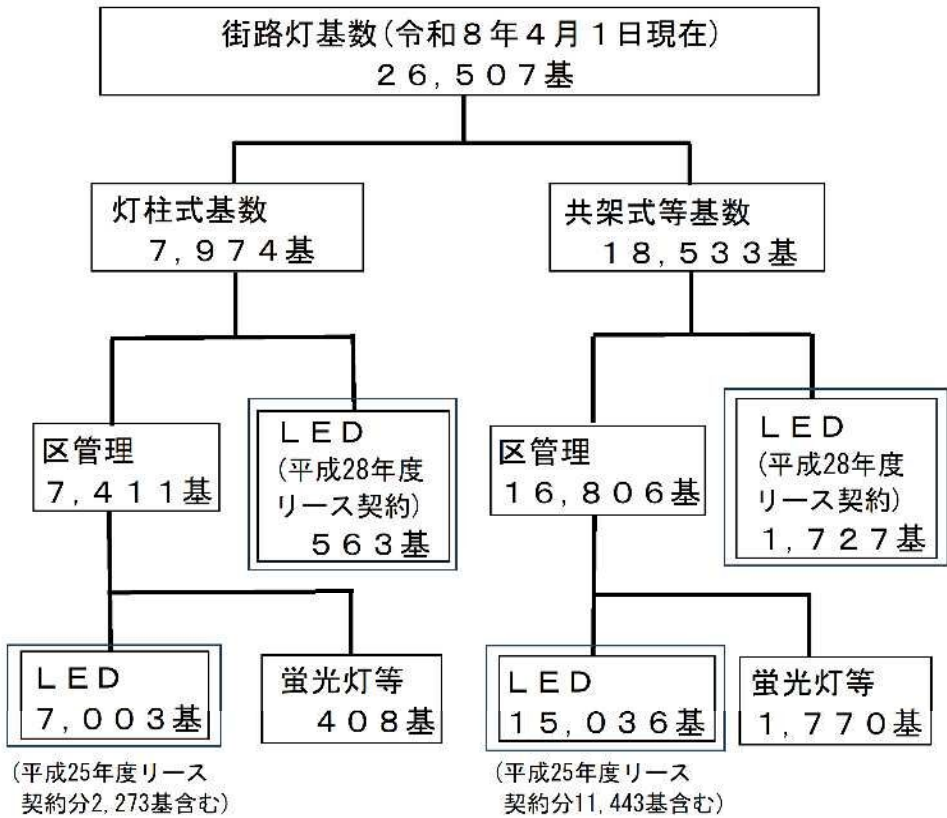
1 概要

区が所有する街路灯は、令和8年4月1日現在26,507基あり、令和5年9月に策定した葛飾区街路灯管理計画に沿って維持管理を行っている。

区は、平成23年度から省エネルギーで環境にやさしいLED街路灯への切替えを計画的に進めてきており、過去2回にわたるリース事業でLED化を推進してきた。

その成果として現状、街路灯のLED化率は91.8%となっている。なお、残りの街路灯についても、令和9年度から予定していた次期リース契約等によりLED街路灯へ切り替える計画としていた。

[図1] 葛飾区街路灯基数

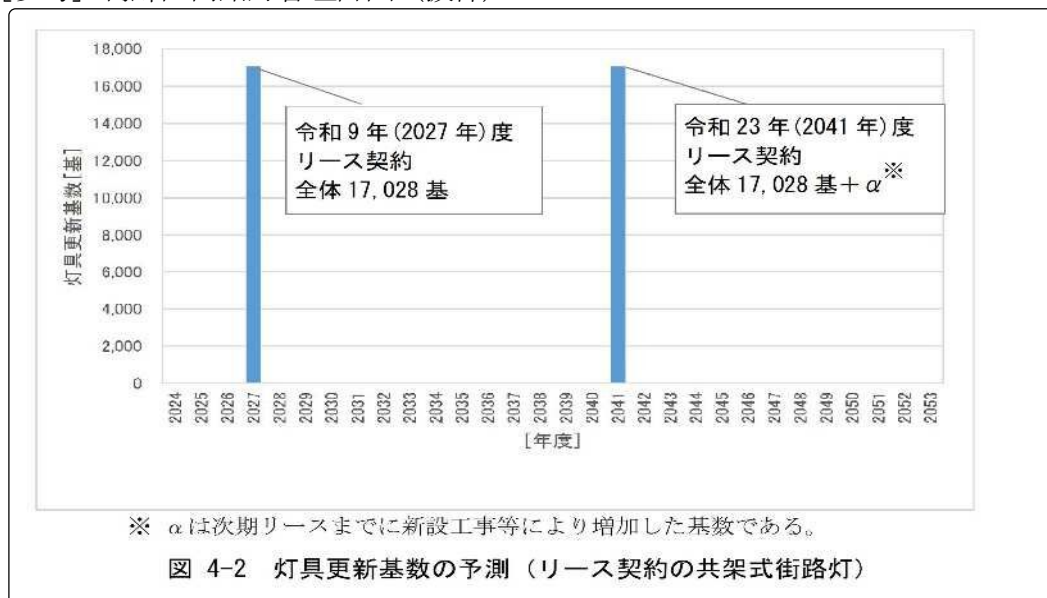


2 次期リース契約について

令和9年度から開始予定の次期リース契約の対象は共架式街路灯のうち、設置年数が浅いものを除く約17,000基を想定しており、令和9年度の契約開始に向けて準備を進めていた。

しかし、区有施設の照明設備等のLED化が令和12年度まで継続して実施されることから、リース対象となる約17,000基の街路灯を更新するための十分な施工体制を、区内電気事業者において確保することが困難な状況にあるため、令和9年度からのリース契約については実施しない。

[参考] 葛飾区街路灯管理計画（抜粋）



3 今後の対応

区有施設のLED化の進捗状況に伴う区内電気事業者の施工体制等を踏まえ、灯具の更新計画や管理方法を検討し、街路灯の効率的かつ持続可能な管理計画の見直しを行う。

なお、次期リース契約に合わせてLED街路灯への切替えを予定していた残りの街路灯については、修繕及び灯具更新工事により、令和9年度中の完了を目指す。

一般庶務報告N o. 9
都 市 整 備 部
令和8年9月17日

専決処分（契約変更）の報告について

道路補修課

報告 番号	専決処分事項	契約の相手	変更内容
1	八剣橋橋梁架替（その11）工事 請負契約の変更	株式会社横河ブリッ ジ 東京営業所	変更前契約金額 6億9,622万4,100円 変更後契約金額 7億2,916万9,100円

専決処分（契約変更）の報告について

道路補修課

1 専決処分事項

八劔橋橋梁架替（その11）工事請負契約の変更

2 件名

八劔橋橋梁架替（その11）工事請負契約

3 契約の相手

千葉県船橋市山野町 27 番地

株式会社横河ブリッジ

代表取締役 中村 譲

代理人 東京都港区芝浦四丁目 4 番 44 号 横河ビル

株式会社横河ブリッジ 東京営業所

所長 黒田 力

4 変更内容

(1) 変更前契約金額

6 億9,622万4,100円

(2) 変更後契約金額

7 億2,916万9,100円

5 変更理由

- (1) 労務単価及び資材価格が上昇したため、工事請負契約約款に規定するインフレスライド条項を適用した。
- (2) 東京都の地盤改良工事において草刈りが実施されたため、本工事の草刈り対象範囲を減らした。
- (3) 交通管理者と協議した結果、クレーン付き台船解体時における一般航行の安全性を確保するため、警戒船の配置数を増やした。

6 専決処分年月日

令和8年7月24日

7 今後の事業予定

本工事に引き続き、右岸側取付道路工事を行っていく。

道路補修課

和解

[REDACTED] [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

- (1) 令和7年10月23日午前10時36分頃、東京都葛飾区東四つ木三丁目1番先において、相手方の従業員が業務として運転する車両が葛飾区所有の街路樹の枝に接触する事故（以下「本件事故」という。）が発生した。
- (2) 葛飾区は、本件事故による倒木が道路を塞ぎ、通行上危険な状態であったことから、同日中に当該倒木を撤去した。

- (1) 相手方は、葛飾区に対し、本件事故による倒木の撤去費用に関する損害賠償金として、金325,962円の支払義務があることを認める。
- (2) 前号の金員のうち、金100,000円については、相手方が葛飾区に対して支払うものとする。
- (3) 第1号の金員のうち、金225,962円については、相手方の保険会社が葛飾区に対して支払うものとする。
- (4) 前2号の金員の支払をもって、葛飾区と相手方は、街路樹の撤去費用に係る

損害に関し、相互に何らの債権債務が存しないことを確認する。

5 専決処分年月日

令和8年7月8日

新宿交通公園の施設改修の進め方について

公園課

新宿交通公園については、開園から50年以上が経過し、遊具や管理施設等の老朽化への対応が課題となっていたことから、これまで全面的なリニューアルに向けた検討を進めてきた。

検討の結果、事業費や維持管理費に加え、工事に伴う長期間の公園閉鎖による利用者への影響などを総合的に勘案したところ、現在の交通公園としての機能を維持しながら、老朽化した施設を計画的に改修していくことが最も効果的であるとの結論に至った。

このことから、以下のとおり施設改修を進めていく。

1 所在地

葛飾区新宿三丁目23番19号

【案内図】



2 現公園の課題及び施設改修の進め方

(1) 現公園の課題

- ・ 学びの場である園路（道路）が、自転車の路側帯通行などの法改正に未対応
- ・ トイレがバリアフリー未対応
- ・ 園路（道路）がバリアフリー未対応
- ・ 樹木の老木化
- ・ 暑さ対策が不十分
- ・ 園内排水の不良
- ・ 管理棟及び横断歩道橋などの既存施設の老朽化

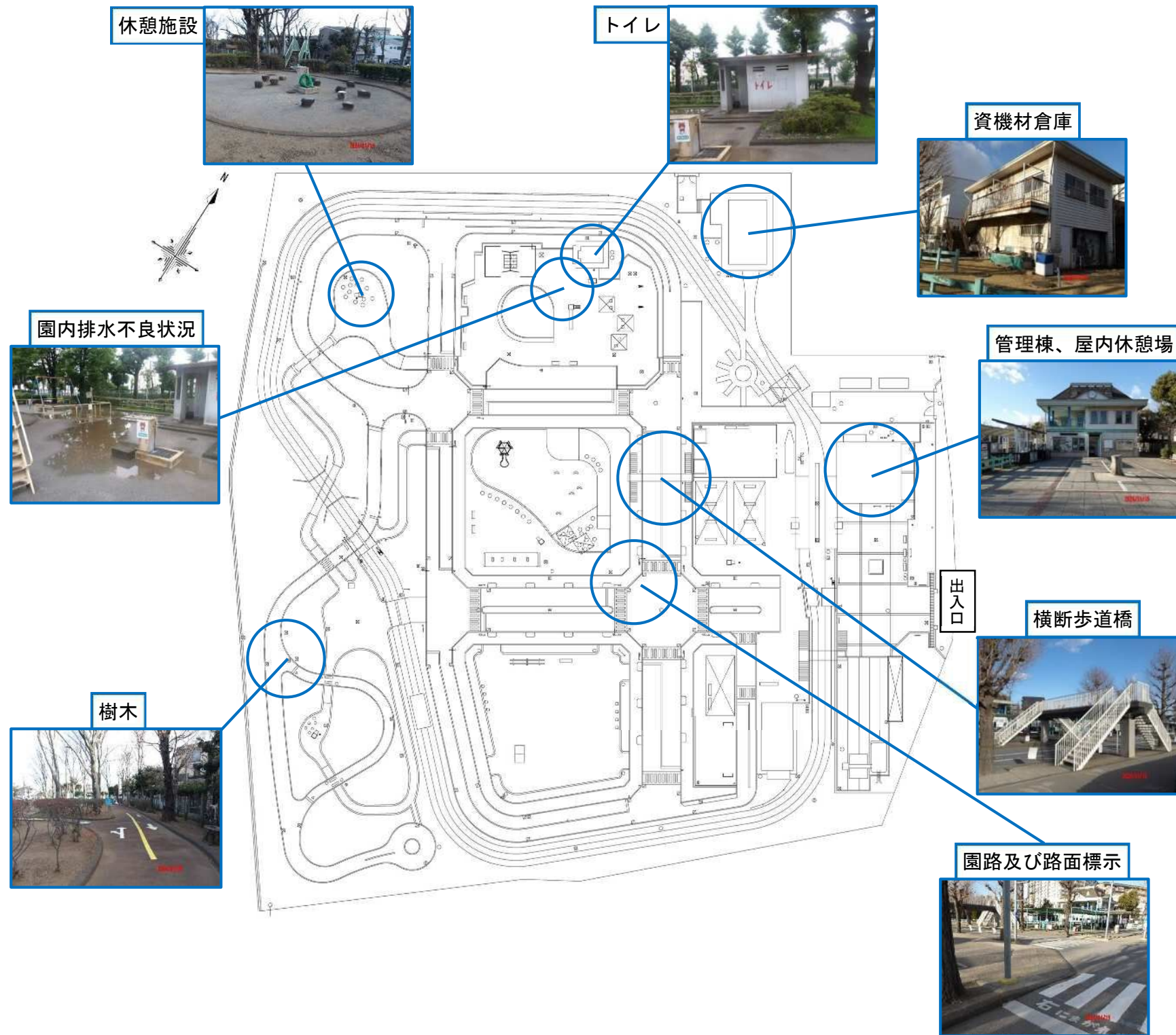
(2) 概算整備費

10億円程度

(3) 現況と施設改修の進め方

【資料1】 のとおり

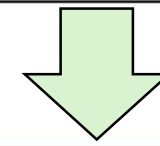
【新宿交通公園 現況図面及び写真】



【施設改修の進め方】

第一期：園内環境の改善

- ・法改正に対応した自転車ナビマークなどの路面標示の整備
- ・バリアフリースイールの設置
- ・バリアフリー経路の確保及び園内舗装
- ・日よけ施設の整備
- ・園内排水状況の改善



第二期：老朽化施設の改築等

- ・管理棟、屋内休憩場及び資機材倉庫の改築
- ・横断歩道橋などの老朽化施設の修繕や撤去等

※樹木の更新については、適宜行う。

【事業スケジュール（案）】

年度 期別	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
第一期 園内環境の改善	設計（単年度）	工事（2 年）			
第二期 老朽化施設の改築等			設計（単年度）	工事（2 年）	

新小岩公園再整備事業について

公園課

1 概要

新小岩公園再整備に伴う一部高台化については、軟弱な地盤の改良が必要となることから、令和5年度から令和7年度にかけて「土壤汚染対策法」及び「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づく土地の履歴等調査、土壤汚染概況調査及び詳細調査を実施した。調査結果等を踏まえ概算工事費を算出するとともに、今後の進め方を取りまとめた。

【案内図】



2 経緯

平成 28 年度	東京東部低平地防災高台整備事業（全面高台化）見直し
令和 2 年度	新小岩公園再整備基本構想策定（一部高台化含む）
令和 3 年度	新小岩公園再整備基本計画策定
令和 4 年度	新小岩公園再整備基本設計
令和 5 年度	土地の履歴等調査
令和 6 年度	土壤汚染概況調査
令和 7 年度	土壤汚染詳細調査

3 土壤汚染詳細調査結果

土壤汚染詳細調査は、土壤汚染概況調査結果に基づき基準値を超えた地点において、汚染範囲及び汚染深度を把握するために実施するものである。調査の結果、汚染範囲は 51 区画（4,926.2 m²）に絞り込まれた。汚染深度については、一部区画において現地盤面から最大 5.0m で確認された。

また、代表 9 地点において地下水調査を実施した結果、地下水への汚染は確認されなかった。

なお、昭和 60 年に新小岩公園を整備した際、旧地盤面から 50 cm 以上の盛土造成を行っている。

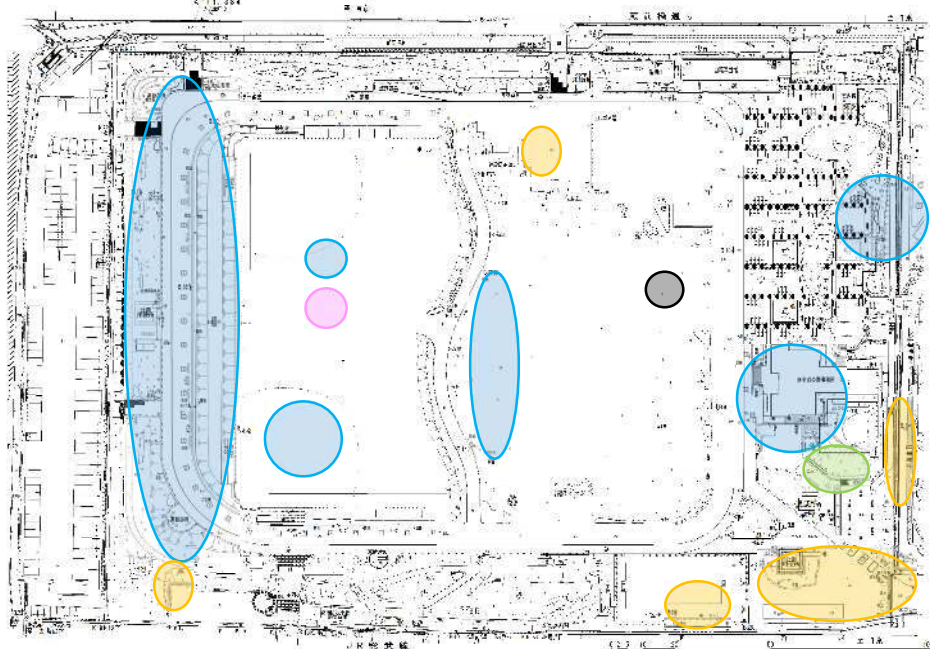
基準不適合区画一覧表

項目		基準不適合区画数（地下水調査区画）
溶出試験	六価クロム化合物 mg/L	9（6）
	水銀及びその化合物 mg/L	1（1）
	鉛及びその化合物 mg/L	1（1）
含有試験	鉛及びその化合物 mg/L	3 9
溶出・ 含有試験	鉛及びその化合物 mg/L	1（1）
合計		5 1（9）

汚染深度一覧表

汚染深度（G L－m）	地点数（区画数）
G L－1. 0 m	1
G L－2. 0 m	1 9
G L－3. 0 m	2 2
G L－4. 0 m	8
G L－5. 0 m	1

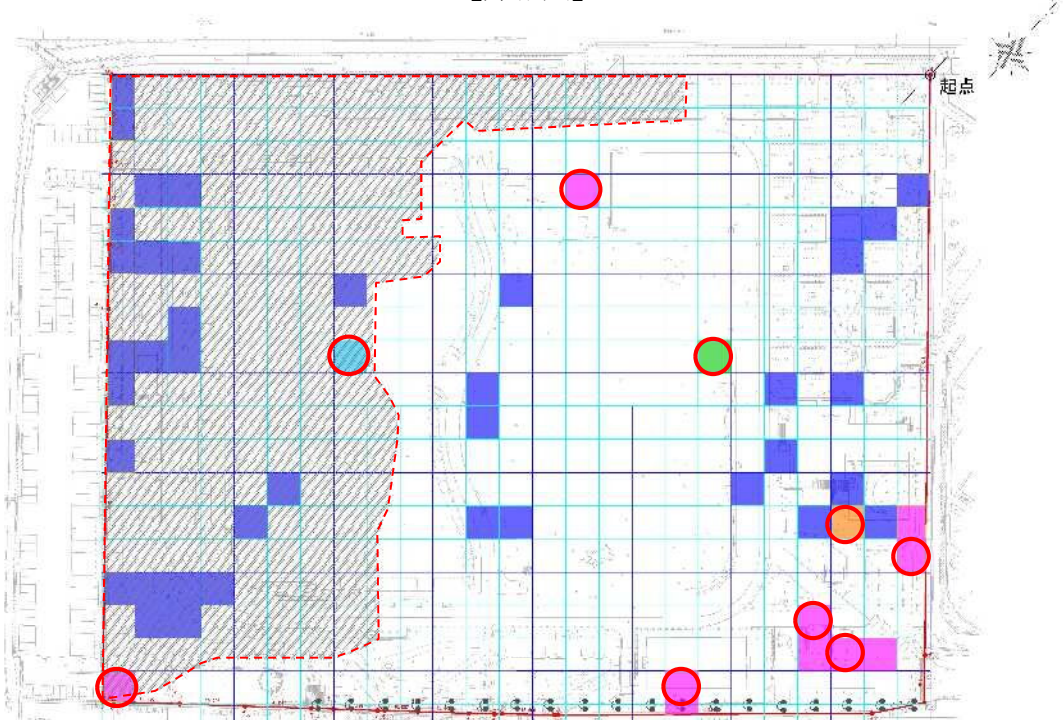
【概要図】



【凡例（基準不適合項目）】

- : 六価クロム（溶出量） ■ : 鉛（溶出量） ■ : 鉛（含有量） ■ : 水銀（溶出量）、鉛（含有量）
■ : 六価クロム（溶出量）、鉛（溶出量・含有量）

【詳細図】

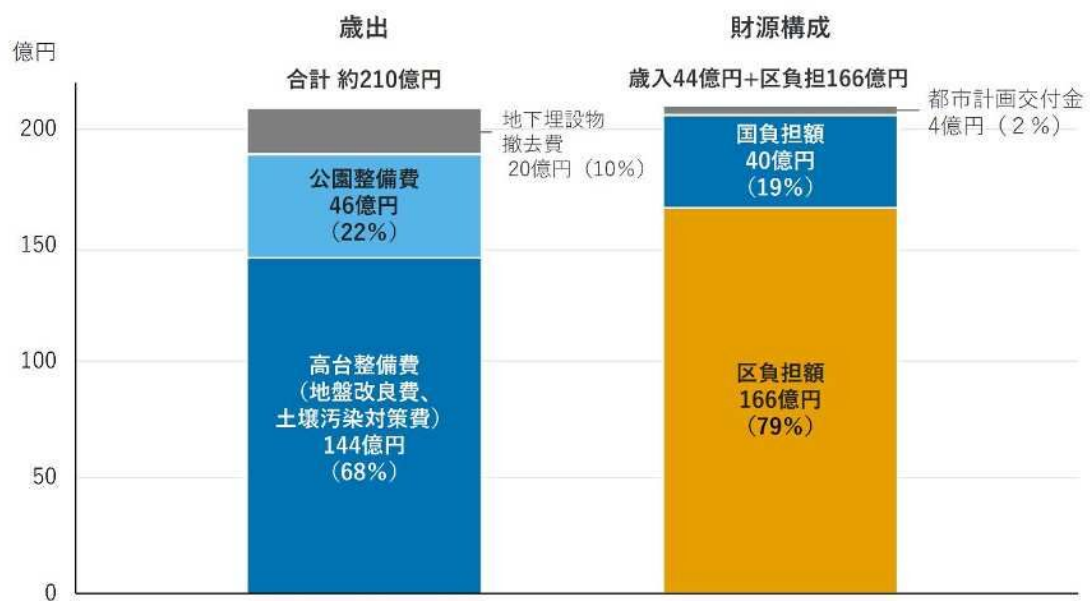
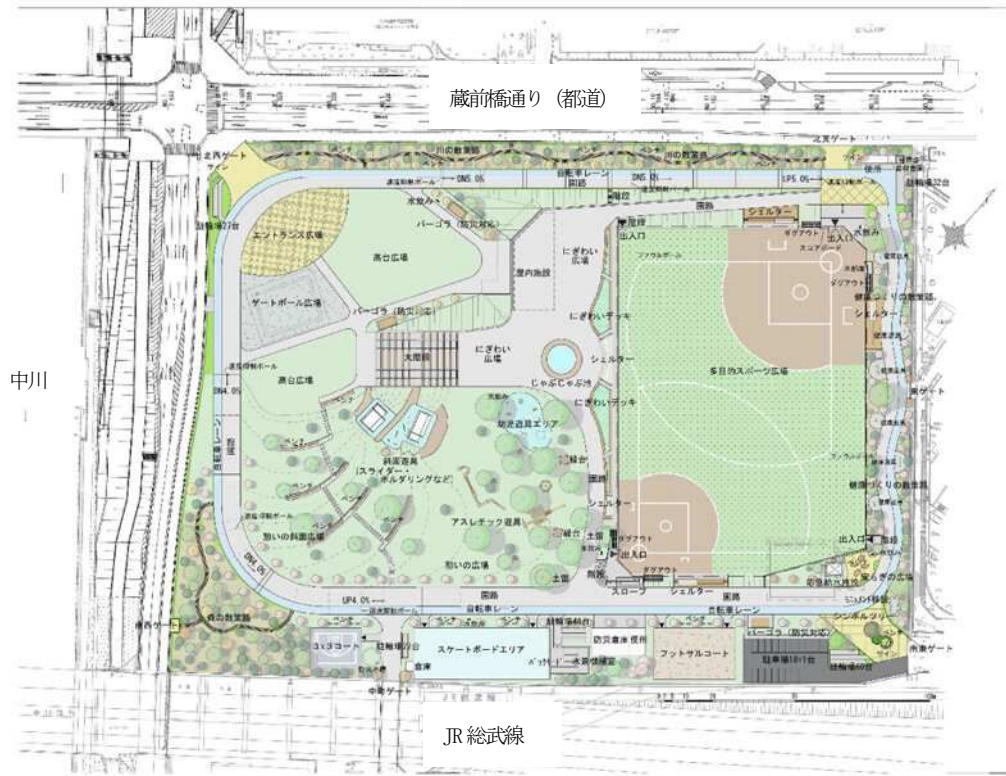


【凡例（基準不適合項目）】

- : 六価クロム（溶出量） ■ : 鉛（溶出量） ■ : 鉛（含有量） ■ : 水銀（溶出量）、鉛（含有量）
■ : 六価クロム（溶出量）、鉛（溶出量・含有量） ■ : 鉛（溶出量・含有量） - - - : 地盤改良範囲 ○ : 地下水採取地点

4 概算事業費について

配置計画図（基本設計案・令和4年度）



5 今後の進め方について

新小岩公園の一部高台整備を行う場合、盛土の影響が隣接する JR 総武本線へ及ばないよう広範囲な地盤改良が必要となる。また、土壌汚染対策も必要となることから、全体概算工事費は約 210 億円となる見込みである。歳入として、国の高規格堤防整備事業負担金（約 40 億円）及び都市計画交付金（約 4 億円）を見込むものの、区負担額は約 166 億円となることが想定されている。さらに、地下埋設物撤去や土壌汚染対策等により、公園を約 10 年間全面閉鎖する必要があり、利用者や地域への影響も大きい。これらの課題を総合的に勘案し、一部高台化を含む再整備事業について見直すこととした。

6 公園改修案について【資料 1 公園改修案イメージ図】

日よけ・ベンチ改修、トイレ改修、広場（芝生）整備、樹木更新、健康遊具更新、常設野外ステージなどの公園改修に要する概算工事費は、10 億円程度を見込んでいる。

地元との意見交換により検討するものについては、未定である。

公園改修案イメージ図

資料 1

①日よけ・ベンチ改修

②トイレ改修

⑦駐輪対策の検討

⑥常設野外ステージ設置

②トイレ改修

①日よけ・ベンチ改修

③広場(芝生)整備

★⑤健康遊具エリア更新

④樹木更新(さくら等)

②トイレ改修

多目的広場
(野球場等)

広場

- 【地元との意見交換により検討するもの】
- ・電源供給設備をはじめとしたイベント対応
 - ・バスケットゴール(3×3)新設整備
 - ・スケートボードエリア新設整備
 - ・水遊び環境の整備

- 【課題事項】
- ・樹木更新に伴う抜根の影響範囲が大きい
 - ・土壌汚染の対策検討
 - ・駐輪対策方針の検討・調整

新宿四丁目児童遊園用地の取得について

公園課

1 概要

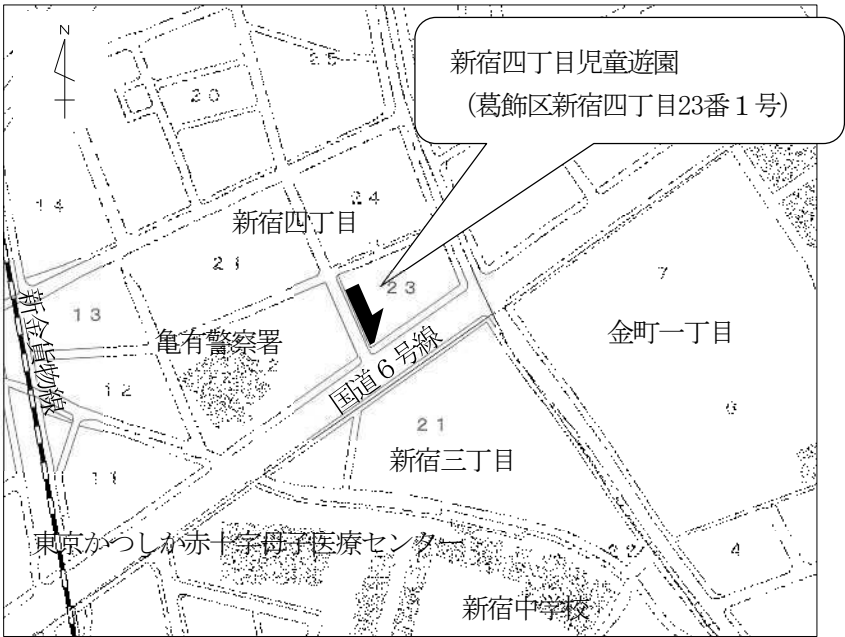
新宿四丁目児童遊園は、昭和44年に民有地を貸借し開園して以来、50年以上にわたり児童遊園として供用してきた。このたび、地権者から従前の敷地約370㎡のうち約270㎡を児童遊園用地として売却する意向が示されたことから、児童遊園機能を存続するため、令和7年9月に土地開発公社が当該土地を取得した。

今後、区が土地開発公社から当該土地を取得するための経費について、令和8年第4回区議会定例会補正予算案に計上する予定である。

2 所在地

葛飾区新宿四丁目23番1号

【案内図】



3 児童遊園面積（取得面積）

約270㎡

4 経緯と今後の予定

昭和44年10月	地権者と土地使用貸借契約を締結し、新宿四丁目児童遊園を開園
令和2年1月～	地権者から土地売却の意向が示されたことから、区が児童遊園機能の存続を目的に令和元年度土地取得計画に位置付け、土地開発公社による取得のための協議を開始した。 一方で、地元自治町会からも会館建設用地として当該土地の活用意向が示された。
令和6年7月～	地権者が、児童遊園用地に約270㎡、会館建設用地に約100㎡土地を分割し双方に譲渡する方針を決定した。これを受けて区が土地使用貸借契約に基づく児童遊園撤去工事を実施した。
令和7年9月	地権者と土地開発公社との間における土地売買契約を締結
令和8年5月	区は、改修工事着手に向け、土地開発公社と土地使用貸借契約を締結
令和8年8月	改修工事着手
令和8年12月	用地取得費を令和8年第4回区議会定例会補正予算案に計上
令和9年3月	改修工事完了及び供用再開

令和8年度主要工事進捗状況 (1/2)

道路建設課

(令和8年7月31日現在)

整理 番号	工事番号	工 事 件 名	工 事 箇 所	契 約 金 額	契 約 者	工 期	出 来 高	進捗状況 (単位%)			
								工 種	工種割合	工種進捗率	出来高
①	令和6年度 第01号	都市計画道路補助第276号線 (細田北)整備(その1) 及び排水施設(その1) 工事	細田四丁目 12番先から 細田三丁目 30番先まで	548,677,800	尾花興業(株)	R6.6.24 R9.2.24	78.5%	1) 準備・片付け工	13.1	84.7	11.1
								2) 土工	17.4	86.2	15.0
								3) 電線共同溝工	30.3	92.1	27.9
								4) 排水施設工	38.1	61.3	23.4
								5) 信号機施設工	1.1	100.0	1.1
									100.0		78.5
②	令和7年度 第02号	都市計画道路補助第276号線 (一口橋南)整備(その3) 及び排水施設(その2) 工事	高砂二丁目 10番先から 細田三丁目 37番先まで	473,770,000	尾花興業(株)	R7.12.18 R10.2.17	25.6%	1) 準備・片付け工	11.6	40.0	4.6
								2) 土工・撤去工	20.7	12.1	2.5
								3) 排水施設工(道路)	5.4	0.0	0.0
								4) 街築工	2.7	0.0	0.0
								5) 舗装工	9.8	0.0	0.0
								6) 交通安全施設工・植栽工	8.0	0.0	0.0
								7) 電線共同溝工	32.3	31.3	10.1
								8) 排水施設工(下水)	9.5	88.4	8.4
									100.0		25.6
③	令和7年度 第17号	水元小合溜河川環境改善 (汚泥処理設備改修等) 工事	水元公園8番3号	304,700,000	桂原実業(株)	R7.12.18 R9.3.31	22.1%	1) 準備・片付け工	40.0	55.3	22.1
								2) 撤去工	5.0	0.0	0.0
								3) 仮設工	10.0	0.0	0.0
								4) 土工	5.0	0.0	0.0
								5) 機器据付工	18.0	0.0	0.0
								6) 配管工	12.0	0.0	0.0
								7) 電気工	10.0	0.0	0.0
									100.0		22.1
④	令和8年度 第01号	都市計画道路補助第261号線 (南水元)整備(その2) 工事	南水元二丁目 10番先から 南水元一丁目 6番先まで	293,150,000	宗明建設(株)	R8.6.23 R10.5.15	2.5%	1) 準備・片付け工	10.1	25.0	2.5
								2) 土工・撤去工	16.3	0.0	0.0
								3) 排水施設工(道路)	15.7	0.0	0.0
								4) 街築工	14.8	0.0	0.0
								5) 舗装工	23.0	0.0	0.0
								6) 植栽工	8.1	0.0	0.0
								7) 安全施設工	10.8	0.0	0.0
								8) 民地すりつけ工	1.2	0.0	0.0
									100.0		2.5

令和 8 年度主要工事進捗状況 (2/2)

道路建設課

(令和8年7月31日現在)

整理 番号	工事番号	工 事 件 名	工 事 簡 所	契 約 金 額	契 約 者	工 期	出 来 高	進捗状況 (単位%)			
								工 種	工種割合	工種進捗率	出来高
⑤	令和 8 年度 第004号	八剱橋橋梁架替 (その12) 工事	奥戸八丁目 6 番先から 奥戸八丁目 16番先まで	238, 480, 000	成和建設(株)	R8. 6. 23 R9. 7. 27	0. 6 %	1) 準備、片付け等	5. 0	12. 0	0. 6
								2) 排水施設工	3. 0	0. 0	0. 0
								3) 地盤改良工	40. 0	0. 0	0. 0
								4) 踏掛版工	2. 0	0. 0	0. 0
								5) 軽量盛土工	35. 0	0. 0	0. 0
								6) 階段工	2. 0	0. 0	0. 0
								7) 電気設備工	2. 0	0. 0	0. 0
								8) 街築工	1. 0	0. 0	0. 0
								9) 舗装工	4. 0	0. 0	0. 0
								10) 安全施設工	6. 0	0. 0	0. 0
									100. 0		0. 6
⑥	令和 8 年度 第01号	柴又公園拡張部 (和風庭園等) 整備工事	柴又七丁目19番14号	234, 630, 000	東香園(株)	R8. 6. 23 R9. 5. 31	2. 0 %	1) 準備・片付け工	4. 0	50. 0	2. 0
								2) 土工・撤去工	11. 5	0. 0	0. 0
								3) 植栽工	2. 5	0. 0	0. 0
								4) 給排水設備工	17. 9	0. 0	0. 0
								5) 電気設備工	8. 3	0. 0	0. 0
								6) 園路広場工	13. 8	0. 0	0. 0
								7) 管理施設整備工	22. 4	0. 0	0. 0
								8) 水景施設整備工	12. 8	0. 0	0. 0
								9) 付帯施設工	2. 4	0. 0	0. 0
								10) 仮設工	4. 4	0. 0	0. 0
									100. 0		2. 0

主要工事施工箇所図

令和8年7月31日現在

③ 7-17
水元小合溜河川環境改善
(汚泥処理設備改修等) 工事

④ 8-01
都市計画道路補助第261号線
(南水元) 整備(その2) 工事

⑥ 8-01
柴又公園拡張部(和風庭園等) 整備工事

② 7-02
都市計画道路補助第276号線
(一口橋南) 整備(その3) 及び
排水施設(その2) 工事

⑤ 8-004
八剣橋橋梁架替(その12) 工事

① 6-01
都市計画道路補助第276号線
(細田北) 整備(その1) 及び
排水施設(その1) 工事

